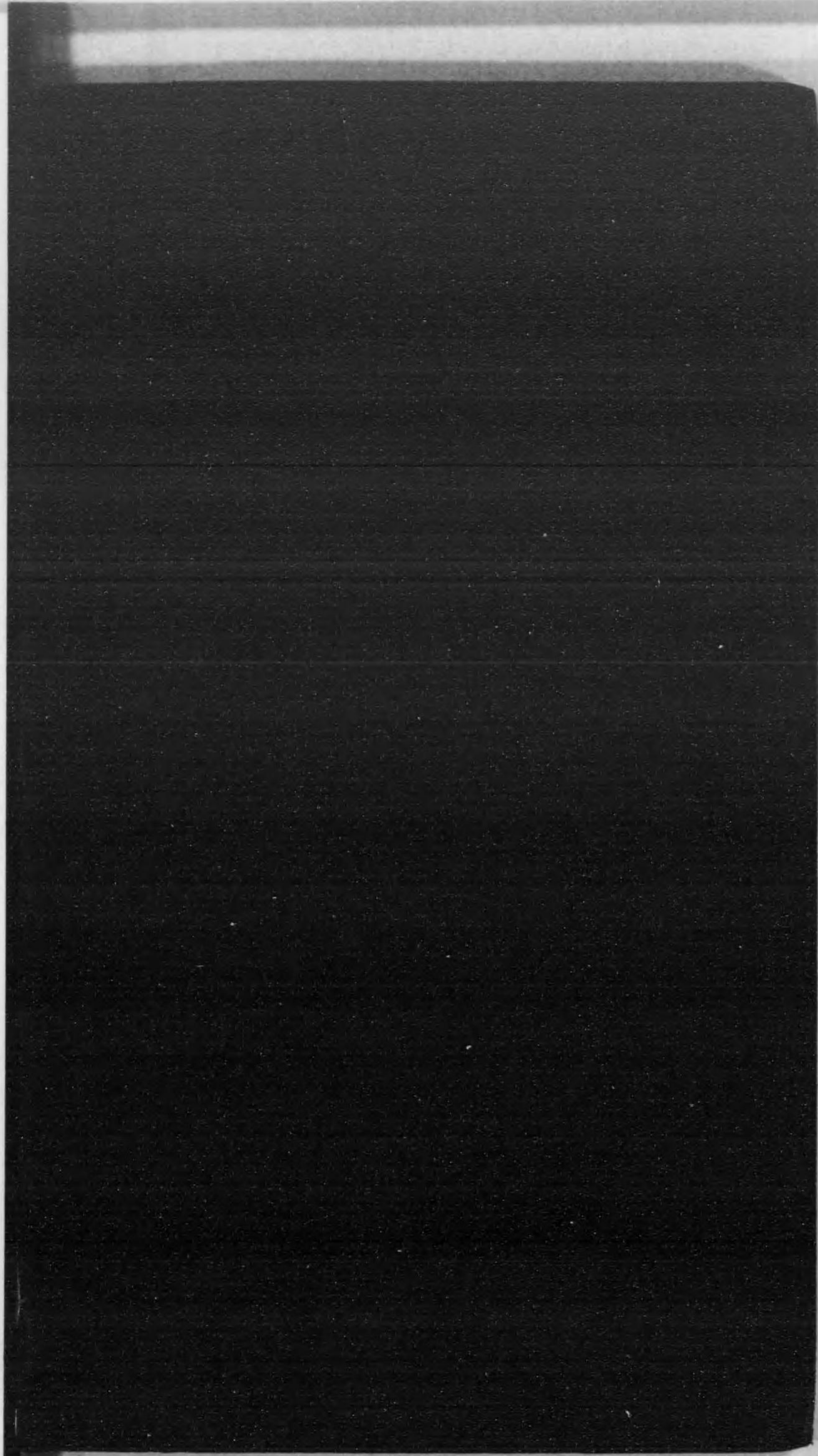
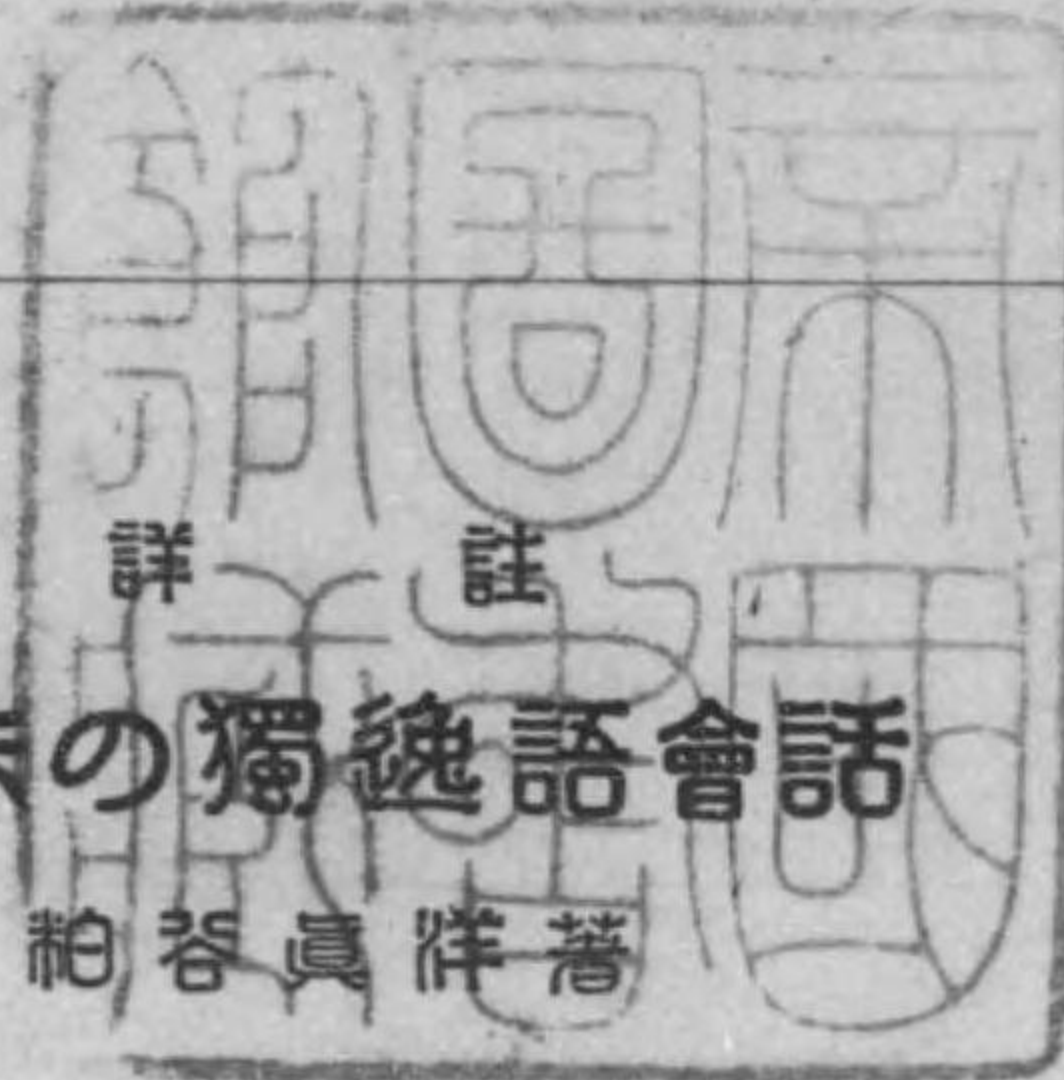


始



323
735



詳註

趣味の獨逸語會話

柏谷眞洋著

大正 柏谷眞洋獨逸語學叢書
15.12.7 第七卷
内交

序

従來の會話書——獨逸語でも英語でも——に對して著者は可なりの不滿を懷いてゐた。それは世の會話書の多くがあまりに旅行家携帯用式であり、あまりに無味乾燥であるからである。

外國出版の旅行用の會話書を真似た故か會話書といへば必ず字母や發音綴字の説明から文法、手紙の書き方、それに辭書代用の單語篇まで具備してゐるのが普通のやうである。そして時としてはそれらの附屬篇の方が肝心の會話篇よりも多くの頁數を占めてゐるものすらあるやうである。

然しなから字母や發音の説明を必要とするやうな人には直譯も註釋もない會話篇が讀める筈がなく、といつて又そうした會話篇を讀みこなせる人には今更字母や發音の説明が要る筈もなからう。其他文法や手紙の書き方等に就ても同様の事がいへると思ふ。

兎に角いづれにしてもそれらの會話篇を讀まうといふ位の人にとっては斯うした附屬篇は確に無用の長物たるに違ひない。

若しそれその發音や文法や單語篇に力を入れ過ぎて肝心の會話篇が無味乾燥に流れたり非實用的のものになつたとしたら、それこそ會話書としての本領を没却したものといはねばならぬ。

だから著者は本書の編纂に當つては斯うした發音、文法、手紙、單語集等の附屬篇を一切排除して専ら實地の會話資料と興味ある對話とを集め且つそれにわかり易く詳註を加へる事にしたのである。特に最後の會話の實際篇に於ては小説や戯曲中の面白い對話を摘出して單に會話の練習に資する許りでなく又戯曲や小説を読むの階梯たらしめるやう留意した積りである。

本書が幸にして従來の會話書の缺陷を幾分でも補ひ得れば著者の望みは足りるのである。

大正十五年十一月三日

粕谷眞洋識

目次

第一編 會話資料

	頁
1. 挨拶の言葉... ..	1
イ、人と出會ふ場合には... ..	1
ロ、人に別れる場合には... ..	2
ハ、旅立つ人に... ..	3
ニ、夜の挨拶... ..	4
ホ、傳言... ..	4
2. 返事の言ひ方... ..	5
イ、肯定する場合には... ..	5
ロ、否定する場合には... ..	6
3. 禮の言ひ方... ..	7
4. 詫の言ひ方... ..	8
5. 感謝や詫に對する言ひ方... ..	9
イ、感謝に對しては... ..	9
ロ、詫に對しては... ..	9
6. 祝賀用句... ..	9
イ、祝詞を述べる場合... ..	9
ロ、祝詞に答へる場合... ..	11
ハ、萬歳... ..	11
7. 人に話し掛ける言ひ方... ..	11
8. 承諾の言ひ方... ..	13

	頁
9. 断りの言ひ方	13
10. 聞き直す言ひ方	14
11. 安否の問ひ方、答へ方	15
12. 年齢の尋れ方、答へ方	18
13. 月日の問ひ方、答へ方	19
14. 時間の問ひ方、答へ方	21
15. 天気と言ひ方	23
16. 訪問用句	25
イ、訪問する場合	25
ロ、客を取次ぐ場合	25
ハ、來客に接する場合	27
ニ、人を紹介する場合	28
ホ、辭去の場合	28
17. 食卓用句	29
18. 商店用句	32
19. 言語について	35
20. 旅行用句	36
イ、停車場にて	36
ロ、汽 車	37
ハ、 車	38
ニ、旅 館	39
ホ、税 關	40
21. 道の聞き方、答へ方	41
22. 郵便電話用句	42
23. 劇場用句	45

第 二 編
日 常 會 話

	頁
1. 四 季	47
2. 晝 飯	49
3. 午 寝	51
4. お こ り	52
5. 立 寄 り	53
6. お 年 玉	54
7. 水 泳	56
8. 夕 立	57
9. 道 を 尋 れ る	59
10. 乞 食	61
11. 伯 父 さ ん	63
12. 齒 痛	65
13. 死 亡	66
14. 火 事	69
15. 學 校	70
16. 汽 船	73
17. 旅 行	76
18. 停 車 場	78
19. 旅 館	81
20. 住 宅	83
21. 怪 我	86

	頁
22. 訪問	87
23. 彼女の花簪... ..	93
24. 暇乞ひ... ..	93

第三編

實業會話

1. 文房具店にて	96
2. 手袋屋にて... ..	97
3. 床屋にて	99
4. 時計屋にて... ..	100
5. 料理店にて... ..	102
6. 家具店にて... ..	103
7. 醫院にて	105
8. 靴屋にて	107
9. 呉服店にて... ..	109
10. 書肆にて	112
11. 錠前屋... ..	113
12. 指物師... ..	116
13. 洋服店にて... ..	118
14. 税關	121
15. 小切手... ..	122
16. 就職口探し... ..	123

第四編
會話の實際

	頁
1. 病室	126
2. 出産	128
3. 貴女の國籍は?... ..	129
4. 戀敵	130
5. 刃傷	131
6. 誕生日の贈物... ..	133
7. 姉と妹... ..	134
8. 長ズボン	135
9. 露國の秘密警察	138
10. 舍營(喜劇の一節)	142
11. 女患者(メンハルト作喜劇)	144



1. 人と出會ふ場合には

Guten Morgen! ¹⁾	お早う!
Guten Tag!	今日は!
Guten Abend!	今晚は!
Ihr Diener! ²⁾	今日は(お早う、今晚は)
[Ihr] gehorsam(st)er Diener! ³⁾	同上
Grüß Gott! ⁴⁾	同上(南獨逸にて)
Gott grüß Euch!	同上(同上近親間)

- 【注意】 1. 原文中〔 〕の括弧内のものは加へても省いてもよいもの。()の括弧内のものはその前の語の代りに用ゐられ得るもの。
2. 註釋中に出づる「次の……」「以下……」等は皆原文に於ける「次の……」「以下……」のなり。

1. 挨拶

1) **Guten Morgen**—Ich wünsche Ihnen einen guten Morgen (私は貴君によき朝を祈る)の略、Tag, Abendも同様なり、此等の語は又別れる時の「さやうなら」の意にも用ゐらる; 又「お歸り遊ばせ」「只今」等の言葉にも用ゐらる。換言せば「お早う」でも「さやうなら」でも「お歸り遊ばせ」でも又「只今」でもその種類の如何を問はず獨逸語にては朝ならば凡て Guten Morgen さいひ晝ならば Guten Tag さいひ 而して夕刻ならば Guten Abend さいふなり。

ロ、人に別れる場合には

Guten Morgen!	さやうなら (朝に)
Guten Tag!	同上 (晝に)
Guten Abend!	同上 (夕に)
Auf Wiedersehen! ⁵⁾	さやうなら (時刻に關せず)
Auf frohes Wiedersehen!	同上 (樂しき再會を期して)
(Adieu! ⁶⁾	同上
Ade! ⁷⁾	同上
Adieu! Also auf baldiges Wiedersehen!	さやうなら、では又お近い中に!
Bis morgen! ⁸⁾	同上 (では明日)
Bis später!	同上 (では後程)
Bis bald!	同上 (いづれ近い中に)
Also auf heute Abend!	同上 (それでは又今晚)
In Gottes Namen! ⁹⁾	同上 (ライン地方及南獨近親間)
Mit Gott!	同上 (同上)

2) **Ihr Diener!**—「貴君の下僕」、特に男子用のもの; 時刻に關係なし。

3) **Ihr gehorsamster Diener**—「君の最も忠順なる僕」前語の一層丁寧なるもの; (時に **Ihr** を略する事あり。) 以上の二つは商人が客に對する場合などによく用ゐらる、然し女賣子は **Guten Morgen, Tag** を用ゐる。

4) **Grüß Gott!**—**Gott grüß Euch!** に均しく **god bless you** に當る、特に南獨逸にて用ゐらる、前者は一般に、後者は近親間に用ゐらる。

5) **Auf Wiedersehen**—「再會を期して」の意。

6) **Adieu!**—佛語 **adjöh** を發音す、**In Gottes Namen** の意;
Auf Wiedersehen と共に最も多く用ゐらる。

7) **Ade!**—**adieu** の短縮形。

Habe die Ehre, mich zu ではお暇致します
empfehlen.¹⁰⁾

Habe die Ehre.¹¹⁾ 同上

Habe die Ehre, mein 同上 (毎度有難う御座います)
Herr!¹²⁾

(**Ich**) **empfehle mich** 同上 (同上)
(Ihnen)!

Empfehle mich bestens!¹³⁾ 同上 (同上)

(**Leben Sie** (**recht**) **wohl!** 御機嫌やう

Leb' wohl! 同上 (近親間)

Bleibe gesund! 同上 (同上)

ハ、旅立つ人に

Glückliche Reise!¹⁴⁾ 御機嫌やう

Glück auf den Weg! 同上

Geh in Gottes Namen! 同上 (ライン地方近親間)

(**Leben Sie wohl. Angenehme** 御機嫌やう、御愉快的な御旅行を
Reise! 祈ります)

8) **Bis bald, bis morgen, bis später**—「近い中まで、明日まで、後刻まで」別れるの意; **bis bald** はあまり用ゐられず。

9) **In Gottes Namen!; Mit Gott!**—「神の名に於て、神と共に」にて無事を祈る語にて遠く別れる近親間に用ゐらる、これは専らライン地方及び南部獨逸にて日常用ゐらる。

10) **Habe die Ehre, mich zu empfehlen**—**sich empfehlen** は「暇を告げる(取る)」の意、**habe.....** は **ich habe** で「暇乞ひする光榮を有す」で「ではこれでお暇致します」になる。

11) **habe die Ehre**—前文の省略した形。

12) これは前文と同じであるが商人が客に對する言葉。

13) **empfehle mich**—**ich** を略せり、これもその前の文も同意、商人の客に對する挨拶、「毎度有難う御座います」に當る。

二、夜の挨拶

Gute Nacht!	おやすみなさい
Angenehme Ruhe!	同上
Träumen Sie süß!	同上

ホ、傳言

Schönen (Besten) Gruß zu Hause! ¹⁵⁾	お宅へよろしく!
Freundliche Grüße an Ihren (werten Herrn) Vater. ¹⁶⁾	御(尊)父様によろしく!
(an Ihre (werte Frau) Mutter, an Ihren (Herrn) Bruder, an Ihr Fräulein Schwester)!	(御母堂様に、御令兄様に、御令妹様に)
Empfehlen Sie mich Ihrem Fräulein Schwester bestens.	お令妹様へよろしくお傳へ下さい
Viele Grüße an alle.	皆さんによろしく
Danke sehr, ich werde es ausrichten. ¹⁷⁾	ありがたう、承知いたしました

14) **Glückliche Reise!**—ich wünsche Ihnen eine 次を補ふ、次の Gute Nacht! 等も同じ事。

15) **Besten Gruß zu Hause**—「宅にまで最良の挨拶を」にて「お宅へよろしく」の意、richten Sie..... aus を略せるもの、以下これに準ず。

16) **Ihr Herr Vater**—他人の父を尊んでいふ形、御尊父様に當る、以下これに準ず。

17) **ich werde es ausrichten**—es は相手の傳言を指す、ausrichten は「依頼を爲し果す」意、「畏りました」に當る。

Meine Schwester läßt sich Ihnen bestens empfehlen, gnädige Frau.
妹からも奥様へよろしく申しました
Gnädige Frau, ich soll Ihnen herzliche Grüße von Schulze ausrichten.
奥様、シユルツエからもよろしく申上げてくれと申しておました

2. 返事の言ひ方

1. 肯定する場合には

Ja. ¹⁾	はい、そうです
O ja.	ええそうです
Jawohl.	全くそうです。其通りです
Ja doch. ²⁾	いえどうして。全くです
Ja freilich.	勿論です
Gewiß; Ganz gewiß.	屹度です
Sicherlich.	受合です。體です
Natürlich.	勿論さ。當り前さ
Ganz genau.	全くその通りです
Versteht sich. ³⁾	そりや言ふまでもないさ
Selbstverständlich.	同上

2. 返事の言ひ方

1) **ja; nein**—邦語の「はい」「いゝえ」は獨語の ja, nein と全然一致するものにあらず; ja を「いゝえ」と譯し、nein を「はい」と譯すべき時あり、即ち Willst du nicht mit gehen? (お前は一所に行かないのか) — ja, ich gehe mit (いゝえ、行きます); Nein, ich gehe nicht mit (はい参りませぬ) に於けるが如し。換言せば獨逸語に於ては問者の言葉の中に nicht があつてもなくてもその事柄を肯定する場合には常に ja, 否定する場合には常に nein を用ひべきである。

Ohne Zweifel, Zweifelsohne.	疑ひなし
Ohne Frage, Fraglos.	問ふまでもなし。疑ひなし
(Das ist wahr.	本當だよ
Sie haben recht.	御尤です
Das kann sein.	さうかも知れぬ
Kann sein, mag sein. ⁴⁾	同上
Möglich.	有るかも知れぬ。有り得べき事だ
Vielleicht.	多分そうだらう
Vermutlich.	恐らくそんなことだらう
Nicht unwahrscheinlich.	なきにしもあらずだれ
Ich glaube fast.	先づさう思はれます
(Man sagt so.	そんな話です

ロ、否定する場合には

Nein.	いえ
O nein.	いえさうぢやありません
Keineswegs.	決して(……せぬ)
Nicht im mindesten.	毫も
Sie irren sich.	そりやお間違です(お思違です)
Gewiß nicht.	確にさうぢやありません

2) **ja, doch!**—これは主として問者の否定せんとするをあべこべに肯定する時に用ゐらる; 例へば Hast du es nicht gehört? (お前はそれを聞かなかつたか) に対して「いえ聞かない所か大に聞いた」さういふ場合に ja, doch! さういふ。

3) **Versteht sich**—Das versteht sich (それは自ら解る) の略、「わかりきつた事だ」の意。

4) **Kann sein**—Kann sein, mag sein は主語 Das を略せるもの。

Das ist eine Lüge	そりやうですよ
Sicher nicht.	受合つてさうぢやない
Nicht denkbar, undenkbar.	思ひもよらぬ。考へ得べからざる事ぢや
Keine Ahnung!	思ひもよらぬ。夢にも知らぬ
Nicht möglich, unmöglich.	出来るものか。六ヶ敷しいです
Keinesfalls.	何うしたつていかぬ
Auf keinen Fall.	同上
Unter keinen Umständen.	何うあつてもだめだ
Das kann ich nicht glauben.	そりや信じられませんね。さう思へませんな

3. 禮の言ひ方

(Ich danke [Ihnen] bestens!	何うもありがたう
(Danke!) ¹⁾	有難う
(Danke sehr!	ごうも有難う(甚だ)
Danke schön!	同上(よく)
Danke bestens!	同上(最もよく)
Danke verbindlichst!	同上(謹んで)
Danke herzlich!	同上(衷心より)
Besten Dank!	同上(最もよき感謝を)
Vielen Dank!	同上(多謝)
Herzlichen Dank!	同上(衷心の感謝を)
Großen Dank!	同上(大なる)
(Schönen Dank!	同上(美しき)
Verbindlichen Dank!	同上(恭しき)

3. 禮の言ひ方

1) **Danke!**—Ich danke Ihnen を略したるもの; 此處に數多の例を擧げたれども皆大同小異なり。

- (Ich bin Ihnen recht dankbar! 感謝に堪えませぬ
 Ich bin Ihnen sehr verbunden! 同上
 Ich kann Ihnen nicht genug (sam) danken! 御禮の申しやうも御座いませぬ
 Wie soll ich Ihnen danken? 何んさお禮を申してよろしやら
 (Sie sind) sehr liebenswürdig. 御親切様に
 Sehr freundlich von Ihnen!²⁾ 同上

4. 詫の言ひ方

- Entschuldigen Sie!¹⁾ 御免下さい
 Verzeihen Sie! 同上
 Ich bitte um Entschuldigung (Verzeihung). 御勘辨を願ひます
 Ich bitte tausendmal um Entschuldigung. 何卒一向に御勘辨を願ひます
 Nehmen Sie's (mir), bitte, nicht übel!²⁾ 何卒悪く思はないで下さい
 Seien Sie mir, bitte, deshalb nicht böse!³⁾ 何卒それを御怒りないやうに願ひます

2) **Sehr freundlich von Ihnen**—Das ist.....を補ふ即ち英語の it is very kind of you に當る。

4. 詫の言ひ方

- 1) **Entschuldigen Sie**—此處の語は單に詫の場合のみに限らず又「失禮ですが、お恐れ入りますか」の意にも用ゐらる。
 2) **Nehmen Sie's**—Sie's は Sie es なり又時に es の次に mir を加へる事あり es übel nehmen は「それを悪意に解する、悪く思ふ」の意、bitte は挿入せるもの、Bitte, nehmen Sie's nicht übel さいふ; 「悪しからず思ふてくれ」の意。
 3) **Seien Sie mir.....**—「それがために私に對して悪意を持つな」なり。

5. 感謝や詫に對する言ひ方

I. 感謝に對しては

- (Bitte sehr! 何う致しまして
 Bitte schön! 何う致しまして
 Nicht Ursache!¹⁾ 滅相な、却て痛みいります
 Keine Ursache! 同上
 Gern geschehen!²⁾ 何う致しまして

II. 詫に對しては

- (Bitte!³⁾ いえ、何う致しまして
 Bitte sehr! 同上
 (Das) hat nichts zu sagen!⁴⁾ 構いませんさ、なんでもありません
 (Das) macht nichts. 同上
 Tut nichts. 同上

6. 祝賀用句

I. 祝詞を述べる場合

- (Prosit!¹⁾ お芽出度う!
 Glück auf!²⁾ 同上

5. 感謝や詫に對する言ひ方

- 1) **Nicht Ursache**—Ursache は「原因」にて、お禮を申さるゝいわれなしの意。
 2) **gern geschehen**—es ist gern geschehen (喜んで生じた)。
 3) **bitte**—bitte, das macht nichts で Entschuldigung を辭退する言葉。
 4) **das hat nichts zu sagen**—「言ふべく何物も持たぬ」で「言ふに足らぬ、何んでもない事だ」の意。

Glück zu!	御芽出度う!
Viel Glück! ¹⁾	同上
Ich wünsche Ihnen Glück zu Ihrem Geburtstage.	御誕生日で御芽出度う存じます
Ich gratuliere Ihnen zum Geburtstage.	君の誕生日を祝す
Viel Glück zum Geburtstage. ⁴⁾	同上
Was Sie sagen! Heute ist Ihr Geburtstag? Das habe ich ja gar nicht gewußt. Herzlichsten Glückwunsch!	何んですか! 今日貴君の誕生日ですつて? そりやちつとも知らなかつた、それはそれは、何うもお芽出度う!
Ich wünsche Ihnen Glück zu Ihrem neuen Unternehmen.	御開業を祝す
Viel Glück auf den Weg!	君の首途を祝す
Glückliches Neujahr!	明けましてお芽出度う
Prosit Neujahr! ⁵⁾	同上
Herzlichen Glückwunsch zum neuen Jahre!	同上

6. 祝賀用句

- 1) **Prosit!**—ラテン語で、Prost! さもいふ、nützen の意味で、es nütze! (君のためになれよかし) さか Wohlbekomme es! zur Gesundheit! (貴君の健康を祈る) に當る。
- 2) **Glück auf!**—Glückauf さ一語に書かれる事もある。
- 3) **Viel Glück!**—Ich wünsche Ihnen (dir) を加ふ。
- 4) **Viel Glück zum Geburtstage**—これは近親間、ich wünsche dir を補ふ。
- 5) **Prosit Neujahr!**—Es nütze Ihnen das Neujahr! に當り Glückliches Neujahr と同意。

ロ、祝詞に答へる場合

Herzlichen Dank.	有難う
Herzlichen Dank für Ihre Glückwünsche. ⁶⁾	祝詞を賜はつて有難う存じます
Danke, gleichfalls. ⁷⁾	御同様にお芽出度う

ハ、萬 歳

(Hoch!	萬歳
(Herr Kimura lebe hoch!	木村君萬歳!
(Hurrah!	フレー!
(Seine Majestät unser allergnädigster Kaiser — Hurrah! [Er lebe hoch!])	天皇陛下萬歳!
(Hoch lebe der König!	國王陛下萬歳!
(Es lebe der König!	同上

7. 人に話し掛ける言ひ方

(依頼と提言)

- Können Sie mir sagen,¹⁾ ob (was).....? 失禮ですが、.....で御座いませうか?
- Darf ich Sie fragen,²⁾ ob? 一寸伺ひますが.....?
- 6) **Herzlichen Dank**—ich statue Ihnen meinen herzlichen Dank für.....ab の略したもの。
 - 7) **gleichfalls**—「同様に」で互に祝詞を言ひかはす場合に用ゐられる。

Würden Sie die Freundlich- 一寸伺ひますが.....
keit haben mir zu sagen,³⁾
wie ?
Würden Sie die Güte haben 同上 (恐れ入りますが.....して
mir.....zu [reichen]? 下さいますか)
Ich wäre Ihnen sehr ver-して下されば誠に有難いん
bunden (dankbar),⁴⁾ wenn ですが.....
Sie mir.....wollten.

Bitte. もし一寸 (お願ひしたいんです
が)
(Ich bitte Sie. お願ひですが
Entschuldigen Sie. 失禮ですが
Mit Ihrer Erlaubnis!⁵⁾ 同上 (相手と反対の意見を述べ
る時)
Erlauben Sie! 同上
Ich erlaube mir⁶⁾..... 同上 (住宅参照)
Wenn Sie es [mir] erlauben およろしければ..... (訪問参照)
.....

7. 人に話し掛ける言ひ方

- 1) **Können Sie**—「.....かを君は私に言ひ能ふか」。
- 2) **Darf ich**—「.....かを君に問てもよろしいか」。
- 3) **Würden Sie**—「.....かを私に言ふべく親切を持つてあ
らうか?」
- 4) **Ich wäre**—「若し君が私に.....を欲したならば、私は
君に甚だ義務(感謝して)つけられてあらう」。
- 5) **Mit Ihrer Erlaubnis!**—これは相手と反対の意見を述べる
時の言葉で「こう申しては失禮ですが、まあ御許を願ふさして申し
ますが」の心持。
- 6) **ich erlaube mir**—「私は私に許す」で「では甚だ勝手で
すが (.....をお目に掛けるさしやう云々)」の意。

Wissen Sie was?⁷⁾ ね、何うでしやう(斯うしたら)?
Weißt du [was.....]? ね、何うだい君(斯うしては)?

8. 承諾の言ひ方

Mit [dem größten] Ver- 喜んで(畏りました)
gnügen!
Sehr gerne! 同上
Recht gerne! 同上
(Sehr wohl! 同上
Eine Kleinigkeit!¹⁾ お安い御用です
(Bitte sehr!²⁾ え、何卒(御隨意に)

9. 断りの言ひ方

Ich danke Ihnen.¹⁾ いえもうござ(いりません)
Nein, ich danke. 同上
[Gott] Bewahre!²⁾ 眞平だ(飛んでもれえ)
[Gott] Behüte! 同上
Bitte! 何うしまして(いりません)、御
免です

7) **Wissen Sie was?**—これは相手の思ひ掛けぬ事を提言する
時の前置、次の weißt du? も同意。

8. 承諾の言ひ方

- 1) **Eine Kleinigkeit!**—Es ist mir eine Kleinigkeit (それは
私に取つては些細な事です、何んでもありません)の意。
- 2) **Bitte sehr!**—これは相手が „Gestatten mir gnädige Frau
zu rauchen?“ (奥様喫煙をお許し下さいませうか)と許可を問ふ
やうな場合に「え何卒、(おかまひなく、御隨意に)」と答へる言葉。

Leider,.....	遺憾ながら.....
Bedaure, ³⁾	同上
Es tut (oder ist) mir leid,	お気の毒ですが.....
Zu meinem Bedauern.	同上 (私の遺憾にまで)
[Es ist recht] schade, daß.....	甚だ氣の毒だが.....

10. 聞き直す言ひ方

(Wie beliebt?) ¹⁾	何んで御座いますか?
Wie beliebt?	同上
Was? ²⁾	何に? 何んだつて?
Wie?	何う? 何うだつて?
Verzeihung? ³⁾	失禮ですが?
Wie meinten Sie, Herr N. N.?	何んさおつしやつたんですか。
Wie bemerkten Sie, Herr Doktor?	同上

9. 断りの言ひ方

1) **Ich danke Ihnen**—これは „Was darf ich Ihnen jetzt geben?“ (今度は何を差上ませうか) など食事などをすゝめる時に「いえもう結構です、いりません」を答へる言葉で、この外 „danke bestens!“ などさもないふ、「有難う御座います」だから承諾するものと思ひ違ひしないやうに。

2) **Bewahre!**—次の Behüte も共に Gott bewahre (behüte) mich davor (神よ私をそれから保護したまへ) の略で、強く排拆する言葉。

3) **Bedaure**—ich bedaure (sehr), daß..... で「私は.....を傷む」、「残念ですが.....出来ぬ」。

10. 聞き直す言ひ方

1) **Wie beliebt?**—Wie beliebt Sie? の略、憚り様ですが、御意の程を解しかれますがの意。

Verzeihen Sie gütigst, ⁴⁾ wie sagten Sie soeben?	失禮ですが、只今何んさお仰つたんですか?
Ich habe nicht recht verstanden, was Sie zuletzt sagten; darf ich bitten, es zu wiederholen?	最後におつしやつた事がよくわかりませんでした、令一度繰返して頂けるでせうか?
Tun Sie mir den großen Gefallen, ⁵⁾ gnädiges Fräulein, und reden Sie ein klein bißchen langsamer.	甚だ恐縮ですが、お嬢様、今少しごゆつくりお話し下さいませ

11. 安否の問ひ方、答へ方

Wie geht's? ¹⁾	どうです?
Guten Tag, Herr N. wie geht's (mit) Ihnen? ²⁾	今日は、如何です、N 君?
Wie befinden Sie sich heute morgen?	今朝は御機嫌如何ですか?
Danke für die gütige Nachfrage, ³⁾ sehr gut.	何うも御親切にありがたう。甚だいゝです。

2) **Was? Wie?**—これは他人に對して用ゆれば甚だ失禮に當る、初學者は特に用ゐたがるものなれば注意すべし、極く近かしい間又は目下のものに用ゆ。

3) **Verzeihung?**—ich bitte um Verzeihung, ich habe Sie nicht recht verstanden. で「お許を願ひたいです (失禮ですが)、おつしやる事がよくわかりませんでした」の氣持。

4) **Verzeihen Sie gütigst**—「御親切に許せよ」で「甚だ失禮ですか」に當る。

5) **Tun Sie mir den großen Gefallen**—「私にこの大きな好意をなせ」で「お恐れ入りますが.....して下さい」の意。

Was macht die Gesundheit?	健康は何うだい?
Die macht gut.	いゝよ
Geht's Dir heute besser? ¹⁾	今日は加減はいゝ方かい?
Ja, Gott sei Dank!	えゝ、お蔭様で
Was haben Sie denn?	何うなさいました?
Was fehlt Ihnen?	何處がおわるいのですか?
Ich habe nicht gut geschlafen.	よく眠られませんでした
Ich habe Kopfschmerzen.	頭痛が致します
Ich hab's im Magen.	胃がわるいやうです
Was ist denn los mit Ihnen?	君は一體どうしたのだ? まさか
Sie sind doch nicht krank?	病氣ぢやあるまいね?
Ich weiß es selbst nicht; ich bin auf dem <u>Undamm</u> , ⁵⁾ ich glaube, ich werde ernstlich krank.	自分自身がわからないんだ。何うも具合が變だよ。本當に病氣にでもなりさうだよ
Wie geht es mit Ihrer <u>Erkältung</u> ?	お風邪は如何ですか?
Was macht heute Ihr <u>Rheumatismus</u> ?	君の腰痛質斯は今日は何うだね?
Es ist immer noch beim <u>alten</u> ; ⁶⁾ ich habe zeitweilig gräsliche Schmerzen.	矢張相變らずだよ。時々恐ろしく痛むんでね

11. 安 否

- 1) **Wie geht's?**—次に dir, euch 等が略されてゐる、これは近しい間に用ゆ、他人には次の二句を用ゆるをよします。
- 2) **Wie geht's mit Ihnen?**—mit はあるもなくも同じ意。
- 3) **Danke für.....**—ich を加ふ親切なる問合に對して感謝す。
- 4) **Geht's Dir heute besser?**—極く近かしい間に限る。
- 5) **ich bin auf dem Undamm**—間違つた道にある、で「本當ぢやない、具合がわるい」の意。

Lassen Sie mich Ihren Puls fühlen.	お脈を拜見ませう
Zeigen Sie mir doch einmal Ihre Zunge!	お舌をおみせ下さい
Wie geht's Ihrem Herrn Vater?	御尊父様は如何ですか?
Wie gehts dem Patienten?	病人は何うだね
Danke, er ist auf der <u>Beserung</u> .	有難う、快い方だ (直りつゝある)
Ist Ihr Herr Bruder immer noch krank?	御令兄様は未だに御病氣ですか
Darf ich mich nach dem Befinden Ihrer werten Frau Gemahlin erkundigen? ⁷⁾	御令閨様の御容態は如何であらつしやいますか?
Wir haben mit <u>Bedauern</u> gehört, daß sie sich nicht wohl fühlt. <u>Influenza?</u> Die geht im Augenblick hier sehr herum. ⁸⁾	何んでもお加減がお悪いさ承りましたが (でお氣の毒に存じたのですが)、 <u>流感</u> であらつしやいますか? 今の所此方で大層流行つて居りますで
Was machen die Kinder? ⁹⁾	お子供衆は如何です?
Wie geht's zu Hause?	お宅 (皆様) は如何です

6) **es ist immer noch beim alten**—依然として元のまゝである。

7) **Ihre werte Frau Gemahlin**—御内室様に當る、Ihre Frau Gemahlin のみにてもよし。werte (尊き、敬愛すべき) を加へれば愈々丁寧なり。sich nach etwas erkundigen—「或る事を伺ふ、消息を聞く」意。

8) **Die geht.....sehr herum**—die は Influenza, herumgehen は擴がる、流行する。

9) **Was machen die Kinder?**—これ以下は皆近親間用なり。

Was machen die Deinen?¹⁰⁾ 皆んな(家族達は)如何だね?
Danke! Alles wohlauf und ありがたう。皆丈夫です。ピン
munter. ピンしてゐます

12. 年齢の尋ね方、答へ方

Wie alt sind Sie? お何歳ですか?
Ich bin 15 Jahre alt. 僕は十五歳です
Welches Alter haben Sie? (Neunzehn Jahre).
Neunzehn Jahre). おいくつ? 十九です
In welchem Alter stehen Sie?¹⁾ お何歳であらつしやいますか?
Eben 15. 丁度十五です
In welchem Alter sind Sie? 何歳かれ?
Beinahe 25. 二十五にならうさいふ所です
Ihr Alter, bitte?²⁾ 失禮ですが、お年齢は?
Ich bin dreiundzwanzig Jahre alt. 私に二十三になります
Wieviel Jahre alt sind Sie? 何歳ですか?
Darf ich fragen, wie alt Sie sind? 失禮ですが、お何歳であらつしや
sind? います?
Wie alt ist Ihr Herr Vater? 御尊父様はお何歳ですか?

10) Was machen die Deinen?—die Deinen は「汝の家族」の意、前の wie geht's zu Hause? と同意。

12. 年齢

- 1) In welchem Alter stehen Sie?—「如何なる年齢に君は立つや」で次の in welchem Alter sind Sie と同意。
- 2) Ihr Alter, bitte?—これは役人や其他公務上で人の年齢を聞くやうな場合の言ひ方。

Wie alt ist Ihre Frau Mutter? お母様はお何歳であらつしやいます?
Sie wird bald 44. 母はおつつけ四十四です
Wie alt ist Ihr Fräulein Schwester? 御令妹様はお何歳ですか?
Sie ist 3 Jahre jünger als ich. 妹は僕より三つ下です
Wie alt ist Ihr Herr Bruder? 御令弟はお何歳ですか?
Er ist erst 2 Jahre alt. あれは漸く二つになつたばかり
です
Wie alt glauben Sie, daß er sei?³⁾ あの人は何歳だと思し召す?
Wie alt schätzen Sie ihn? 同上
Nun, doch wohl über siebenzig?⁴⁾ さア、體に七十は越してゐませう
な?
Er ist noch jung. あの人は未だ若いです
Er ist schon bei Jahren. ええもう随分の年ですよ

13. 月日の問ひ方、答へ方

Den wievielten haben wir heute?¹⁾ 今日は何日ですか?
Was für ein (Welches) Datum ist heute?²⁾ 同上

3) Wie alt glauben Sie, daß er sei?—これは Wie alt ist er? と續くべきもの、「彼が幾歳だと思ふか」。

4) Nun, doch wohl.....?—nun は「されば.....、さア.....」と考へて、doch wohl は「いくらなんでも此度七十は出てゐるだらう」の言氣をそへる。

13. 月日の問ひ方

1) Den wievielten—次に Tag を略せり、即ち「第何番日を」、「第何日を」なり。

- Heute ist der erste Januar.³⁾ 今日は一月一日です
 Heute ist der einunddrei- 今日は十二月三十一日です
 figste Dezember.
 Wann ist dein Geburtstag? 君の誕生日は何時だ?
 Am 26. November.⁴⁾ 十一月二十六日さ
 Wann bist du geboren? 君は何時生れたんだい?
 Am 26. November 1900. 千九百年の十一月二十六日さ
 Wann werden Sie zurück- 君は何時歸つて来ますかれ?
 kommen?
 Am zweiten nächsten Monats. 來月の二日に
 Den wievielten (Tag des 次の月曜日は何日になるかれ?
 Monats) haben wir näch-
 sten Montag?⁵⁾
 Ist der nächste Sonnabend 次の土曜日は十五日になるかれ?
 der fünfzehnte?
 Welcher Tag der Woche ist 今日は何曜日ですか?
 heute?⁶⁾
 Welcher Tag ist der zweite 來月の二日は何曜日かれ?
 nächsten Monats?
 War gestern Sonntag? 昨日は日曜だつたかれ?
 Ist übermorgen Dienstag? 明後日は火曜日ですか?

2) Was für ein Datum—「如何なる日附で」で「何日で」の意、welches Datum としても同じ。

3) der erste Januar—der erste Tag Januar なり、以下これに準ず。

4) am 26. November—am (an dem) sechs und zwanzigsten Nov. と読む。

5) nächsten Montag—四格、副詞的用法。

6) Welcher Tag der Woche—「週の何日」で「何曜日」となる、der Woche は往々省略さる。welcher Tag は「曜日」と心得べし。

- An welchem Tage kommen 君は何曜日に此處へ来るかれ?
 Sie hierher?
 Der wievielte war vorigen 前の木曜日は何日だつたかれ?
 Donnerstag?
 Auf welchen Tag fällt dieses 今年の十月三十一日は何曜日に
 Jahr der einunddreißigste 當るかれ?
 Oktober?

14. 時間の問ひ方、答へ方

- Wie viel Uhr ist es, bitte?¹⁾ 失禮ですが、今何時ですか?
 Welche Zeit haben wir? 何時だらう?
 Darf ich Sie bitten, mir zu 恐れ入りますが、何時で御座いま
 sagen, wieviel Uhr es ist?²⁾ せうか?
 Wie spät ist es? 何時だい?
 Haben Sie die richtige Zeit? 君の時計は合つてゐるのかい?
 Wie spät ist es auf Ihrer 君の時計では何時ですか?
 Uhr?
 Nach meiner Uhr ist es 僕の時計では(丁度)二時だよ
 [gerade] zwei Uhr.
 Es ist eins, zwei, drei. 一時だ、二時だ、三時だ
 Es ist eine Minute vor eins.³⁾ 一時一分前だ
 Es ist zehn Minuten nach 二時十分過ぎだ
 zwei.

14. 時間の問ひ方

- 1) Wie viel Uhr—Uhr は時刻を示す時は常に單數を用ひ、Uhren とあれば時計の複數なり、注意すべし
 2) Darf ich Sie bitten—直譯は「貴君に乞ふてよろしきや、私に言ふべく、何時であるかを」、丁寧な問ひ方。
 3) vor eins—vor ein Uhr なり、ein は單獨の場合には常に eins の形を取る。

Es ist ein Viertel über drei.	三時十五分過ぎだ
Es ist viertel vier. ⁴⁾	同上
Es ist halb sieben. ⁵⁾	六時半だ
Es ist ein Viertel vor acht.	八時十五分前です
Es ist drei Viertel (auf) acht. ⁶⁾	同上
Es ist ein Viertel nach. ⁷⁾	十五分過ぎです
Es ist halb.	半です
Es ist ein Viertel vor.	十五分前です
Es ist drei Viertel.	同上
Es ist genau Mittag.	丁度正午です
Wann werden Sie zu mir kommen?	何時宅へ来るかれ?
Um acht.	八時に
Um wieviel Uhr kommen Sie zurück?	何時に君は歸つて来るかれ?
Gegen neun, kurz vor neun, kurz nach neun, Punkt neun.	九時頃に、九時少し前に、九時少し過ぎに、正九時に
Wie lange haben Sie gestern Abend gearbeitet?	君は昨晚何時まで(何時間)仕事したかれ?
Bis um 8; von 8 bis 12.	八時まで。八時から十二時まで

4) **viertel vier**—ein Viertel auf vier で「四時までに四分の一」で「三時十五分」

5) **halb sieben**—halb auf (bis) sieben「七時に向つて半分、即ち三十分」で「六時半」の意となる。

6) **drei Viertel acht**—これも dreiviertel auf acht (八時にまで四分の三) で「七時四十五分」又は「八時十五分前」。

7) **ein Viertel nach (vor)**—Viertel は六十分の四分の一で「十五分」、nach (vor) は次に ein (zwei) Uhr 等を略せるもの、「十五分過ぎ(前)」といふに當る。

15. 天氣の言ひ方

Wie ist das Wetter?	天氣は如何だ?
Es ist tadellos.	申し分なしだよ
Wie sieht das Wetter aus?	天氣はごんなですか
Es ist unsicher.	覺束ないですな
Wie steht's mit dem Wetter?	天氣の具合は
Es ist unbeständig.	定りませぬね
Was für Wetter ist draußen?	外は天氣は何うです
Es ist sehr windig.	えらい風ですよ
Es ist reizendes Wetter.	ほれほれするやうな天氣よ
Es ist sehr staubig.	中々の砂塵です
Es wird immer trüber.	段々曇つて来るばかり
Es regnet in Strömen.	流すやうな雨です
Wir bekommen ein schweres Gewitter.	恐ろしい暴風雨でも来さうだ
Wir bekommen eine Husche.	通り雨が来さうだ
Was halten Sie vom Wetter?	天氣は何うお思召す?
Es scheint ein heißer Tag zu werden.	お暑くなりさうですな
Es scheint ein regnerischer Tag zu werden.	雨になりさうだよ
Glaubst du, daß es hält, ¹⁾ oder daß wir Regen bekommen?	ね貴郎、天氣は持つでせうかしら それとも雨になるでせうか
Schwer zu sagen!	何さといへないね!

15. 天氣の言ひ方

1) **es hält**—es は das Wetter, halten は dauern (持續する、もつ)。

Ich glaube, wir bekommen ein Gewitter.	夕立にでもなりさうに思はれませぬ
Es sieht nach Regen aus. ²⁾	雨模様だれ
Es sieht nach anderem Wetter aus.	變りさうだれ
Regnet es?	雨が降つてゐるの?
Ja, es regnet.	さうよ、雨よ
Ist es am Regen?	雨ですか?
Hat es aufgehört zu regnen?	雨は止みましたか?
Nein, es regnet noch ein wenig.	いえ、未だ少し降つてゐます
Hat es aufgehört mit Regnen?	もう降り止んだか?
Nein, der Regen kommt noch fest herunter.	いや、何うして、まだ盛んなものだ
Es schneit.	雪が降る
Es blitzt.	電光がする
Es donnert.	雷鳴する
Es hagelt.	霰が降る
Es friert.	凍る
Ist's wieder am Schneien?	又雪ですか?
Das Schneegestöber hat nachgelassen.	吹雪は止みました

2) nach etwas aussehen—「……の方へ見える」で「云々になりさうだ」の意。

16. 訪問用句

1. 訪問する場合

Ist Herr [Frau] N. zu N. sprechen? ¹⁾	N. 様にお目に掛られませうか
Ich möchte zu Herrn N. Empfängt die gnädige Frau [Besuch]?	N. 様にお目に掛り度いのですが 奥様にお目に掛られませうか
Empfangen die Herrschaften?	御主人様にお目に掛られませうか
Ich möchte Herrn N. sprechen.	N. 様にお目に掛り度いのですが
Ich möchte Herrn N. meine Aufwartung machen. ²⁾ Ist er zu Hause?	一寸お伺ひに出ましたのですが、お在宅ですか?
Ist Herr N. zu Hause? ³⁾	N. 様はお(在)宅ですか?
Wollen Sie uns melden.	御取次を願ひたいですが

2. 客を取次ぐ場合

Darf ich um Ihren werten Namen bitten? お名前を承り度う御座いますか

16. 訪問用句

- 1) Ist Herr N. zu sprechen?—「N 様は話すべくあるか」にて「面會が出来るか」の意。
- 2) meine Aufwartung machen—伺候すさいは人が如し。
- 3) Ist Herr N. zu Hause?—「N 君は在宅か」といふ言葉は訪問用句としてはあまり上品ではない、在宅でも面會し得ぬ事もあるのだから、あまり使用せぬ方がよきとされてゐる。

Wen darf ich melden? ⁴⁾	何方であらつしやいますか
Wen soll ich anmelden?	同上
Gnädige Frau empfangen heute nicht. ⁵⁾	奥様は今日はお目に掛られませ ん
Herr N. ist verreist.	御旅行中で御座います
Herr N. ist nicht zu Hause, (nicht zu sprechen, nicht da).	(N. 様は) お留守で御座います
Er ist soeben ausgegangen.	今し方お出掛けになりました
Bedauere, die Herrschaften sind [eben] ausgegangen.	生憎御主人様は 御留守で 御座い ます
Er ist augenblicklich sehr beschäftigt und bedauert, Sie jetzt nicht empfangen zu können. ⁶⁾	只今一寸取込んで居りますので 御氣毒様ですが お目に 掛られ ませぬさうで御座います
Es ist gerade Besuch da.	只今お客様が有りますので
Er hat gerade einen Besuch.	同上
Wollen Sie sich hier hinein bemühen?	何卒此方へお遣入り下さいませ
Gnädige Frau lassen bitten.	奥様が何卒御通り下さいますや うにつて
Herr N. bittet Sie her- einzutreten.	何卒此處へお遣入り下さります るやうにつて

4) **Wen darf ich anmelden?**—「誰れを私は取次ぐべきや」にて「何方様ですか」の意をなす。

5) **Gnädige Frau empfangen**—單数名詞に複數を用ゐたのは敬ふ氣持から。

6) **und bedauert, Sie.....können**—そして貴君を只今引見し得ざる事を悲む。

ハ、來客に接する場合

Bitte, nehmen Sie Platz!	何卒お掛け下さい
Bitte, setzen Sie sich!	同上
Womit kann ich Ihnen dienen? ⁷⁾	何の御用で御座いますか?
Was verschafft mir die Ehre? ⁸⁾	御用向は?
Was verschafft mir das Ver- gnügen [Ihres Besuches]? ⁹⁾	何ういふ御用であらつしやいま すか
Sehr geehrt, Ihre werte Bekanntschaft zu machen. ⁹⁾	初めて御意を得ます、以後よろし くお願い致します
Seien Sie mir herzlich will- kommen, liebes Fräulein. ¹⁰⁾	これはまッようこそあらつしやい ましたね、お嬢様
Freut mich sehr, Sie kennen zu lernen. ¹¹⁾	これから御懇懇に願ひます、(始 めて拜顔を得て嬉しい)
Sehr erfreut, gnädiges Fräu- lein, [Ihre Bekanntschaft zu machen]	御嬢様、お初にお目に掛ります

7) **Womit kann ich Ihnen dienen?**—何を以て私は貴君に仕へ能ふかにて「御用は何人ですか?」の意なる。

8) **Was verschafft mir die Ehre?**—die Ehre の次に Ihres Besuches を略せり、即ち「何が私に貴君の御來訪の光榮を供給するや」にて「御光來の御用向は何ですか?」の意なり。

9) **Sehr geehrt, Ihre werte Bekanntschaft zu machen**—最初に Ich bin を略せり、即ち「貴君の尊き知己をなすべく名譽づけられて(光榮を有す)」なり。「初めて御意を得ます、以後お見知り置き下さいますやうに」位の所。

10) **Liebes Fräulein**—婦人が令嬢に向つて言ふ言葉、男子や召使は gnädiges Fräulein さいふ。

11) **Freut mich sehr**—es freut mich :.....なり。これは上句よりは手輕なり。「お近づきになれるのがうれしく存じます」。

Ganz auf meiner Seite.¹²⁾ ええ私方こそ
 Ich habe Ihnen freundliche X の Müller 様からよろしく
 Grüße von Herrn Müller 申してくれ さいふお傳言でし
 in X.¹³⁾ た

三、人を紹介する場合

Darf ich dich den Herr- 貴郎をお客様に御紹介致しませ
 schaftten vorstellen? Mein うー良人(やど)ーシルツェさん
 Mann-Fräulein Schulze- のお嬢様ーお兄様
 ihr Bruder.

Wollen Sie die Freundlich- 失禮ですが、僕を君の友人に紹介
 keit haben, mich Ihrem して下さいませんか
 Freund vorzustellen?

ホ、辭去の場合

Wir dürfen Ihre Zeit nicht 奥様、あまりお邪魔致してはなり
 länger in Anspruch ませんから
 nehmen,¹⁴⁾ gnädige Frau.

Aber bitte, bleiben Sie doch まあ何卒、いゝちやありませんか
 noch ein bißchen: Sie 今暫らく、ちつさも邪魔になん
 halten mich ganz gewiß かなりませんよ
 nicht auf.

12) **Ganz auf meiner Seite**—Die Ehre ist ganz auf meiner Seite なり、即ち「その光榮は全然私の側にある」「ええ私方こそ(よろしくお願ひ申したいので)」而してこの場合に於ける die Ehre は die Ehre, Ihre werthe Bekanntschaft zu machen (知己になるの光榮は……) なり。

13) **Ich habe Ihnen freundliche Grüße von Herrn x.**—「私は貴君に x 君の親愛なる挨拶を持つ」にて「x より貴君によろしくその傳言でした」の意。

Habe die Ehre (mich zu ではお暇致します
 empfehlen).

Bitte, bemühen Sie sich 何卒、おかまひなく
 nicht.¹⁵⁾

17. 食卓用句

Was ziehen Sie vor, Thee, 貴君は何になさいますか、茶か、
 Kaffee oder Chokolade? 珈琲か、それともチョコレート
 にしますか?

Thee, wenn ich bitten darf.¹⁾ 恐れ入りますが、お茶を
 Eine Tasse Chokolade, bitte. 何卒チョコレートを一杯願ひます
 Nehmen Sie Zucker und 茶に砂糖とクリームをお入れに
 Sahne zum Thee? なりますか?

Ja, bitte, nur ein Stück ええ、何卒、砂糖をほんの一つ、
 Zucker, keine Milch ミルク(クリーム)はいりません
 (Sahne), bitte.

Darf ich Ihnen noch etwas 今少し炙肉を如何でせう、ブラウ
 Braten anbieten, Herr ンさん?
 Braun?

14) **in Anspruch nehmen**—「要求の中に取る」で Ihre Zeit in Anspruch nehmen は「貴女の時間を此方で使用する、貴女の時間を要求する」で貴女の暇つぶしをする、邪魔する。

15) **bemühen Sie sich nicht**—「貴君骨を折るな」で辭去の際に玄關まで見送るのを辭退する言葉

17. 食卓用句

- 1) **wenn ich bitten darf**—「願つてよろしければ」なり。
- 2) **sehr liebenswürdig**—Sie sind を補ふ、貴君は甚だ親切である」で「何うも有難う」の意味になる。

- Sehr liebenswürdig,²⁾ aber 有難う御座います、然し何卒ほん
 bitte nur ein ganz klein の少しばかり
 wenig.
- Noch eine Tasse Tee, Fräulein Liebe? お茶を今一つ如何です、お嬢様?
- Eigentlich nicht mehr, doch diesmal ausnahmsweise. 本當はもう頂けないんですけれど、折角ですから、(これは特別に)有難う御座います
 Schönen Dank.
- Womit kann ich jetzt aufwarten?³⁾ Wollen Sie nicht den Heringssalat probieren (kosten)? 今度は何を差上げませうね? 貴君この青魚サラダを召し上つて見て下さいませんか?
- Das wäre ein Fall.⁴⁾ Bitte, geben Sie mir eine Kleinigkeit davon, der Wissenschaft halber.⁵⁾ さうですなア(そりや一つ考へて見やう)、では何卒それを極く少し下さい、後學のために
- Bitte, langen (greifen) Sie zu,⁶⁾ Herr Schulze. Tun Sie, als ob Sie zu Hause wären! Genötigt wird bei uns nicht.⁷⁾ さア何卒、召上つて下さいな、シユルツエさん、お宅様にあらつしやる通りになさつて、手前共では無理におすゝめは致しませんから

3) **aufwarten** = dienen; Was steht zu Befehl? (何御用?) で「今度は何を差上げませうか」に當る。

4) **das wäre ein Fall**—「それは一つの場合(事件)であるであらう」で「それは考へものですな、それは他のものさちがつてうっかりイエスノーさへぬ事柄ぢや」の意。

5) **der Wissenschaft halber**—「學問のために」で「後學のために」に當る、um zu sehen, wie er schmeckt の意。

6) **zulangen**—zugreifen 共に食卓用語として Langen (greifen) Sie zu は「御自由に召上れ、おつまみ下さい」の意味。

- Wie! Sie wollen schon aufhören? Sie haben ja fast nichts gegessen! 何んですさ! もうおすみになるんですか? 貴君だつて殆ど何一つ召上つてゐないぢやありませんか!
- Das gerade nicht, gnädige Frau; im Gegenteil, ich habe mich wacker gehalten⁸⁾ (tüchtig gegessen); ich habe für vier Mann gegessen. いえさんでもない事、奥様、反對に僕は一生懸命頂きました、僕は四人分も食べましたよ
- Na, Sie sind wirklich ein schwacher Esser! まア、貴君は本當に少食であらつしやいますれ
- Würden Sie die Liebenswürdigkeit haben,⁹⁾ den Salat weiter gehen zu lassen? あの恐れ入りますがそのサラダを(お先へ)お廻し下さいませんか
- Oh, Verzeihung! Ich hatte ganz übersehen, die Schüssel weiterzugeben, da ich selbst keinen Salat esse (nehme). おゝ、これは失禮、この鉢をお廻しするのをすっかり失念いたしてゐました、自分がサラダを食べないものですから
- Würden Sie so freundlich sein, mir die Wasserflasche ちらへお渡し下さいますまい
- 7) **genötigt wird nicht**—「強いられぬ」で「無理におすゝめはしない」
- 8) **sich wacker gehalten**—「立派に振舞つた」で「うんさ食べた、卑怯な眞似はしない、大にケンタン振を發揮した」の意。
- 9) **würden Sie die Liebenswürdigkeit haben**—「貴君は……の親切を持つであらうか」で「恐れ入りますが……して下さい」の意。

herüberzureichen? か
〔Gesegnete〕 Mahlzeit! ¹⁰⁾ 頂きます(食前); 御馳走様(食後)

18. 商店用句

Gehorsamer Diener! ¹⁾ いらつしやい! (男子用)
Womit kann ich [Ihnen] dienen? いらつしやいませ! (何ぞ御用で?)
Was wäre Ihnen gefällig? ²⁾ 同上
Sie wünschen? ³⁾ 同上
Geben Sie mir ein Paar Handschuhe. 手袋を(一組下さい)
Welche Nummer? ⁴⁾ Er- 何文ですか? 何卒右の御手を一
lauben Sie gütigst Ihre rechte Hand? Sie haben 7 $\frac{3}{4}$. 寸、7 $\frac{3}{4}$ で御座いますな
Geben Sie Kredit? ⁵⁾ 掛けにするかれ?
Bedaure, wir verkaufen nur gegen Kasse (gegen bar). お氣の毒様ですが手前共では皆現金で賣つて居りますので

10) **Gesegnete Mahlzeit!**—これは獨逸語で食事の時に互にする挨拶、食事に掛る時と食事の終つた時にいふ。故に我國語に譯す時は場合によつて「頂きます」「御馳走様」さいふ客の言葉にも又「どうぞつまりませぬものですがおあがり下さい」「どうもお粗末でした」さいふ亭主の言葉ともなる。

18. 商店用句

1) **Gehorsamer Diener**—「従順なる下僕」で「いらつしやい」の意に用ゐらる尤も意味は「今日は」に當る、これは男子に限る。

2) **Was wäre Ihnen gefällig?**—「何が君に御氣に入つてあるであらうか」で「御用向は」の意。

Kann ich mir Ihre bunten Postkarten ⁶⁾ [Ansichtspostkarten, Postkarten mit Ansichten] einmal ansehen? 繪葉書を一寸見せて貰えますか
Sehr gerne. Wollen Sie sich gütigst nach drüben bemühen? ⁷⁾ Dort finden Sie eine große Auswahl Ansichtskarten, ⁸⁾ in Buntdruck und in einer Farbe. えゝ何卒、恐れ入りますがあちらへずつとお通り下さいませ、あちらに繪葉書が色々取揃て御座ますから、色刷のものも単色のものも
Führen Sie Ilford Trockenplatten? ⁹⁾ 此方でイルフォールドの乾板を賣つてゐますか
Wollen Sie diese Platten für mich entwickeln? その乾板を僕に現像してくれませんか
Ich wünsche mich photographieren zu lassen. 僕寫眞を撮つてもらひたいんだがれ
Soll ich im voraus bezahlen? 前金(拂)ですか

3) **Sie wünschen?**—「貴君は欲する」で「いらつしやい御用は?」の意。Wünschen Sie? いへば「何か欲しいのか」さなる Sie wünschen? と普通文體の間にすれば用がある事は承知で、「でその御用は何……」さいふ意になる。

4) **Welche Nummer?**—何號? で足袋なら「何文?」に當る、Welche Nummer wünschen Sie? なり。

5) **Geben Sie Kredit?**—Kredit は「信用」にて商賣上「掛け賣りする」をいふ。

6) **bunte Postkarten**—「色刷の(彩色の)郵便葉書」で「繪葉書」をいふ、普通は Ansichtskarte を用ゆ。

7) **sich nach drüben bemühen**—zu treten, zu gehen 等を補ふ、「あちらへ行くべく骨折れ」で「御足勞ながらあちらへ行け」の意。

- Sind meine Photographien 僕の寫眞出來ましたか
fertig? fertig?
- Wann werden sie fertig sein? 何時出來上りますか
- Schicken Sie sie nach dieser それをこの宛名で送つてくれ給
Adresse. へ
- Das kommt mir etwas hoch こりや僕には少し高いやうに思
vor. はれるれ
- Sie werden diese Ware 此の品は何處へあらしめてもこれ
nirgends billiger bekom- よりお安くはお手に入りませ
men. んですよ
- Tut mir sehr leid! Wir お氣の毒様、手前共では正札で御
haben feste Preise,¹⁰⁾ und 座いまして、それにもう二馬克
ich habe Ihnen schon 2 もお引して居りますので、これ
Mark abgelassen. Weiter 以上は何うにもなりません
kann und darf ich nicht 御座いますよ
gehen.¹¹⁾
- Das ist aber wirklich teuer! そりや然し實際高いよ、そんなに
Soviel kann ich nicht ば僕は出せないよ
anlegen.¹²⁾
- Empfehle mich sehr.¹³⁾ 毎度有難う御座います
- Halte mich bestens empfohlen. 同上

8) eine große Auswahl Ansichtskarten—Auswahl は「撰
擇」から Vorrat (蔵品、在庫品) の意、eine große Auswahl (von)
A. 「特撰繪葉書の多數」

- 9) führen—zum Verkauf haben で「賣つてゐる、商ふ」
10) feste Preise—定價、正札。
11) kann und darf nicht—「出來もせず又してはならぬ」で強
め語、「何うしても出來ぬ」
12) anlegen—金を出す、投資する。
13) Empfehle mich sehr—商人が客の歸る時に用ひ、「毎度有
難う御座います」に當る。

19. 言語について

- Sprechen Sie deutsch? あなた獨逸語をお話しなさいま
すか?
- Ja, ich spreche ein wenig はい私は少しばかり獨逸語を話
deutsch. します
- Ich spreche nicht viel 私はタントは獨逸語を話ませ
deutsch. ぬ
- Er spricht ziemlich gut 彼の人ばカナリよく英語を話し
englisch. ます
- Ich habe erst angefangen. 私はヤット始めたばかりなのです
- Ich spreche ein sehr sch- 私は非常にマツイ獨逸語を話し
lechtes Deutsch.¹⁾ ます
- Ich schreibe besser, als ich 私は話すよりも書く方がよく出
spreche. 來ます
- Verstehen Sie, was Sie なたはお讀みになるここがお
lesen? 分りになりますか
- Ich verstehe etwas davon.²⁾ 私はそれを少しは理解致します
- Verstehen Sie mich gut? あなた私の言ふここがお分りで
すか?
- Ich verstehe es ein wenig. それが少しは分かります

19. 言語について

1) ein schlechtes Deutsch—獨逸語を表はすに das Deutsche
と形容詞の變化をする形と das Deutsch と變化しない形とある、
前者は一般的な意味での「獨逸語」を示し、後者は會話等に盛に用
ゐられるが、何か限定詞が加はつて獨逸語の一種の形姿を示す時は
必ず後者が用ゐられる、例へば das heutige Deutsch (今日の獨
逸語)、mein Deutsch (僕の獨逸語) 等。

2) etwas davon—その中のいくらかを。

- Sprechen Sie gefälligst langsam. どうぞ緩りお話し下さい
sam.
- Sie sprechen zu schnell. あなたは餘り早く御話しになります
ます
- Ich verstehe Sie nicht, wenn Sie nicht langsam sprechen. あなたが緩りお話しくださらないと私には分かりませぬ
い
- Übersetzen Sie das ins Deutsche! あなた之を獨逸語にお譯下さい
い
- Es ist leichter zu übersetzen, als zu sprechen. 翻譯するのは話すよりは易くあります
あります
- Ich werde aus dem Deutschen ins Japanische übersetzen. 私は獨逸語から日本語に翻譯致します
ませう

20. 旅行用句

1. 停車場にて

- Wo ist der Billet-Schalter, bitte? もし、出札口は何處ですか
bitte?
- Ein Billet (eine Fahrkarte) zweiter Klasse nach München. ミュンヘン(行)二等一枚
München.
- Wieviel? Acht Mark? 幾等? ハマルク?
Mark?
- Ein einfaches Billet. eine Rück-fahrkarte. 片道切符、往復切符
Rück-fahrkarte.
- Zwei Retour-Billete¹⁾ dritter Klasse nach Köln. キョルン三等往復二枚
Köln.
- Kann ich ein Rundreise-Billet haben? 廻遊切符一枚貰へますか
Billet haben?

- Wie lange ist ein Retour-Billet gültig? 往復切符はいつまで有効ですか
Billet gültig?
- Kann ich den Bahnhofsvorsteher sehen od. sprechen? 驛長にお目に掛れますか
steher sehen od. sprechen?
- Ich habe meine Tasche im Zug gelassen.²⁾ 僕鞆を汽車の中へ置いて来たのです
Zug gelassen.²⁾ です
- Wo ist das Bureau für verlorene Sachen od. das Fundbureau.³⁾ 遺失品渡所は何處ですか
Bureau für verlorene Sachen od. das Fundbureau.³⁾
- Dieses ist nicht mein Koffer. Meiner⁴⁾ ist kleiner. これは僕の行李ではありません、僕のはもつこ小さいです
Meiner⁴⁾ ist kleiner. 僕のはもつこ小さいです
- Das ist alles, was ich habe. Rufen Sie, bitte, eine Droschke. 僕の持物はこれで全部です、何卒車を呼んで下さい
Rufen Sie, bitte, eine Droschke.

2. 汽車

- Welches ist der Zug nach Berlin? 伯林行の汽車は何れですか
Berlin?
- Ist dies der Zug nach Leipzig? これはライプチヒ行の列車ですか
Leipzig? か
- Ist dies ein Schnellzug? これは急行ですか
Schnellzug? これは急行ですか

20. 旅行用句

- 1) **Retour-Billet**—Retour は r'tuhr と發音する、佛語、Rück-fahrkarte に同じ。
- 2) **habe gelassen**—置き忘れた。
- 3) **das Bureau für verlorene Sachen**—Bureau は büroh と發音する、「失はれた品物に對する(の)事務所」Fundbureau は「發見、(拾ひ)物事務所」といふ直譯になるが、いづれも(遺失物保管所)と譯す。
- 4) **meiner**—名詞的物主代名詞、mein Koffer.

- Ist der Zug nach.....schon行の汽車はもう出ましたか
abgefahren?
Wann kommt der nächste Zug an? 次の汽車はいつ着きますか
Hat der Zug keine Verspätung? この汽車は遅れてはるませんか
Ist dieser Platz besetzt? この席はふさがつてありますか
Ist noch Platz da? まだ席がありますか
Ist noch Platz für zwei da? まだ二人分の席がありますか
Hält dieser Zug in.....? この汽車は.....に停車しますか
Wie lange? 何れ程?
Wie lange halten wir hier? 茲は何分停車ですか
Werden wir Zeit haben etwas zu genießen?⁵⁾ 何か食べる暇がありませうか
Wann fährt der nächste Zug ab? 次の汽車はいつ出ますか
Wann kommen wir in.....an? いつ.....に着きますか

ハ、車

- Sie, Kutscher, sind Sie frei? 君、車屋さん、君はあいてゐるのかい
Fahren Sie mich nach einem anständigen Hotel. 何處かしっかりした旅館へ着けてくれたまへ
Eilen Sie sich! Ich gebe Ihnen ein gutes Trinkgeld. 急いでくれたまへ、チップを憤發するから
Fahren Sie bitte schnell. 何うか速くやつてくれたまへ
Fahren Sie langsam. ゆつくり(そろそろ)やつてくれ給へ

5) genießen—「享樂する」だが普通「飲食する」意味に用ゐる。

- Halten Sie, bitte. 何うか止めてくれ給へ
Halten Sie, ich will aussteigen. 止めておくれ、降りるから
Ist das Central Hotel weit von hier? 中央ホテルは此處から遠いかね
Sind die Straßen gut? 道はいいの?
Ja, aber es ist sehr hügelig. はい、然し随分坂になつてゐます
Kutscher, wieviel rechnen Sie für die Stunde? 車屋、一時間いくりに計算するんだい
Wieviel habe ich zu bezahlen? いくら拂つたらいいのかわかぬか?

ニ、旅館

- Ich wünsche ein Schlafzimmer zu mäßigem Preis. 値段のあまり張らない寢室が一つ欲しいだかね
In welchem Stock ist das Zimmer? Gibt es einen Aufzug? その室は何階にあるんだい? エレベーターがあるの?
Wie lange gedenken Sie hier zu bleiben? どれ位此處に御滞在になるお積りですか
Ich bleibe nur einen Tag hier. 僕はほんの一日しか滞在しません
Ich beabsichtige, wenigstens eine Woche hier zu bleiben. 僕は少なくとも一週間此處に逗留してゐる積りです
Schicken Sie, bitte, mein Gepäck herauf. 何うか僕の行李を此處へ上げてくれたまへ
Ich wünsche meine Rechnung, bitte. 僕の勘定を頼むぜ
Hier ist ein Irrtum; ich habe dies nicht gehabt. 此處に間違が一つあるね、僕はこれは買はなかつたぜ

Wollen Sie mir eine Droschke auf Punkt halb elf bestellen.
 車を一臺 正十時半に 注文してく
 れたまへ

Ich wohne in diesem Hotel. Nummer 25.
 僕はこの旅館に滞在してあるん
 だ、二十五番に

Um wieviel Uhr ist bei Ihnen die Table d'hôte?⁶⁾
 君の所では定食は何時だい?

ホ、税 關

Wollen Sie, bitte, mein Gepäck untersuchen?
 何卒私の荷物を調べてくれませ
 んか

Wo ist Ihr Gepäck?
 貴君の荷物は何處にあるのです

Dieses sind meine Sachen. Hier sind die Schlüssel.
 これが私の品です、こゝに鍵があ
 ります

Haben Sie etwas zu verzollen?
 貴君は何か 課税品をお持ちです
 か

Ich weiß nicht; wollen Sie selbst nachsehen.
 知りません、御自身お調べ下さい

Ich habe nichts zu verzollen, soviel ich weiß.
 僕は課税品は何一つ持つてあ
 せん、僕の知る限りでは

Diese Sachen sind für meinen eigenen Gebrauch.
 この品物は皆自分用のものです

Muß ich dies aufmachen? Wieviel muß ich bezahlen?
 これを開ければいけないんです
 か、いくら拂ふのです

Dies sind photographische Trockenplatten. Sie dürfen nicht dem Licht ausgesetzt werden.
 これは寫眞の乾板です、これは日
 に當てる事は出来ません

6) Table d'hôte—tab'ldo'ht さ發音する、定食

21. 道の聞き方、答へ方

Ist dies der Weg nach Omori?
 之が大森へ行く道でせうか?

Nein, Sie sind auf dem falschen Wege.¹⁾
 否、この道は違ひます

Können Sie mir sagen, ob diese StraÙe nach Shinjuku führt?²⁾
 恐れ入りますが此の通りが新宿
 へ行く道でせうか?

Entschuldigen Sie, können Sie mir vielleicht den nächsten Weg zum Stadtbahnhof sagen?
 失禮ですが、驛へ行く近道を教へ
 て頂けますまいか

[Es] Tut mir leid; ich bin selbst fremd hier.
 お氣の毒ですが、僕自身此方は不
 案内でして

Wären Sie so freundlich und zeigten mir, wo es zum Stadtbahnhof geht?²⁾
 一寸お尋ねしますが、驛へは何う
 行きますか?

Gehen Sie geradeaus bis zur zweiten Seitenstraße und dann links.
 こゝを真直に行らして二つ目の
 横町まで行つたら左へお曲り
 なさい

21. 道の聞き方

1) auf dem falschen (rechten) Wege—直譯は「間違つた(正しい)道の上にある」さなる。

2) Wären Sie.....und zeigten—und zeigten は zu zeigen と不定法にしたものと同意「.....を示すべく左様に親切であらうか」さなる、この文章は前の Entschuldigen Sie, können Sie mir..... の文程丁寧な言ひ方ではない。

- Ist nicht hier der Weg nach Omori? 此方は大森へ行く道ではありませんか?
- Wohin führt diese Straße? この通りは何處へ行く道ですか?
- Sie sind auf dem rechten Wege. この道で正しいのです
- In welcher Richtung muß ich gehen? 私はどちらの方角へ行かればならぬのでせうか?
- Gehen Sie gerade aus! 眞直にいらつしやい
- Wie weit mag es sein von hier? 此處からどの位ありませう?
- Ungefähr eine Meile. 凡そ一哩ばかり
- Wie lange geht man³⁾ von hier bis zum Reichstag? 此處から國會議事堂までどれ程かゝりませうか?
- Entschuldigen Sie gütigst, bin ich auf dem richtigen Wege zum Rathause? 恐れ入りますが市役所へ行くにはこの道でよろしいのでせうか?

22. 郵便電話用句

- Wo ist der nächste Briefkasten? 一番手近の郵便箱は何處ですか?
- Entschuldigen Sie, wo finde ich ein Postamt? 失禮ですが、郵便局は何處に御座いますか?
- Können Sie mir den Weg nach dem Hauptpostamt zeigen? 中央郵便局へ行く道を教へて頂きたいのですが

3) geht man—これは一般的に聞く形、muß ich gehen 又は brauche ich zu gehen の意。

- Bitte, geben Sie mir fünf Zehnpfennigbriefmarken, 6 Postkarten und 8 Weltpostkarten. — Wieviel macht dies zusammen? 何卒、十ペニヒ切手を五枚に、葉書六枚、それから萬國聯合葉書を八枚下さい、一皆で幾等になります
- Wieviel beträgt das Porto für diesen Brief? この手紙は郵税幾等かゝりますか
- Ich will dies einschreiben lassen.¹⁾ 僕はこれを書留にするのです
- Ich möchte diesen Brief einschreiben lassen. この手紙を書留にして頂きたいのですが
- Wie schreibt sich²⁾ der Name auf der Aufschrift? その上書の名は何んぞ書くんですか
- Es ist Hellpach, wird buchstabiert: h—e—doppel l—p—a—ch. ヘルパッハです、h—e—s
- Der eingeschriebene Brief kostet 20 Pfennige. 書留郵便は二十ペニヒかゝりますよ
- Ich möchte ein Telegramm (eine Depesche) aufgeben.³⁾ 電報を打ちたいんですが

22. 郵便電話用句

- 1) einschreiben lassen—「記帳せしめる」で「書留にする」に當る。
- 2) schreibt sich—「自身を書く」で wird geschrieben (書がる) 又は schreibt man den Namen ([その名前を] 書く) に同じ。
- 3) aufgeben—auf die Post geben で「郵便に出す、電報を打つ」に當る。

Dort auf jenem Tisch finden Sie <u>Formulare</u> . ⁴⁾	向のあの机の上に頼信紙があります
Hier ist meine <u>Depesche</u> . Sie enthält 20 Worte, Adresse und Unterschrift mit eingerechnet. ⁵⁾ Wieviel kostet das Wort?	此處に私の電報があります、皆で二十語あります、宛名も署名もひつくるめて、一語幾等になりますか
Wieviel wird dieses Telegramm kosten?	この電報は幾等かゝりますか
Ich will die Antwort vorausbezahlen.	返信料を前拂して置きたいのですが
Ist dies der Schalter für <u>Geldsendungen</u> ?	此方は送金口ですか
Ja. Wie wollen Sie das Geld versenden? Postanweisung oder Geldbrief?	そうです、お金は何ういふ風にお送りになるお積りですか、郵便爲替ですか、それとも價格表記郵便ですか
Ich brauche eine Postanweisung für.....の爲替が要るのですか
Sind Briefe für mich da?	僕の(に對する)手紙が来てゐますか
Schicken Sie meine Briefe oder Telegramme nach dieser Adresse.	僕の手紙や電報はこの宛名へ廻して下さい

4) Formular—「書式」の意だが、ここは「頼信紙」をいふ。

5) mit eingerechnet—mit は「本文と共に」、einrechnen は「中に算入する」で「一緒に加算して、ひつくるめて」と譯す。

Behalten Sie meine Briefe und Telegramme, bis ich Ihnen weitere Instruktionen ⁶⁾ sende.	僕の手紙や電報は何分のお知らせをするまでしまつて置いて下さい
Hier Amt! ⁷⁾	何番? (此方は局です)
Bitte, Nummer 41, Westend.	ウエストエンド四十一番
Bitte, Ein und zwanzig—sieben und dreißig (2137)! ⁸⁾	二千百三十七番
[Bedauere] <u>Besetzt</u> . ⁹⁾	お話中
Hier F. Müller. Sind Sie Herr Leopold?	此方はエフ・ミュツラァです、貴君はレオボルトさんですか
Hier Leopold; wer dort?	(此方は)レオボルトです、何方?
Ich bekomme keine Antwort; bitte nochmals rufen!	出ませんよ(返事かない)、今一度呼んで下さい

23. 劇場用句

Gibt es in dieser Stadt ein Theater?	この町に劇場がありますか
Um wieviel Uhr fängt es an?	何時に始まりますか
Welches Stück ¹⁾ wird <u>aufgeführt</u> ?	何ういふ劇が上演されてゐるのです

6) weitere Instruktion—「より遠きこの上の指圖」で「何分の知らせを」と譯す。「に當る。」

7) Hier Amt—これは電話を掛けるに交換手がいふ言葉「何番?」

8) 2137—電話ではこれを zweitausend ein hundert sieben und dreißig とは讀まない、簡明にするために ein und zwanzig—sieben und dreißig と二桁づつに讀む。「に當る。」

9) besetzt—es ist besetzt, (占領使用されてゐる)で「話中」

- Was wird gegeben?²⁾ 何かあるのです(上演されて)
- Kann ich die Billete im Vorauskaufen? 切符は前以て買ふ事が出来ませ
か
- Geben Sie mir, bitte, ein Programm. 何卒プログラムを一枚下さい
- Welche Plätze wollen wir nehmen? 何の場所にしようか
- Ich möchte Plätze im Parterre vorschlagen, die sind billig und gut. 僕は平土間を提唱したいね、あそ
こは安くてそれに場所がい
かられ
- Es gibt nur noch³⁾ Stehplätze. Wieviel habe ich zu bezahlen? 今ほもう立見席しかありません
いくらですか
- Wollen Sie, bitte, den Hut abnehmen? 失禮ですがお帽子をお取り下さ
いませんか
- Wollen Sie mir erlauben vorbeizugehen? 恐れ入りますが一寸お通し下さ
いませんか
- Was gibt man⁴⁾ jetzt im Opernhaus? オペラ館は今何をやつてゐるん
だい
- Die Oper ist heute abend geschlossen. オペラは今晚は休みさ
- Ist heute Abend im Park Konzert? 今夕公園に音樂會があるの

23. 劇場用句

- 1) Stück—「一片」であるがこゝは、Theaterstück(劇)で戯曲を意味す。
- 2) was wird gegeben—was は welches Stück の意。gegeben は aufgeführt に同じ。
- 3) nur noch—今は僅に……のみ、餘す所……のみ。
- 4) gibt man—wird gegeben.

第二編

日常會話

1. Jahreszeiten.

四季

- A.—In welcher Jahreszeit leben wir jetzt? 甲、—今は何の時節かれ?
- B. Im Sommer. 乙、—夏です
- A.—Das ist nicht richtig. Weißt Du nicht, wie die Jahreszeit heißt, in der die Veilchen und die Maiblumen blühen? 甲、—違ひます。お前は葦やユナ
ルユリの花が咲く時節を何
んさいふか知らないの?
- B.—Heißt sie nicht der Sommer? 乙、—夏さいふんぢやないんですか?
- A.—Nein, man nennt sie den Frühling oder den Lenz.²⁾ Wie viel gibt es denn eigentlich Jahreszeiten?³⁾ 甲、—いえ、春さいふんです。それはさうさ元來季節はいく
つありますか?
- B.—Vier. 乙、—四つあります

1. 四季

- 1) in der die Veilchen—der は Jahreszeit の關係代名詞、「その季節に於て」なり。
- 2) der Lenz—der Frühling に同じ、但し詩語(雅語)として用ゐらる。
- 3) Wie viel gibt es.....Jahreszeiten—正式には Wieviel Jahreszeiten gibt es..... さいふ。

- A.—Sie heißen?⁴⁾ 甲、一何です?(何さいひます?)
 B.—Frühling, Sommer, Herbst und Winter. 乙、一春、夏、秋、冬
 A.—In welchem Monate leben wir jetzt? 甲、一今は何月ですか?
 B.—Das weiß ich nicht. 乙、一そりや知りませぬ
 A.—Weißt Du nicht Deinen Geburtstag? 甲、一お前は自分の誕生日を知らないの?
 B.—Mein Geburtstag ist den siebzehnten Mai?⁵⁾ 乙、一僕の誕生日は五月十七日です
 A.—Nun siehe! Vor acht Tagen haben wir Deinen Geburtstag gefeiert; also leben wir jetzt im Mai. Kannst Du mir die Monatsnamen nach der Reihe?⁶⁾ nennen? 甲、一それ御覽! 一週間前にお前の誕生日を祝つたぢやありませんか。さうすれば今は五月です。お前は月の名を順々に言へますか?
 B.—O ja. Januar, Februar, März, April, Mai, Juli—— 乙、一言へますさも。一月、二月、三月、四月、五月、七月——
 A.—Das war falsch! Erst kommt der Juni, dann der Juli. Nun weiter! 甲、一違ひます。始めに六月が来てそれから七月です。さアその後は何?(それがら?)
 B.—Juni, Juli, August, September, Oktober, November, Dezember. 乙、一六月、七月、八月、九月、十月、十一月、十二月

4) Sie heißen?—これは疑問ではない、答の冠句を言つて後をつけるやうに促す形、即ち Sie heißen: Frühling, 次々の答がづく。

5) den 17. Mai—四格、副詞的用法、am 17. Maiに同じ。

6) nach der Reihe—順序に。

- A.—Wie viel haben wir also Monate im Jahre?⁷⁾ 甲、一それでは一年に何ヶ月ありますか!
 B.—Zwölf. 乙、一十二あります

2. Das Mittagessen. 晝 飯

- A.—Es hat zwölf geschlagen. Ich bin sehr hungrig. Friedrich, decke doch den Tisch!¹⁾ Du mußt ein Couvert²⁾ mehr auflegen. Wir haben zu Mittag einen Gast. Hier fehlt ein Messer. Essen wir heute Suppe?
 B.—Nein, Kaltschale, da es so heiß ist. 乙、一十二時打つたぞ。吾輩甚だ空腹ぢや。おいフリードリヒ、お膳の用意をしてくれ。一人分丈餘計要るんだよ。晝來客があるんだから。此處にナイフが一本足らんぜ。今日はスープが出るんかい?
 A.—Das freut mich; ich liebe überhaupt die Suppe nicht. Nimm doch die Suppenteller weg! Das Rindfleisch scheint mir sehr hart zu sein. Es ist vielleicht alt. 甲、一そりや結構; 吾輩は元來スープが嫌いなんだ。おいこのスープ皿を下げてくれ。この肉は馬鹿に硬いやうだな。こりや大方古いんだらう?
 B.—Nein, Kaltschale, da es so heiß ist. 乙、一いええ、あまりお暑いものですから冷汁を

* * * * *

7) Wie viel haben wir also Monate—これも正しくは Wieviel Monate.....

2. 晝 飯

1) den Tisch decken—膳立をする、單にテーブルに布を掛けるさいふにあらず。我國ならば、「お膳を出す」に當る。

A.—Wie finden Sie das Gemüse? 甲、—君にゃこの野菜は何うです?

C.—Ich finde es ganz vor-trefflich. Ah, da gibt es Kapaun!³⁾ Das ist ein Lieblingsspeise von mir. 丙、—誠に結構です。おや、園雞がありますな。こりや僕の大好物だ

A.—Essen Sie lieber den Flügel oder den Schenkel? 甲、—君はヒレの方がお好きですかそれとも腿がいゝですか?

C.—Das ist mir gleich. 丙、—どちらでも結構です

A.—Nun so werde ich Ihnen diesen Schenkel vorlegen. Er scheint mir sehr gut zu sein. 甲、—ちやこの腿の所を提供しませう、吾輩大層これがいゝやうに思ふから

C.—Sie sind sehr gütig. Ich danke herzlich. 丙、—いやどうも有難う、大層な御馳走ですな

A.—Ist Ihnen nicht noch ein Stück gefällig? 甲、—今一ツいけませんか?

C.—Ich danke sehr; ich bin ganz gesättigt. Ich wünsche Ihnen gesegnete Mahlzeit. 丙、—いえ、もう結構です、僕はもう充分満腹致しました。どうも御馳走様

A.—Gleichfalls!⁴⁾ 甲、—いや失禮なものばかりで

2) Couvert—外來語、獨逸語の Gedeck に當る、一人前の膳部一式をいふ、即ち Teller (皿)、Löffel (匙)、Gabel (肉叉)、Messer (小刀)、及び Serviette (ナフキン) をいふ。

3) Kapaun—味の美を増す爲めに脱宰せる雞仔をいふ。

4) Gleichfalls—「御同様に」は Ich wünsche Ihnen auch gesegnete Mahlzeit なり、然し日本式にいへばかゝる場合は「お粗末でした」をいふに當る。

3. Mittagsschläfchen. 午 寝

A.—Halten Sie nicht Mittagsschläfchen?¹⁾ 甲、—君は午寝はしませんか?

B.—Ich habe allerdings diese Unart. 乙、—えゝ、どうも悪い癖があつてね

A.—Nun das freut mich; ich habe dieselbe Unart. Ich halte mein Mittagsschläfchen in meinem Sorgenstuhle, und es bekommt mir sehr gut.²⁾ Wo schlafen Sie zu Mittag? 甲、—それぢや結構だ。僕も矢張りその癖でね。僕は安樂椅子の上で午寝するさ實にいゝ氣持になるんだがね。君は午寝は何處でしますか?

B.—Auf dem Sopha. 乙、—長椅子の上さね

A.—Ich werde Sie in mein Arbeitszimmer bringen; dort steht ein Sopha zu Ihren Diensten.³⁾ 甲、—ちや僕の書齋へ案内しやう。丁度御役に立つ長椅子があるから

3. 午 寝

1) Mittagsschläfchen halten—「晝寝をする」halten さいふ動詞を用ゆるに注意すべし。

2) es bekommt mir gut—jemandem gut (schlecht) bekommen は「或る人に適する(適せぬ)」にて「具合がいゝ、氣持がいゝ」の意。

3) zu Ihren Diensten stehen—「貴君の御用にまで立つ」で「貴君の御用をつさめる」となる。

4. Das kalte Fieber. おこり(瘧)

- A.—Sie gehen so langsam, lieber Freund. Was fehlt Ihnen denn?
甲、—君よ、君は馬鹿に歩きやうがはてぬが、何うかしたのかい?
- B.—Ich bin krank. Ich habe seit drei Wochen das kalte Fieber.
乙、—病氣なんだ、三週間程前から瘧(おこり)を震つてれ
- A.—Sie sind zu beklagen.¹⁾ Haben Sie denn keinen Arzt?
甲、—そりやいかんね、して醫者には掛らないのかい?
- B.—O ja. Ich habe schon so viel China genommen, daß mir alle Speisen wie China schmecken.
乙、—いや何うして、もう飲み過ぎる程もキナエンを服んだんでね、何を食てもキナエンの味がする位いだよ
- A.—Kann der Arzt das Fieber nicht bewältigen?²⁾
甲、—醫者に熱が下るせんのかい?
- B.—Bis heute noch nicht.
乙、—今日迄の所はだめだれ
- A.—Dürfen Sie denn ausgehen? Halten Sie sich doch lieber zu Hause im Zimmer?
甲、—して君は出歩きしてもいいのかい? それよりか寧ろ宅で引籠つてゐた方がいゝんぢやないか?

4. おこり

1) Sie sind zu beklagen — zu beklagen は beklagenswert に均し、「君は同情すべくある」にて「氣の毒だ、お察しするよ」に當る。

2) das Fieber bewältigen — 「熱を征服する」で「熱を下す、解熱させる」さなる。

3) fieberfreien Tagen — 熱の出ない日即ち間日をいふ。

4) einen Tag um den andern — 隔日に、一日置に。

- B.—Wenn ich nicht ausgehe, ist mir's noch viel übler. Auch wünscht es mein Arzt ausdrücklich, daß ich mich an fieberfreien Tagen³⁾ in frischer Luft bewege.
乙、—出歩きせぬと、尙一層具合がわるいんだ。それに醫者も間日には成丈新鮮な空氣を吸つて運動せよとくれぐれもいふもんだかられ
- A.—Wie oft packt Sie denn das Fieber?
甲、—して熱は 何度發作するんだい?
- B.—Einen Tag um den andern⁴⁾ schüttelt es mich ab.
乙、—一日置きにひどくやられるんだよ
- A.—Sie tun mir recht leid.⁵⁾ Ich wünsche Ihnen baldige Besserung.
甲、—そりやいかんね、君が一日も早く全快するやうに僕は祈つてゐるよ
- B.—Ich will es hoffen.
乙、—僕もさうしたいと思ふんだよ

5. Vorsprechen.

立寄り

- A.—Gott grüß' Dich, lieber Freund! Ich freue mich herzlich, Dich einmal bei mir zu sehen. Sei mir willkommen!¹⁾ Wie findest Du Dich? Man hat mir gesagt,²⁾ daß Du unwohl wärest.
甲、—いよ——君か! よう尋ねてくれたれ。吾輩實に喜ぶよ! 本當によう來たれ。此頃は何うだい? 人の話では加減が悪いさいふ事だつたが?

5) Sie tun mir recht leid — 「君は私に甚だ悲みをなす」は「お氣の毒だ、お察しする」の意。

- B.—Nur ein wenig Schnupfen³⁾ und Fieber hatte ich. Gott sei Dank! Ich bin wieder hergestellt.
- A.—Willst Du Dich nicht niederlassen?⁴⁾
- B.—Ich will Dich nicht abhalten.⁵⁾ Ich wollte Dich nur einmal sehen.
- A.—Mein Geschäft ist abgemacht. Du machst mir eine große Freude,⁶⁾ wenn Du ein Stündchen⁷⁾ bei mir verweilst.
- 乙、—なアに只ほんの少しばかり風邪を引ひて熱が出たのさ。お蔭で又丈夫になつたよ
- 甲、—まア尻を落ち着けたら何うだい
- 乙、—いや君の邪魔をしちやいかんからな。僕は唯、一度君に會いたいと思つたのさ
- 甲、—吾輩の仕事はもう済んだんだよ。まア一時間計り話して行け。久しぶりぢやねえか

6. Neujahrsgeschenk. — お年玉

- A.—Wo sind Sie denn den ganzen Abend ausgeblieben?¹⁾
- 甲、—君は一體一晩中何處をうろついてゐたんだ?

5. 立寄り

- 1) **Sei mir willkommen** — 「よくいらつしやいました、ようこそ」他人ならば **Seien Sie mir willkommen** さいふ。
- 2) **man hat mir gesagt** — **ich habe gehört** (……と聞きました) さして譯すがよい、man は不定代名詞。
- 3) **Schnupfen** — 鼻風邪をいふ。
- 4) **sich niederlassen** — **sich setzen**. 尻を卸すさいふに當る。
- 5) **abhalten** — 妨げる、邪魔する(仕事の)。
- 5) **das macht mir……** — 「それは私に大なる喜をなす」で「……ならば私は非常に嬉しい」。
- 7) **ein Stündchen** — 一時間計り、小一時間。

- B.—Ich bin bei einem Puppenladen in Ginza gewesen; dort habe ich verschiedene Puppen gekauft. Sehen Sie mal, hier ist eine Lokomotive, ein Luftballon, ein Kriegsschiff, ein Motorwagen, eine baumwollene Taube und ein Goldfisch aus Porzellan.
- A.—Welch Lumperei! Sind Sie nicht etwa²⁾ verrückt? — ich fürchte?³⁾
- B.—Ich glaube nicht.⁴⁾ Diese Puppen sind alle für Ihren Sohn—als mein Neujahrsgeschenk.⁵⁾
- A.—Ach so, **verzeihen** Sie bitte, und ich danke Ihnen **bestens** dafür.
- 乙、—銀座の玩具店にゐたんだ。色々おもちゃを買つて來た。一寸見たまへ、それ機關車がある、氣球がある、軍艦がある、自動車がある、それから綿製の鳩に瀬戸物の金魚さ來るんだ
- 甲、—何んだい、くだらないもの許り。君は少し氣でも狂つて來たんぢやないかね?
- 乙、—心配するな。この玩具は皆君の坊つちやんに差上げやうさ思つて買つて來たんだ。僕の心許りの御年玉だよ
- 甲、—いや、そいつあ失敬した。ありがたう。改めてお禮を申す

6. お年玉

- 1) **ausgeblieben** — **ausbleiben** 外出して居る、(to stay out) の過去分詞。
- 2) **etwa** — 若しか、或は、恐らく。
- 3) **ich fürchte?** — 「私は恐る」さは「……でなければいゝが」位の語氣を表す。
- 4) **ich glaube nicht** — 「氣が狂つたとは思はぬ」。
- 5) **kleines Geschenk** — 心ばかりの贈物。

B.—Bitte sehr; Sie sind immer sehr freundlich zu mir. Ich bin Ihnen sehr verbunden.

乙、—御挨拶では痛み入る。君は大變お世話になつて居るんだから。

7. Vom Baden.

水 泳

A.—Wollen wir uns nicht baden? Das Wasser ist hier sehr seicht und die Sonne scheint so warm.¹⁾

甲、—何うだ、水を浴びやうぢやないか、此處は水も非常に浅いしそれに日が射して馬鹿に暑いから。

B.—Fürchtest Du Dich vor tiefem Wasser?²⁾ Kannst Du nicht schwimmen?

乙、—君は深い所はこわいのかい? 泳げないの?

A.—O ja, ich kann auch schwimmen; aber der beste Schwimmer kann ertrinken. Kannst Du untertauchen?

甲、—いや、僕だつて泳げるさ。けれどもよく泳ぐものは溺れるさいふぢやないか。君は水潜りが出来るかい?

B.—Siehe nach, wie lange ich unter dem Wasser bleiben kann.

乙、—僕がどれ位水潜してゐられるか見てゐ給へ。

A.—Das war sehr lange! Läuft Dir das Wasser nicht in die Ohren?³⁾

甲、—馬鹿に長かつたね! 君は耳に水が這入らぬかい?

7. 水 泳

1) so warm — so は sehr の意、「中々暑い」さなる。

2) vor etwas sich fürchten — sich fürchten は vor を取る (.....の前に恐る) で「.....を恐る」さなる。

3) Wasser läuft dir in die Ohren — 水が耳に這入る; 其他 Das Wasser läuft mir in die Schuhe (水が靴に這入る) 等合せ見るべし。

B.—Es geht auch wieder heraus.

乙、—這入つたつて又出るさ。

A.—Ich tauche nicht gern, denn ich behalte dann das Wasser stundenlang in den Ohren, und das ist mir ein sehr unangenehmes Gefühl.

甲、—僕は水潜は嫌いだれ、水潜するさ水が何時間も耳に這入つてゐて氣持がわるくてしやうがないから。

B.—Wollen wir uns nicht ankleiden? Wir dürfen nicht zu lange im Bade bleiben. Hast Du einen Kamm bei Dir?

乙、—もう着物を着やうぢやないか、あまりながらく水浴てゐるやいかんよ。君は櫛を持つてゐるかい?

A.—Hier ist einer!

甲、—さア使ひ給へ!

8. Das Gewitter.

夕 立

A.—Wir müssen eilen, nach Hause zu kommen. Hörst Du es donnern? Das Gewitter scheint sehr schnell herauf zu kommen.¹⁾ Die Luft ist entsetzlich schwül. Jetzt erhebt sich der Sturm.²⁾ Es wird sogleich regnen. Es fallen schon einzelne Tropfen. Vielleicht ist es nur ein vorübergehender³⁾ Regenschauer. Er wird heftiger. Wir wollen unter diesen Baum treten.

甲、—こりや大急ぎで宅へ歸らにやいけぬ、雷が鳴るぢやないか、今にも夕立が來さうぢや。(空氣が)いやに蒸して來た。こりやどうも暴風雨ぢや。今に降り出すぜ、そら早もうほつりほつり降つて來た。然し多分通り雨だらう。段々えらくなつてくる。この木の下にでも這入らうぢやないか。

B.—Bei einem Gewitter soll man nicht unter Bäume treten. Wir gehen ruhig nach Hause, und wenn wir auch durch und durch naß⁴⁾ werden sollten.

A.—Das war ein fürchterlicher Schlag; Blitz und Donner unmittelbar hinter einander.⁵⁾ Ich glaube, es hat eingeschlagen.

B.—Ich höre ein eigentümliches Rauschen am Himmel. Ach, mein Gott, es fängt an zu schloßen. Es fallen schon einzelne Hagelkörner. Wir müssen eilen, daß wir in Sicherheit kommen.⁶⁾

8. 夕立

- 1) heraufkommen — やつてくる、おしよせてくる。
- 2) der Sturm erhebt sich — 暴風雨が起つた。
- 3) vorübergehend — vorübergehen (通り過ぎる)の現在分詞、「一時の、暫時の」で「通り雨」の「通り」に當る。
- 4) durch und durch naß werden — づぶぬれになる、すつかりぬれる。
- 5) unmittelbar hinter einander — 直接相前後して、殆ど同時に。
- 6) in Sicherheit kommen — 安全な場所に来る。

9. Erkundigung nach dem Wege.

道を尋ねる

A.—Mein Herr,¹⁾ wollen Sie nicht die Güte haben, mir den Weg nach der Börse zu zeigen?

B.—Recht gern. Sie gehen diese StraÙe hinab bis zum Markte; dann wenden Sie sich rechts nach der ersten Gasse, die auf den Markt trifft.²⁾ In dieser Gasse müssen Sie weiter gehen bis zu einer Kirche, die auf einem Freiplatze steht. An demselben Platze ist die Börse. Jedes Kind wird sie Ihnen dann zeigen.

A.—Ich danke Ihnen.

* * * * *

9. 道を尋ねる

- 1) mein Herr — これは普通召使、ボーイ、車掌、巡查等が用ゐる語、又 „Herr“ もよろしくない、注意すべし。一般には相手が稱號を有せぬ時は全然、呼掛けを用ゐないがよい、相手の姓名を知つてゐる時は „Herr Schulze“ さいふやうに姓名を加へて用ゐる。
- 2) auf den Markt trifft — 「市場の上に出會ふ」で「市場へ出る、市場に接してゐる」の意。

A.—Können Sie mir nicht sagen, wie ich auf den kürzesten Weg nach der Post komme?³⁾ 甲、—郵便局へ行く近道を教へてくれませんか!

B.—Sie tun am besten, wenn Sie auf der Promenade fortgehen bis zur Königs-säule. Die Statue fällt Ihnen sogleich in die Augen. Links davon, in einem neuen mit Schiefer gedeckten Hause⁴⁾ ist die Post. Sie erkennen sie leicht an dem kaiserlichen Wappen über dem Eingange. 乙、—この遊歩路をこのまゝに王の記念碑のある所までいらした方が最もよろしう御座います。その立像は直ぐに目に附きますからな。してその記念碑の左手に板石で屋根を葺いた新しい家がありまして郵便局はその中にあるんです。入口に皇室の紋章が附いてありますからすぐお解りになります

A.—Meinen verbindlichsten Dank! 甲、—ごうも有難う御座います

* * * * *

A.—Wie weit habe ich noch bis zum nächsten Dorfe? 甲、—次の村まで未だどれ程ありませう?

B.—Eine kleine Stunde.⁵⁾ 乙、—小一時間もかかりますな

3) Können Sie mir……—直譯は「貴君は私に言ふ事は出来ぬか、如何にして私が郵便局への一番近道へ来るべく」なる。

4) in einem neuen mit Schiefer gedeckten Hause—neuen は Haus の形容詞、「一つの新しい、スレートで葺かれた、家である「新にスレートを葺いた」ではない。

5) eine kleine Stunde—小一時間、獨逸では距離を時間で示す事が流行る。

A.—Ist der Weg gut zu finden?⁶⁾ 甲、—道は解り易いですか?

B.—Sie können gar nicht irren. Sehen Sie dort die hohe Pappel stehen? Bis dahin gehen Sie auf der Chaussee;⁷⁾ dann schlagen Sie einen Fußsteig ein, der sich links nach einem Wäldchen hinzieht. Sobald Sie an das Gehölz kommen, treffen Sie auf einen Fahrweg, der mit Obstbäumen besetzt ist. Dieser Fahrweg führt hinein in's Dorf. Sie finden auch jetzt überall Leute im Felde, die Sie zurechtweisen⁸⁾ können,⁹⁾ wenn Sie irre werden sollten.⁹⁾ 乙、—え決してお迷ひなさるやうな事は御座いませぬ。向に丈の高い白楊の立つてゐるのが見えるでせう? あそこまでこの大通り(敷石道)をゐらしてそれから左へ森へ行く歩道へお曲りになりまして森の入口までゐらつしやいます。果樹が植えてある車道へ出ますから。その車道はあの村へ通つてゐるのです。それに今時は何處へ行つても野に人が出てゐますから、もし道に迷ひなさるやうでしたらお聞きなさいまし、誰れでも教へてくれますよ

10. Bettler.

乞 食

A.—Hier kommt ein alter Bettler. Er scheint gebrechlich zu sein. Er hinkt. 甲、—年取つた乞食が一人やつて来た、片輪のやうだ。跛行引いてゐる

6) ist gut zu finden—kann gut gefunden werden (よく見出され得る)。

7) Chaussee—schohße'h と發音する、國道、敷石道。

8) zurechtweisen—正しい道を教へる。

9) wenn Sie irre werden sollten—萬一道に迷ふやうな事があれば。

B.—Ich kenne ihn. Er ist der alte und ist im Kriege verwundet. Er hat in S. mitgekämpft.¹⁾ Reicht ihm eine Gabe! — Haben Sie ihn noch nicht gesehen?

C.—Nein.

B.—Zu uns kommt er allwöchentlich.²⁾ Wir geben ihm gern etwas. Wir haben Mitleid mit ihm.³⁾

A.—Das verdient er auch.⁴⁾

C.—Sorgt der Staat nicht für ihn?

B.—Er bekommt eine kleine Pension;⁵⁾ diese ist aber zu seinem Leben nicht ausreichend.

10. 乞 食

1) **mitgekämpft** — mitkämpfen は「共に戦ふ」で「戦に参加する」意。

2) **allwöchentlich** — all は「毎に」の意を表す、即ち「一週間毎に、七日目に」の意、尙 alle 4 Jahre (四年目に) を考へ合すべし。

3) **Wir haben Mitleid mit ihm** — 「彼に同情を有す」「氣の毒に思ふ」意。

4) **Das verdient er auch** — das は Mitleid を指す、verdienen は「……される価値がある、される丈の事がある」の意にて「Mitleid を受ける丈の事がある、當然同情さるべきものだ」といふ事。

C.—Treibt er sonst kein Geschäft?

B.—O ja, er fertigt Besen, Backschüsseln, Rechen (Harken); aber er kann davon nicht leben. Der arme Mann dauert mich.⁶⁾ Es wird ihm sauer,⁷⁾ sein Leben hinzubringen.

11. Der Onkel.

伯父さん

A.—Siehe, dort kommt der Onkel! Lauf schnell, Albert! Geh' ihm entgegen!¹⁾

B.—Hast Du mir etwas mitgebracht, Onkel? Du hast etwas in der Tasche.

C.—In der Tasche habe ich ein Stück Papier. Siehe her!

5) **Pension** — 佛蘭西語 *Pang-sion* き發音す、恩給、扶助料等ないふ。

6) **Der arme Mann dauert mich** — dauert は bedauern の意、「私を悲ませる」にて「私が氣の毒に思ふ」の意さなる。

7) **es wird ihm sauer** — 「彼に酸くなる」で「彼にはつらい」。

11. 伯 父 さ ん

1) **jemandem entgegen gehen** — 人を迎へに行く。

- B.—Du lachst, Onkel. Gewiß ist etwas darin. Bitte, gieb mir das Papier. Ah, ein schönes Bild! Ein Reiter!
- C.—Willst Du so gut sein und mir ein Glas Wasser holen?²⁾
- B.—Soll³⁾ ich Dir nicht ein Glas Bier bringen?
- C.—Nein, ich danke; ich bitte um Wasser.
- B.—Aber etwas Wein und Zucker darf ich hinein tun?⁴⁾
- C.—Nein, ich bitte um reines Wasser.
- B.—Ich werde es sogleich holen — Eine Cigarre rauchst Du doch, lieber Onkel?
- C.—Die rauche ich. Du weißt, daß ich gern Cigarre rauche.
- 乙、—伯父さん、笑つてゐらっしゃるのね。屹度中に何か這入つてゐるんだ。この紙僕に頂戴! いゝでせう? あゝ、美しい繪だ! 騎兵が!
- 丙、—お前氣の毒だが水を一杯取つて来てくれないか?
- 乙、—ビールを持つて来ちやいけない?
- 丙、—いや、有難いが、水がほしいのぢや
- 乙、—でも少し許り葡萄酒と砂糖を入れてもいいゝ?
- 丙、—いや、眞水がいゝね。
- 乙、—ぢや直ぐ持つて来てよ。——でも伯父さん、葉巻は召し上るでせう?
- 丙、—飲むさも。俺は葉巻は大好きだから嗜

2) Willst du so gut sein und mir.....holen — Willst du so gut sein, mir.....zu holen さいふに均し。

3) soll ich dir.....bringen? — この sollen は相手の意志を伺ふ意を有す。

4) hinein tun — 「入れる」 さいふ意。Kaffee に砂糖、牛乳等を入れる場合には常にこの tun を用ゆ。

- B.—Hier sind Cigarren! Hier ist das Feuerzeug! Hier ist ein Aschenbecher!
- C.—Gut; Du hast Deine Sache schön gemacht.
- 乙、—此處に葉巻があつてよ。それから此處に燐寸の箱が。灰皿も此處にあります
- 丙、—よしよし、お前中々よくしてくれるね。

12. Vom Zahnweh.

齒 痛

- A.—Was haben Sie denn an der Wange? Ich sehe, daß sie dick ist.
- B.—Mir ist es seit vier Tagen sehr schlecht gegangen. Ich habe Tag und Nacht keine Ruhe gehabt.
- A.—Gewiß litten¹⁾ Sie am Zahnschmerz?
- B.—An dem heftigsten, der sich denken läßt.²⁾ Ich konnte nicht arbeiten, nicht schlafen, nicht essen; kurz,³⁾ ich war zu allem unbrauchbar.
- 甲、—君は一體頬を何うしたのだ? 膨れてゐるやうぢやないか?
- 乙、—四日ばかり前からどうも具合がわるいんだ。晝も夜も樂がないんでね
- 甲、—屹度齒がうづいたんだね?
- 乙、—生れて始めての痛さだね、仕事も出来なければ眠る事も出来ぬ、又食ふ事も出来ぬさいふ始末さ。つまり僕は何の役にも立たなかつたよ

12. 齒 痛

1) litten — leiden (憐む、病む) の過去、an を取る。

2) an dem heftigsten, der sich denken läßt — heftigsten Schmerz なり、der は Schmerz を指す、sich denken läßt は「自身を考へさせる」にて「考へ得べき範圍に於ての最も烈しき苦痛」の意。

3) kurz — 一言以ていへば。

- A.—War es bloß **Reißen** in den Zähnen,⁴⁾ oder haben Sie einen kranken Zahn?
- B.—Der Schmerz ging von einem hohlen Zahn aus.
- A.—Sie hätten ihn sollen herausziehen lassen.⁵⁾ Ich mache damit nicht viel Umstände.⁶⁾
- B.—Ich fürchte mich so sehr davor.
- A.—Dann lassen Sie Chloroform anwenden.
- B.—Das scheint mir gefährlich zu sein. Wie leicht wacht man nicht wieder auf!
- A.—Sie dürfen nicht allzu ängstlich sein.
- 甲、—そりや唯齒がうづく丈けな
のかい、それさもむし齒でもあ
るか?
乙、—いや痛んだのは一本の洞に
なつた齒なんだよ
甲、—ちやその齒を抜いてもらつ
たらいいのに。僕なぞは手つ
取り早くやつてしまふれ
乙、—僕にはそいつはどうも怖く
つて
甲、—それぢゃクロロフォルムを用
ゐてもらへばいいぢやないか
乙、—それも危険に思はれるしれ、
さう容易に覺醒しまいから!
甲、—さう馬鹿に怖がつたもんで
もないさ

13. Der Todesfall.

死 亡

- A.—Sie tragen einen **Flor**¹⁾ um Hut und Arm. Ist ein Todesfall in Ihrer Familie vorgekommen?
- 甲、—貴君は帽子にも腕にも喪紗
を纏てあらつしやるが、何かお
宅に御不幸でもおありになつた
のですか?

4) **Reißen in den Zähnen**—齒のいたみ。

5) **Sie hätten ihn.....lassen**—hätten さ可能法を用ゐたるに注意せよ、即ち事實上行はれざりし事をいふ場合に用ゐらる、「それを抜かしむべき筈なりしに、.....然し拔せなかつた」なり。

6) **Ich mache damit nicht viel Umstände**—手取り早く事を運ぶ、ぐづぐづしないの意。

- B.—**Leider**!²⁾ Meine einzige Schwester ist gestorben.
- A.—O, da beklage³⁾ ich Sie. Ich nehme den herzlichsten Anteil.⁴⁾ Wie alt ist Ihre Frau Schwester geworden?
- B.—Sie war noch nicht volle vierzig Jahre.
- A.—Was hat ihren frühen Tod herbeigeführt? Welcher Krankheit ist sie erlegen?⁵⁾
- B.—Sie war stets gesund. ich kann mich nicht erinnern, daß sie nur ein einziges Mal bettlägerig gewesen wäre. Fünf Tage vor ihrem Tode klagt sie plötzlich über Kopf-
- 乙、—はい、私の一人の姉が亡く
なりましたので
甲、—まア、そりや御愁傷な事
すな。お悔申します。御令姉
様はお幾歳であらつしやいま
した?
乙、—まだ四十になるかならんで
した
甲、—何んで又そんなにお早死な
さつたんですか? 御病氣は何
であらつしやいました?
乙、—姉はいつも達者でしてれ、
さう、あれが病氣で床に就いた
事は一度でもあつたか何うか
私は覚えません位ですがね、死
ぬ五日前に突然頭痛がするさ
申しましてそれから床に就い
たんです。早速醫者を迎へま

13. 死 亡

1) **Flor**—紗、主として喪章として用ゐらる、故に「喪章」を譯す。

2) **Leider**—「悲しい哉」にて「遺憾ながらさうなのです」といふ意に用ゐられてゐる。相手の嬉しからぬ問に對して「實はさうでないさういへるさういへけれども遺憾ながらさうださういへざるを得ぬ」といふ心持を表す語なり。

3) **beklagen**—こゝは jm. sein Beileid bezeigen で「悔をいふ」に當る、「御愁傷に存じます」を譯す。

4) **Anteil nehmen**—teilnehmen に均し、「同情する」意。

5) **erlegen**—(従ふ)の過去分詞、この動詞は三格を支配し einer Krankheit (erlegen) は病氣で死んだの意。

- schmerz. Sie muß sich zu Bett legen. Der Arzt wird sogleich zu Hülfe gerufen. Alle Bemühungen sind vergeblich. Ihre Angst und Unruhe wächst von Stunde zu Stunde. Sie fängt an, irre zu reden und kennt weder ihren Gatten noch ihre Kinder. Jetzt schreibt mir mein Schwager,⁶⁾ daß meine Schwester gefährlich erkrankt sei. Ich eile sogleich zu ihr, fand sie aber nicht mehr am Leben.
- A.—Gewiß hat ein Gehirnschlag ihrem Leben ein Ende gemacht?
- B.—Nach der Aussage des Arztes war es der Fall.⁷⁾
- A.—Das ist sehr traurig. Ich beklage Sie von Herzen. Trösten Sie sich damit, daß uns ohne Gottes Willen⁸⁾
- すやら色々心配を致して見ましたけれども そのかひもありません。姉の恐怖と不安の念が刻々つづいて来まして遂には囁語をいひ、もう良人の顔も子供の顔もわけがわからなくなつたのです。そこで義兄から私方へ姉が危篤だといふ知らせを寄しましたので私は直ぐに駆け附けて見たのですがその時はもう事切れておました
- 甲、一ちや屹度腦卒中でお亡くなりになつたんですな?
- 乙、一え、醫者の診断でも矢張さうでした
- 甲、一そりやお氣の毒ですな。貴君もどんなにお力落しでせう。然し皆定つた命數の然らしむる所ですから、まアそう思つて

6) Schwager — 姉又は妹の夫をいふ。

7) es ist der Fall — そうです、その通りです。=verhält sich so.

8) ohne Gottes Willen nichts geschehen — 「神の意志なしには何事も起らない」で萬事神のお思召による事だ、命數だ」の意。

- nichts geschehen kann. おおきらめになるんですな
- B.—Ich danke Ihnen für Ihre Teilnahme. 乙、一御親切にありがたう存じます

14. Feuer.

火 事

- A.—Ich höre Geschrei auf der Gasse. Die Menschen laufen auf und ab.¹⁾ 甲、一戶外が騒々しいやうぢや。大勢が彼方此方走つてゐるぜ
- B.—Was giebt's? Es ist Feuer! 乙、一何んだらう? 火事だ!
- A.—Wo ist es denn? 甲、一一體何處だい?
- B.—Es scheint in der Vorstadt²⁾ zu sein. 乙、一郡部のやうだ
- A.—Können Sie nicht sagen, wo es brennt? 甲、一火事は何處で御座いますか?
- C.—Man sagt, die Spinnfabrik des Herrn F. stehe in Flammen.³⁾ 丙、一福田さんの紡績工場が燃えてゐるんださうです
- A.—O, das ist sehr gefährlich. Sehen Sie, wie die Lohe emporschlägt?⁴⁾ 甲、一えッ、そいつあ危険だ。まア見た給へ、あの火焰の燃え上つてゐる事。まア恐ろしい煙柱ぢやないか。火は中々衰へぬ
- Welch eine Rauchsäule!⁵⁾

14. 火 事

1) auf und ab — 「上下に」だが、此處は hin und her (彼處此處に) の意。

2) Vorstadt — 都門の前(外)にある市區、郊外の町。

3) stehe in Flammen — 「火焰の中に立つ」で「燃えつゝある」意、stehe を可能法現在を用ゐたのは人の噂だからである。

4) emporschlagen — こゝは aufflammen (燃えあがる) の意。

5) Rauchsäule — 煙柱。

Die Glut scheint noch nicht durchgebrochen zu sein. Wenn es nur kein Unglück giebt. Mir ist sehr bange; es arbeiten so viele Menschen in der Fabrik.

B.—Das Feuer hat die umfänglichen Gebäude bis auf den Grund⁶⁾ zerstört, Herr F. dauert mich sehr; er hat einen ungeheuern Schaden.

A.—Sollte er nicht versichert haben?

B.—Er hat, so viel ich weiß,⁷⁾ in Triest versichert; das kann ihn indeß nicht gegen jeden Verlust sicher stellen.⁸⁾

A.—Das ist sehr richtig.

15. Die Schule.

學校

Kato.—Guten Morgen, Emil, wohin wollen Sie denn heute Morgen?¹⁾

6) bis auf den Grund — 「底まで」にて「悉く、残る所なく」の意。

7) so viel ich weiß... 私の知れる限りに於ては。

8) gegen etwas sicher stellen — 或人を或物から安全にする。

Emi.—In die Schule.

江見、—學校さ

K.—Aber es ist noch nicht so spät, es ist erst halb neun Uhr, wir haben also Zeit, ein wenig zu plaudern.²⁾

加藤、—然し未ださう遅くない。漸く八時半だ、未だ少し位い話しする暇があらうか?

E.—Wollen Sie mich begleiten? Wir können dann im Gehen³⁾ sprechen.

江見、—君一緒に來ないか、さうすりや歩きながら話さう

K.—Gut! Ist Herr Durand noch immer Ihr Lehrer im Französischen?

加藤、—よからう。時にドゥーランさんは今でも矢張君の佛蘭西語の先生をしてゐるのかい?

E.—Ja, er ist es noch. Kennen Sie ihn?

江見、—ウン、今でもさうだよ。君は先生を知つてるのか?

K.—Ich habe ihn einige Male gesehen, aber nicht gesprochen. Man sagt, daß er seine Stellung niederlegen will.⁴⁾

加藤、—僕はあの先生に二三度會つた事があるんだ、然し話した事はないんだ。それはさうさ、あの先生もう辭職するさといふ話ぢやないか

E.—Wer hat Ihnen das gesagt?

江見、—君はそれを誰れに聞いたんだい?

K.—Georg; er hat mich gestern Abend besucht.

加藤、—後藤さ、昨晚僕の所へやつて來たんだ

15. 學 校

- 1) Wohin wollen Sie.....? — gehen を略せり。
- 2) plaudern — 雜談する。
- 3) im Gehen — 歩きながら。
- 4) Stellung niederlegen — 辭職する。

E.—Nun, dann hat Georg Ihnen nicht die Wahrheit gesagt; Herr Durand ist auf ein weiteres Jahr angestellt.⁵⁾ Ich habe es von ihm selbst in der Schule gehört.

K.—Georg erzählt immer solche Geschichten, ich werde ihm nie mehr glauben. Sie nehmen auch Stunden im Englischen, nicht wahr?⁶⁾

E.—Ja, aber ich liebe diese Sprache nicht.

K.—Warum nicht?⁷⁾

E.—Weil die Aussprache zu schwer ist. Im Englischen hat jeder Vokal mehrere verschiedene Laute und viele Buchstaben werden gar nicht ausgesprochen.

K.—Aber wie finden Sie die englische Grammatik?

5) auf eine weitere Jahre angestellt — 尙この先一ケ年の期限で任用される。

6) nicht wahr? — 「さうではありませんかね? さうでせう?」

7) Warum nicht? — Warum lieben Sie die Sprache nicht? なり。

江見、—さうか、ちや後藤は君に虚言を言つたんだ、ドゥーランさんは今年任期が延びたんだ。僕は學校で先生自身の口から聞たよ

加藤、—後藤は始終あんなやうな話をするが僕はもう奴のいふ事は信じまい。それはさうさ君は亦英語の時間もあるんだつたれ?

江見、—さうだ。然し僕はあの言語は嫌いだれ

加藤、—そりや何ぞだい?

江見、—だつて發音が馬鹿に六ヶ敷しいかられ、英語ではどの母音にも幾つも違つた音があるしそれに又サイレントが馬鹿に多いでれ

加藤、—然し英文典は何うだい?

E.—Sie ist auferordentlich leicht, denn es giebt fast keine Regeln.

K.—Seit wie lange nehmen Sie englischen Unterricht?

E.—Seit sechs Monaten.

K.—Da sind wir an der Schule und müssen uns trennen. Wollen Sie mich heute Nachmittag besuchen?

E.—Nein, das ist mir nicht möglich, denn ich habe keine Zeit dazu.⁸⁾ Ich muß meine Aufgaben machen.

K.—Bekommen Sie Aufgaben mit nach Hause?

E.—Zuweilen, aber oft haben wir auch Stücke auswendig zu lernen. Da schlägt es neun Uhr, adieu.

K.—Auf Wiedersehen!

16. An Bord des Dampfers.

汽 船

A.—Da hält unser Dampfer schon am Landungssteg.

8) keine Zeit dazu haben — 「それに向つての時を持たぬ」にて「それをする暇がない」の意。

江見、—ありや馬鹿に易しいれ、まるで規則ツちやないんだもの

加藤、—何時頃から英語を教はつてゐるんだい?

江見、—六ヶ月前からだ

加藤、—おやもう學校へ来た、別にやならんれ、君午後に宅へ来ないか?

加藤、—君宿題が出るんかい?

江見、—いや僕はだめだれ、一寸も暇がないから。宿題をせにやならんかられ

加藤、—君宿題が出るんかい?

江見、—そりやたまだかれ、でも時々暗記させられるんだかられ。おや九時を打つてゐる、ちや失敬

加藤、—失敬

甲、—あそこに吾々の汽船はもう棧橋に附いてゐるぜ、早く行つ

Wir wollen schnell machen,¹⁾ damit wir ein gutes Kajütenbett²⁾ bekommen. — Wo ist erste Klasse?

C.—Hier rechts, mein Herr. 丙、—此の右側です

B.—Wir haben ja noch gar nicht Fahrscheine³⁾ erster Klasse; wir haben zweiter Klasse.⁴⁾ 乙、—吾々は然し未だ一等の切符を持たんぞ。二等ぢやないか

A.—Schon gut; wir gehen hinunter zum Eßzimmer erster Klasse und lösen da vom Zahlmeister eine Zuschlagkarte.⁵⁾ 甲、—なあにいとさ、これから下へ降りて一等の食堂で會計にそういつて追加切符を買へばいとよ

B.—Wir müssen wohl unser Fahrscheinheft⁶⁾ bereit halten⁷⁾ und es dem Zahlmeister vorzeigen? 乙、—それぢや切符は出して置いて會計に見せにやいかんのだらうな

A.—Jawohl; er entfernt das 甲、—無論さ、向でその B. = C.

16. 汽 船

1) **schnell machen** — 「早く爲す」 さは eilen, schnell gehen (急いで行く) の意。

2) **Kajütenbett** — 船室の寢臺。

3) **Fahrschein** — Fahrkarte に均し「切符」をいふ。

4) **wir haben zweiter Klasse** — haben Fahrschein zweiter Klasse なり。

5) **Zuschlagkarte lösen** — 追加切符を買ふ。

6) **Fahrscheinheft** — 綴本になれる切符、廻遊切符などの類。

7) **bereithalten** — 用意して置く。手近く出して置く。

Blatt B. = C. und gibt uns dafür eine Bettnummer und eine rote Karte, die wir beim Aussteigen wieder abgeben müssen. 間の切符を切り取つてその代りに寢臺の番號を上陸の時に渡す赤切符をくれるんだ

B.—Bitte zwei Betten in der selben Kajüte. 乙、—同室の寢臺二つ願ひます

A.—Was haben Sie für eine Nummer⁸⁾ erhalten? 甲、—何番になつたか?

B.—XXXI, 2 und 3. (d. h. Kajüte Nummer 31, Bett 2 und 3.) 乙、—第三十一、の二三だ(即ち第三十一室の二號及び三號ベット)

A.—Nun wollen wir zunächst mal unsere Sachen in unserer Kajüte verstauen.⁹⁾ Ich lege meine einstweilen auf mein Bett. Auch meinen Hut lasse ich hier und setze mir eine leichte Mütze auf. 甲、—さア、それでは先づ荷物を船室へ片付ける事させう。僕のは一時僕の寢臺の上へ載せて置かう。帽子も此處に置いて軽い烏打でも被らう

B.—Nun schnell aufs Deck. Hier unten ist die Luft sehr dumpfig. 乙、—さア早く甲板へ出でやう。此處は馬鹿に空氣が蒸し暑いから

A.—Die Landungsplanke ist ja bereits zurückgezogen und wir fahren ja schon. 甲、—舷門が既に引き上げられてゐるぜ、おやもう出てゐるんだ

8) **Was haben Sie für eine Nummer** — was für eine Nummer haben Sie..... なり。

9) **verstauen** — 荷物を船などに積み込むをいふ、此處は船室内へ荷物を片付けるをいふ。

B.—Hoffentlich haben wir eine gute Ueberfahrt; viel Wind haben wir ja nicht.

乙.—これぢや大方いゝ航海が出来やう。大して風もないから

17. Reisen.

旅行

A.—Wollen Sie mit mir nach Berlin kommen?

甲.—君は僕と一緒に伯林へ来ませんか?

B.—Mit größtem Vergnügen; ich habe diese Stadt noch nie besucht und habe schon lange den Wunsch, die schöne Hauptstadt Deutschlands zu sehen.

乙.—大賛成。僕は未だあの都へ行つた事がないんだ。實は遠うからあの立派な獨逸の首府が見たいと思つてゐたんだよ

A.—Schön; wir können morgen abreisen, wenn es Ihnen recht ist.

甲.—よし; ぢや明日にも出立しやうか。君の都合さへよければ

B.—Ich bin es zufrieden; wir können dort eine Woche bleiben, nach Dresden reisen und mit dem Dampfschiff die Elbe hinauf,¹⁾ durch die sächsische Schweiz;²⁾ nach Österreich fahren und Prag besuchen.

乙.—僕はそれでいゝよ。向で一週間滞在してそれからドレスデンへ旅行し、汽船でエルベ河を溯つて彼のザクセン瑞西を経て埃太利へ行き、そしてプラーク市を見物しやうぢやないか

17. 旅行

1) die Elbe hinauf—文尾の fahren を補へばよくわかる。「エルベ河を溯つて航行する」。

2) Sächsische Schweiz—ザクセンとボエメンとの境なる Elbsandsteingebirge の稱。

A.—Kann man mit dem Dampfschiff bis Prag fahren?

甲.—プラーク市まで汽船で行けるかね?

B.—Nein, aber wir fahren nur zwei Stunden mit der Eisenbahn; die Fahrt auf dem Dampfschiff dauert einen halben Tag.

乙.—いや、でも汽車に乗るのはほんの二時間だけで、汽船で行く所が半日かゝるんだ

A.—Man sagt, daß die Reise durch die sächsische Schweiz sehr schön ist.

甲.—一人の話ではサクセン瑞西の旅行は馬鹿に景色がいゝつていふぢやないか

B.—Um wieviel Uhr werden wir morgen abreisen? Haben Sie einen Fahrplan?

乙.—して明日何時に出立つかね? 君は時間表を持ってゐるかい?

A.—Ja, hier ist das Kursbuch, darin sind alle Fahrpläne enthalten.

甲.—あ此處に旅行案内があるよ、この中には何の時間表も皆書いてあるんだ

B.—Wir wollen einmal nachsehen, hier sind die Züge von Köln nach Berlin verzeichnet. Ein D-Zug³⁾ verläßt Köln um 10¹⁵⁴⁾ und ist 7¹⁴ abends in Berlin.

乙.—どれ一寸見やう。おや此處にキヨルン伯林間の汽車が載つてゐる。キヨルン發が十時十五分で、晩の七時十四分に伯林に着く急行があるね

A.—Schön, ich werde Sie also morgen früh um neun

甲.—よからう、ぢや明朝九時に君を誘ひに行かう。まア今日の

3) D-Zug—Durchgangszug の略字にてボギー車のみで端から端まで通行し得る列車、而してかゝる列車は主として急行に用ゐられる所から、急行列車の意を有す。

4) 10¹⁵—鐵道では zehn (Uhr) fünfzehn (Minuten) を讀む、普通ならば ein viertel elf, ein viertel über zehn といふ所。

Uhr abholen. Packen Sie heute noch Ihre Sachen, damit Sie morgen fertig sind.

B.—Das werde ich tun; jetzt verlasse ich Sie, da ich noch mehreres zu besorgen habe. Also auf morgen.

A.—Auf Wiedersehen!

中にも行李を纏めて置き給へ、明日造作のないやうに

乙、—さうしやう。ちやこれでわかれやう、僕は未だ色々用事があるから。では明日!

甲、—失敬!

18. Auf dem Bahnhof.

停車場

A.—Bitte, wo ist der Billetschalter nach Berlin?

B.—Für welche Klasse?

A.—Dritte.

B.—Der Billetschalter dritter Klasse ist am zweiten Fenster rechts.

A.—Ich bitte um eine Rückfahrkarte nach Berlin dritter Klasse. Wie viel macht es?

甲、—失禮ですが 伯林行の出札口は何處でせう?

乙、—何等ですか?

甲、—三等です

乙、—三等の出札口は 右手の第二番目の窓です

甲、—伯林三等往復一枚下さい。いくらですか?

* * * *

A.—Hören Sie mal, Gepäckträger, kleben Sie mir bitte einen Fahrzettel auf dieses Gepäck.

甲、—ちよいと、赤帽君、どうかこの荷物に札を貼り付けてくれ給へ

5) jemanden abholen—誘ひに行く。

C.—Wohin denn, mein Herr?

A.—Nach Berlin; doch diese Handtasche und die Reisedecke²⁾ nehme ich mit mir ins Abteil.³⁾

C.—Sehr wohl, mein Herr, das besorge ich Ihnen. Der Zug nach Berlin fährt von Bahnsteig 3 ab. Dort treffen Sie mich in einigen Minuten.

A.—Wie kommt man denn nach Bahnsteig 3?

B.—Hier links durch den Tunnel, dann rechts; an jeder Treppe steht geschrieben, zu welchem Bahnsteig sie empor führt.⁴⁾

C.—(Auf Bahnsteig 3.) Hier, mein Herr, steht Ihr Zug. Raucher oder Nichtraucher?

丙、—旦那、何處へいらつしやるんですか?

甲、—伯林だ; 然しこの手提さ毛布は一緒に汽車へ持つて遣入るんだ

丙、—へいよろしう御座います、旦那、私が持つて参ります。伯林行の列車は三番線から出ますから向で直ぐ御一緒になりますで御座います

甲、—三番線へ出るには何う行つたらいいんですか?

乙、—此處を左へトンネルを抜けてそれから右へ行くのです。階段毎に夫々プラットホームの名が書いてあります

丙、—(第三プラットホームにて) 旦那、汽車はこれで御座います、喫煙車ですかそれとも禁煙車ですか?

18. 停車場

1) Wohin denn?—wohin wollen Sie denn fahren? なり。

2) Reisedecke—毛布、膝掛。

3) ins Abteil—Coupe に同じ、車室をいふ。

4) zu welchem Bahnsteig sie emporführt—sie は Treppe の代名詞、「何のプラットホームにまで彼女が上に導びくかを」にて、「この階段を上れば何のプラットホームに出るかといふ事か」なり。

A.—Nichtraucher, Eckplatz. 甲、—禁煙車の隅席がいゝ
 C.—Hier ist ein Eckplatz, 丙、—此處に機關車の方へ面した
 mit dem Gesicht nach 隅席があります。お手提は網
 der Lokomotive zu.⁵⁾ Ich の上へ載せましてお毛布はお
 stelle Ihnen die Hand- 座の上に置きまして御座いま
 tasche ins Gepäcknetz und す、斯うして置けばお座はもう
 lege die Reisedecke auf 人に取られませんか
 den Sitz; der ist somit
belegt.⁷⁾

A.—Meinen Koffer und die 甲、—して僕の行李と帽子箱は伯
Hutschachtel haben Sie 林行の手荷物車に載せてくれ
 doch in den Gepäckwagen たんだらうね?
 für Berlin eingestellt?

C.—Ihre Sachen sind in dem 丙、—旦那のお荷物は旦那のお乗
 gleichen Wagen, in dem り遊ぶお車と同じ車の中に載
 Sie reisen.⁷⁾ Er hat ein せて御座います、この車には特
 besonderes Abteil für Ge- に手荷物室が附いて居るので
 päck. 御座います

A.—Hier dies ist für Sie 甲、—さアこれは君にやる (三ペ
 (gibt ihm 3 Pfennig). ンニヒ與へる)

C.—Danke, sehr verbunden. 丙、—どうも有難う御座います
 (Schaffner:) Einsteigen. — 車掌。皆様お乗り下さい。—
 Bitte, die Fahrkarten vor- 失禮ですが切符を拜見致しま
 zeigen! す

5) mit dem Gesicht.....zu — nach さ zu さで「機關車に向つて (顔を以て)」となる、で譯は「機關車に向つて座る座席」。

6) der ist somit belegt — der は Sitz (座席) の代名詞、「席はこれで占領してある」なり。

7) in dem Sie reisen — dem は Wagen の關係代名詞。

A.—Wird auf der Fahrt 甲、—伯林へ行くには何處かで乗
 nach Berlin irgendwo Um- り換へるんですか?
steigen?

Sch.—Kein Umsteigen, der 車掌。乗換へはありませぬ。こ
 Zug fährt direkt durch. の列車は直行です

19. Im Hotel. 旅 館

A.—Da wären wir im Hotel.¹⁾ 甲、—さア宿に着いたぞ

B.—Wir möchten zwei kleine 乙、—あまり高くない、小さくて静
 ruhige Zimmer, nicht allzu かな室が二つ借りたいんだがね
 teuer.

C.—Es sind zwei Zimmer 丙、—四階に表に面した室が二つ
 nach vorn heraus frei²⁾ im 明いて居りますが
 dritten Stock.³⁾

B.—Was ist der Preis dieser 乙、—その室は一日幾等かね?
 Zimmer für den Tag?

C.—Vier Mark täglich für 丙、—室だけが一日四馬克で御座
 das Zimmer. います

A.—Mit Bedienung?⁴⁾ 甲、—給仕附でかい?

19. 旅 館

1) da wären wir im Hotel — この wären は努力の結果や目的地に達した安心した氣持を表はす可能法「やれやれ宿に着いたぞ」。

2) nach vorn heraus frei — nach vorn heraus は「表に面したる」なり frei は「明いてゐる」なり。

3) im dritten Stock — Stock は「階」、これは我國の二階から數へる故こゝは「四階」さなる、尤も所によつては一階から數へる所もある。我國の一階に當る所を Erdgeschoß さいふ。

4) Mit Bedienung — Bedienung は床を延べたり靴を磨いたり何にくれと世話する事。

- C.—Nein, ohne Bedienung. Die Bedienung berechnen wir täglich mit einer Mark.
 B.—Das ist eigentlich mehr, als wir ausgeben wollen.
 C.—Unsere Preise sind aber sehr mäßig. Eine Treppe höher haben wir Zimmer zu drei Mark. Und wenn Sie eine Woche bleiben und alle Ihre Mahlzeiten im Hotel nehmen, berechnen wir sie noch billiger.
 A.—So lange gedenken wir gar nicht zu bleiben.
 B.—Können wir zuerst einmal ansehen?
 C.—Sicherlich. Der Portier zeigt sie Ihnen sofort. (zum Portier :) Bitte, zeigen Sie diesen Herren die Zimmer Nr. 72 und 74 und andere Zimmer, die im vierten Stock frei sind, wenn die Herren sie sehen wollen.
 A.—Wie man sieht, sind die Zimmer sauber und luftig.
- 丙、—いゝえ、給仕なしで御座います。お給仕は別に日に一馬克頂戴致します
 乙、—さうはさても出せんね。(始めからそんなに下さうとは思はぬ)
 丙、—手前共のお値段は極く勉強致して居りますのでは。一階上になりますと三馬克の室も御座いますが。もし一週間も御逗留になりましたして御食事は皆手前共で遊すやうな事になればもつとずつとお安く致しますで御座います
 甲、—そんなに長らく滞在下さうとは思はぬがね
 乙、—それぢや兎も角第一に室を見せて貰うか?
 丙、—えゝ何卒ぞ。番頭が直ぐに御案内致しますから。(番頭に)何うぞね、このお二方を七十二番室と七十四番室へ御案内申して下さい、それから若しお望みだつたら五階の明いてある室もお見せ申してね
 甲、—見た所、この室はさつぱりしてゐて、風通りもいゝやうぢ

5) Portier—Porti-e と發音する。
 6) luftig—風通りがよい。

- Beide Zimmer sind gleich groß und die Ausstattung ist in beiden die nämliche.
 Wollen wir sie nehmen?
 B.—Ich halte auch die Zimmer für völlig passend.
 A.—Nun gut, Portier, bitte, sagen Sie dem Wirt, daß wir die Zimmer nehmen. Bitte, lassen Sie unser Gepäck heraufschaffen.
 (Portier:) Die Herren werden die Güte haben, wenn sie nachher heruntersommen, ihren Namen ins Fremdenbuch einzuschreiben.
- や、それにこの室は大きから飾付け設備まで對ぢやね。これにしようか?
 乙、—僕もこの二室が最も適當してゐると思ふね
 甲、—ぢやさうしやう。番頭さん、それぢやね、この二室に決めたからつて御亭主にいつてくれ給へ。それから氣の毒だが何うか行李を此處へ上げさせてくれ給へ
 番頭。且那方は後で下へお降りになりましたら何卒宿帳にお名前をお付け下さいまし

20. Von der Wohnung.

住 宅

- A.—Sie haben Ihre Wohnung sehr schön eingerichtet.
 B.—Sind Sie noch nicht bei mir gewesen?
- 甲、—お宅は大層 御立派に出来ましたね
 乙、—君は未だ此處へは始めてでしたか?

7) nämliche—同一、次に Ausstattung を補ふ。
 8) für völlig passend halten—至極適當と思ふ。
 9) heraufschaffen—下から持ち上げる。
 10) Die Herren.....wenn sie nachher.....—Die Herren (且那方)と三人稱の語を用ゐたるより wenn sie (彼等)と三人稱の代名詞を用ゐたるなり、尤も意味は二人稱なり。Sie と混同すべからず。

- A.—Nein. 甲、—え、
- B.—Ich erlaube mir, Sie umherzuführen.²⁾ Hier ist das Speisezimmer! 乙、—じゃ失禮ですが、一通り御覧下さいまし。これが食堂です
- A.—Es ist groß und geräumig. Sie können eine zahlreiche Gesellschaft³⁾ setzen. 甲、—これはどうも大きくて廣々致して居りますね。これぢや幾人でもお客がお出来になりますね
- B.—Treten Sie ein in mein Arbeitszimmer. 乙、—何卒僕の書齋へお這入り下さい
- A.—Ach, das ist allerliebste. Wo haben Sie diesen Schreibtisch her?⁴⁾ 甲、—いや、こりや御立派ですね。このお机は何處からお手に入りましたか?
- B.—Ich habe ihn in einem Berliner Magazin⁵⁾ gekauft. Er scheint sehr solid gearbeitet zu sein. 乙、—こりや伯林の或る店で買ったんですが、出来は餘程しっかりしてあるやうです
- A.—Haben Sie ihn teuer bezahlen müssen?⁶⁾ 甲、—随分お出しになつたでせうね?
- B.—Er kostet 180 Mark. 乙、—百八十馬克かかりました

20. 住 宅

- 1) sind Sie bei mir gewesen? —「私方にありしや」で「宅へ来た事があるか」なる。
- 2) ich erlaube mir,..... —「貴君を連れ廻るべく私は私に許す」で、「勝手ながら貴君を御案内しやう」となる。
- 3) Gesellschaft — 會、會社、連中等の意味から、「お客をする」の(大勢の)客人の意に用ゐる。
- 4) wo.....her — woher..... に同じ。
- 5) Magazin — 普通倉庫を譯すが、茲は商店の意。
- 6) haben bezahlen müssen — müssen は gemußt (過去分詞)たるべきもの、前の bezahlen に同化して不定法なる。

- A.—Da haben Sie ja ein wahres Kunstwerk⁷⁾ von einer Wanduhr! 甲、—おや彼處に美事な柱時計がありますね!
- B.—Es ist ein altes englisches Werk, das schon mein seliger Vater⁸⁾ besaß. Hier ist die Kinderstube! Die Kinder werfen alles bunt durcheinander.⁹⁾ Es sieht etwas wild darin aus. 乙、—ありや亡くなつた父の時代からある古い英吉利製の時計です。それから此處が子供部屋です。子供等は色々取り散らかして置かして。斯ういふ亂暴なんですからね
- A.—Das tun Kinder nicht anders. Das Stübchen ist recht nett. 甲、—子供ッては皆斯うしたもんですよ。實に可愛い御部屋ですね
- B.—Hier sind zwei Gastzimmer! 乙、—この二間が客室なんです
- A.—Sie sind ja brillant eingerichtet. Welch ein köstliches Gemälde! 甲、—こりやどうも眼がさめるやうですね。まア立派な油繪ですね!
- B.—Es ist ein sehr altes Bild von einem niederländischen Meister. Ich habe es in einer Auktion erstanden¹⁰⁾ und restaurieren¹¹⁾ lassen. Es macht mir viel Freude. 乙、—こりや或る和蘭の畫伯の畫いた餘程古いものです。競賣に出たのを買ひ取つて表装をしなければしたんです。中々樂みになります

- 7) Kunstwerke — 美術品。
- 8) mein seliger Vater — 亡父。
- 9) bunt durcheinander werfen — 目茶苦茶に取り散らかす。
- 10) in einer Auktion erstanden — 競賣で手に入れる。
- 11) restaurieren — ausbessern, wieder herstellen, 修繕する、復舊する、茲は「表装をしなければ」位に譯す。

A.—Das ist in der Tat ein wahres Schatz. 甲、—こりや本當に寶もんですれ

21. Verwundung.

怪 我

A.—Hast Du schon gehört, was dem Uhrmacher D. widerfahren¹⁾ ist? 甲、—君はもうあの時計屋の傳吉の話聞いたかい?

B.—Nein. 乙、—いゝえ聞かない

A.—Er ist gestern Abend von dem Pferde gestürzt und hat den rechten Arm gebrochen. 甲、—あの男はれ昨晚馬から落ちて右腕を折つたのだ

B.—O da beklage ich ihn. Wie ist das zugegangen?²⁾ Er ist ja sonst ein so guter Reiter? 乙、—まアそりや氣の毒な事だね。どうしてそんな事になつたのだい? あの男はいつも馬は中々上手なんぢやないか?

A.—Er hat im Zentral Hotel zu viel Wein getrunken. 甲、—中央ホテルで酒を飲み過ぎたのさ

B.—Tut er das zuweilen? 乙、—あの男は時々そんな事をするのかい?

A.—Leider.³⁾ 甲、—さうなんだよ

21. 怪 我

1 jemandem widerfahren — widerfahren は「起る、偶然に生ずる」意、「彼の身上に何事か生じたか」なり。

2) Wie ist das zugegangen? — zugehen は geschehen, zutragen に等し、「何うしてそんな事が生じたか」なり。

3) leider — 「残念ながら」で、好ましからぬ事を肯定する時に用ゐる(即ちその反對ださひ得るならいゝけれど遺憾ながらそうだ)の意。

B.—Nun dann hat er sich selbst die Schuld zu geben. Ist der Bruch gefährlich? 乙、—ぢや、自ら怪我を求めたさいふわけだね。して傷は生命には別條ないのかい?

A.—Der Wundarzt hat ihn nicht für gefährlich erklärt; doch soll D. viel Schmerzen haben und wird mehrere Wochen auf einer Stelle liegen müssen. 甲、—外科醫の言ふ所では危険な事もないさうだ。それにしても傳吉は餘程苦痛を感じるさうだよ。それに何週間もベツタリ一所に寝にやなるまいしね

22. Besuch.

訪 問

A.—Wie freue ich mich, Sie einmal wieder zu sehen! Ich weiß gar nicht mehr die Zeit, wann ich Sie zuletzt gesehen habe.¹⁾ Wie lange ist es? 甲、—久しぶりで君に會つて、僕は實に喜ぶよ。この前君に會つたのは何時だかもうすっかり覚えぬね。どれ程になるだらう?

B.—Es mag wohl ein Jahr sein.²⁾ 乙、—かれこれ一年にもなるかれ

A.—Wie ist's denn gegangen?³⁾ Sind Sie immer gesund gewesen? 甲、—その間君はどうしたい! いつも達者だつたかれ?

4) hat sich selbst die Schuld zu geben — 自分自身にその責任(罪)を與へればならぬ、「自分自身のせいだ」の意。

22. 訪 問

1) Wann ich Sie zuletzt gesehen habe — 僕が君に最後に會つた時は何時か……

2) Es mag wohl……sein — 「……かも知れぬ」なり。

3) Wie ist's denn gegangen? — Wie gehts の過去形なり。

B.—Ich danke herzlich. Mir ist es recht wohl gegangen. Ihnen hoffentlich auch?⁴⁾ 乙、—ありがたう、僕は壯健だつたよ。して君も矢張達者であつたらうね?

A.—Das könnte ich nicht sagen.⁵⁾ Ich bin im Herbst einmal so krank gewesen, daß ich acht Tage das Bett hüten⁶⁾ mußte. 甲、—所がさうもいへんのでね、實はこの秋に一度えらい病氣をやつてね、一週間許り寝たよ。

B.—O weh! Was hat Ihnen denn gefehlt? 乙、—そりや、いかぬ、一體何處が悪るかつたんだい?

A.—Ich hatte mich durch und durch⁷⁾ erkältet und mein Arzt fürchtete gar, daß ich das Nervenfieber⁸⁾ bekommen würde. 甲、—すっかり風邪を引き込んだのさ、醫者も望扶斯になるも知れぬさいつて大層心配してゐたよ

B.—Es ist aber glücklich vorübergegangen? 乙、—でも運よく事なしにすんださいふわけだね?

A.—Gott sei Dank! Ich bin wieder ganz wohl. 甲、—お蔭でね、復たすっかり丈夫になつたよ

4) **Ihnen hoffentlich auch**—hoffentlich は「望むらくは、願はくば」の意で英語の I hope, に當る、又獨逸語でも ich hoffe さいふ。即ち Ihnen ist es hoffentlich auch wohl gegangen? なり。

5) **Das könnte ich nicht sagen**—könnte は「……さいひたいがさうといへまい……(云々があつたから)」さいふ意で可能法を用ゐたり、即ち一度病氣があつたから全然達者さはいへまいと自分ながら達者さは斷言し得ない故なり。

6) **das Bett hüten**—hüten は「番をする」意で、das Bett hüten は「病床に就く」をいふ、熟語なり、又 krank sein (病氣なり)の意にも用ゐらる。

7) **durch und durch**—すっかり、充分に。

8) **Nervenfieber**—神經熱 望扶斯。

B.—Wie befindet sich Ihre Frau Gemahlin? 乙、—所で君の奥様は何うだね?

A.—Sie wird sogleich erscheinen. Ueberzeugen Sie sich selbst!⁹⁾ 甲、—今に出て来るだらう。君自ら一つ診断してくれ給へ

B.—Ich habe die Ehre, mich Ihnen vorzustellen.¹⁰⁾ Ich habe schon von Ihrem Herrn Gemahl gehört, daß Sie sich wohl befinden. Das freut mich sehr. 乙、—これはこれは久しぶりにお目に掛ります。只今御主人から承りましたが貴女も御壯健のやうで誠にお結構です

C.—Wir haben lange Zeit nicht das Vergnügen gehabt, Sie bei uns zu sehen, Herr C. War es Ihnen denn nicht möglich,¹¹⁾ uns einmal mit Ihrem Besuche zu beehren? 丙、—まア貴郎も大層長らくいらつしやいませんでしたね、粕谷様。貴郎是迄に一度ぐらいらして下さる事がおできにならなかつたんですか?

B.—Ich hätte Ihnen gern einmal meine Aufwartung gemacht;¹²⁾ aber meine 乙、—いや實は僕も一度お伺ひ致したかつたんですが何うも商賣の都合で宅にあるよりも

9) **Ueberzeugen Sie sich selbst**—sich selbst überzeugen は「自ら見て確證する」をいふ。

10) **Ich habe die Ehre, mich Ihnen vorzustellen**—「お目通りする光榮を有す」の意。挨拶の言葉なり。

11) **War es Ihnen denn nicht möglich……**—「吾々を一度君の訪問を以て光榮すべくそれが君に一體不可能なりしや」。

12) **Ich hätte……gern……gemacht**—これは次に來る事柄がなかつたならばさいふ條件文があるを假定してそれに対する本文である故に hätte を可能法を用ゐたり。即ち「若し暇があつたならば一度訪問したかつたんだけど」なり。

Geschäfte nötigten mich, mehr auf der Reise als zu Hause zu sein. Jetzt bekomme ich mehr Muße, und wenn Sie es mir erlauben, so werde ich mir die Freiheit nehmen Sie öfter zu besuchen.

C.—Das wird uns nur angenehm sein. Haben Sie ja die Güte!¹³⁾

A.—Wollen Sie nicht Platz nehmen, Herr C? Ach, setzen Sie sich doch hierher auf das Sopha. Ich erlaube mir, Ihnen hier eine Cigarre anzubieten. Ich weiß nicht, ob Sie lieber leichte oder schwere Cigarren rauchen. Diese lichtbraune hier ist leicht.

B.—Wenn Sie mir erlauben, so wähle ich diese.

A.—Ganz wie es Ihnen gefällig ist.¹⁴⁾

B.—Aber, Madame S., es ist sehr unartig, ohne Ihre

13) **Haben Sie die Güte**—次に uns zu besuchen を略せるものを見るを得。

14) **ganz wie es Ihnen gefällig ist**—「御随意に」なり。

旅に出てる方が多かつたものですから。而しこれからは暇になりますからお差支なくば折々お邪魔に出ますで御座います

丙、—さうして頂けば私方は大喜びですわ。何卒さうなさいまして

甲、—まア君掛けないか、粕谷君、ウンさうだ、君こゝへ来てこの長椅子に掛け給へ。君この葉巻一本何うだね、所で君は葉巻は軽い方がいゝのか、それとも重い方を好んでゐるのかね。この薄茶色の方が軽いんだ

乙、—よろしければ、僕は此方にしやう

甲、—勝手にやつてくれ給へ

丙、—然し奥様、何うもお許しも乞はずに御面前で煙草を吹かさ

Erlaubniß und in Ihrer Gegenwart rauchen zu wollen.

C.—Ach, Herr C., genieren Sie sich ja nicht.¹⁵⁾ Mein Mann raucht den ganzen Tag. Ich rieche den Cigarrenrauch sehr gern.

うさいふのはあまり失禮です
ね
丙、—あら、粕谷嬢、何卒御氣樂になして下さいまし、宿は一日中煙草を飲んでゐるんですから、妾は煙草の煙を臭ぐのが大好きなんで御座いますよ

23. Ihr Bräutigam.

彼女の花髻

A.—Kennen Sie Fräulein R.?

阿部、—君は禮子さんを知つて居るか?

B.—O, sehr gut. Ich habe sie oft in der Familie des Herrn S. gesehen.

馬場、—ウン、よく知つてゐるよ。僕は佐野君の宅で幾度もあの女に會つたよ

A.—Man sagt, sie werde sich verheiraten.

阿部、—あれが結婚するつていふ話だ

B.—Was Sie sagen!¹⁾ Mit wem denn?²⁾

馬場、—何に、けしからぬ事をいふね、一體その相手は誰だい?

A.—Mit einem jungen Kaufmann aus Bremen.

阿部、—ブレーメンの出身で青年實業家なんだ

B.—Kennen Sie ihn?

馬場、—君はその男を知つてゐるのかい?

15) **genieren Sie sich nicht**—「儀式張り下さるな、お氣樂になさい」なり。

23. 彼女の花髻

1) **Was Sie sagen!**—Sie erstaunen mich (君は僕を驚かす)にて「意外の事をいふね、それは意外ぢや、うそだらう?」等の意。

2) **Mit wem denn?**—Mit wem wird sie sich denn verheiraten? なり。

A.—Nein, aber mein Freund T. kennt ihn sehr genau. Er ist mit ihm auf der Handelsschule in Lübeck gewesen. Er ist der Sohn eines reichen, sehr geachteten Beamten in Hannover, ein junger, sehr liebenswürdiger Mann.

阿部、—知らないんだ。然し僕の友人の武田があの男をよく知ってるんだ。リュウベックの商業學校で一緒だったんだ。家は金満家で、ハンノーベルでも中々尊敬されてゐる官吏の息子なんだ。非常に温厚な青年なんだ。

B.—Ist er hübsch?

馬場、—美男子かい?

A.—Das wohl nicht; aber er ist sehr gewandt.³⁾ Er ist zwar klein von Person,⁴⁾ aber er weiß so angenehm zu unterhalten,⁵⁾ daß sich junge Damen sehr bald für ihn interessieren.

阿部、—さうもいくまいが、然し中々如才がないんだ。なりは小さい方だが、非常に人扱いが甘いで、若い女などはすぐころころになるさいふ男なんだ。

B.—Hat der Bräutigam vom Fräulein R. sein eigenes Geschäft?

馬場、—それで 禮子嬢の新郎君は何か自分で商賣をやつてゐるのかい?

A.—Ja wohl. Er hat eine bedeutende Seidenhandlung. Alle seine Bekannten halten ihn für sehr solid.

阿部、—さうさ。あの男は大きな羽二重商の店を持つてゐるんだ。あの男の知人は皆堅い男だつていつてゐるよ。

B.—Ich freue mich sehr, das

馬場、—それを聞いて 吾輩も安心

3) gewandt — やり手だ、才子だ。

4) klein von Person — 「身體(なり)が小さい、小柄だ」、Person は茲は姿、外觀。

5) weiß.....zu unterhalten — zu.....wissen (と können に等し、「話し上手で人をそらさない、話術に長けてゐる」)。

zu hören. Fräulein R. ist ein so gutes, bescheidenes, fleißiges und dabei gebildetes Mädchen, daß sie gewiß eine sehr gute Hausfrau werden und einen Mann recht glücklich machen wird.

した。禮子さんはあの通り親切で、謙遜で、勉強家で而も教育のある娘だからな。屹度立派な主婦になるだらう。良人になるものこそ全く仕合ぢや

24. Abschiedsbesuch

暇 乞 ひ

A.—Ich komme, um von Ihnen Abschied zu nehmen. Heute Abend noch reise ich ab.

阿蘇、—お暇乞ひに 参りました。今晚にも立たうさ 思ひますから

B.—So schnell? Es hieß ja,¹⁾ daß Sie erst zu Ostern von hier weggehen würden.

馬場、—まアそんなにお急ですか。なんでもオーステルン頃にならればお立ちにならぬさいふお話でしたに

A.—Die Sache hat sich etwas geändert. Mein Vorgänger²⁾ ist plötzlich erkrankt, und seine Stelle muß ausgefüllt werden.

阿蘇、—模様が少し變つたものですから。實は先任者が突然病氣になりましたしてその代りが要る事になつたものですから、思つたよりも早く呼ばれたので

24. 暇 乞 ひ

1) es hieß ja, daß..... — hieß は heißen の過去、なんでも.....さいふ噂でしたが、.....を承つてゐましたがね。es heißt は wird gesagt, man sagt に等し。

2) Vorgänger — 前任者。

Da bin ich denn früher, す
als ich erwartet hatte,
einberufen worden.

B.—Wann werden wir Sie 馬場、一さう致しますき復いつお
wieder einmal bei uns 出掛け下さいませうれ
sehen?

A.—Das wird nicht so bald 阿蘇、一さアそれは近い中には六
geschehen können. So ヶ敷しいでせう。僕のこんど
angenehm in vielen Be- の地位は何に蚊につけて氣樂
ziehungen meine neue ですけれども、それでも矢張、
Stellung ist, so werde ich いゝ加減束縛されるでせうか
doch ziemlich gebunden らな。此處まで往復するには
sein.³⁾ Zwei Tage sind zu 二日もかゝりますし又さても
einer Reise hierher und そんなに暇は取れますまいか
wieder zurück⁴⁾ erforder- ら
lich, und so lange werde
ich schwerlich abkommen⁵⁾
können.

B.—Sie vergessen uns doch 馬場、一でも私共をお忘れないで
nicht? Wenigstens dürfen 頂戴。せめて御手紙なりさ時
wir hoffen, daß Sie uns 時頂いて貴君の御起居の御業
zuweilen briefliche Mitteil- 子が伺ひ度いもんですれ。そ
ungen über Ihr Befinden りやいゝでせう?
machen werden; nicht
wahr?

3) gebunden sein — 束縛されてゐる。

4) zu einer Reise hierher und wieder zurück — こゝまで
の往復に。

5) abkommen — 免がる、休暇を取る。

A.—Darauf können Sie rech- 阿蘇、一そりやおつしやるまでも
nen.⁶⁾ Wenn ich Ihnen 御座いません。時々貴女にお
nicht von Zeit zu Zeit 手紙でも差上げなければこれ
schriebe, so würde ich un- までの御親切に對して恩知ら
dankbar für Ihre Freund- ずさいふものですから。實は
schaft sein. Der Abschied お別れするのがつらいんです。
wird mir recht schwer. では随分お達者に!
Leben Sie glücklich!

6) auf etwas rechnen — auf etwas sich verlassen さ同意、
……を信賴する、……をあてにする。

第三編 實業會話

1. Im Schreibmaterialienladen.

文房具店にて

- Herr A.* tritt in einen Laden ein. 甲君がさある店に這入る
- Der Gehilfe.*—Was wünschen Sie? 手代、いらつしやい
- Herr A.*—Ich möchte ein Tintenfaß aus Kupfer. 甲君、一銅のインキ壺が欲しいんだがね
- Der Gehilfe.*—Leider haben wir keine mehr,¹⁾ wir haben nur noch welche²⁾ aus Nickel. 手代、一生憎品切になりまして、只今の處は只だニッケル製ばかりで御座います
- Herr A.*—Es tut nichts. Geben Sie mir eins aus Nickel.³⁾ Wie hoch ist der Preis jenes großen?⁴⁾ 甲君、一ぢやそれでもいい、ニッケルのな一つ貰う、向の大きいやつは幾等だい?

1. 文房具

- 1) **keine mehr**— keine Tintenfassers aus Kupfer mehr なり。
- 2) **welche aus Nickel**— welche は Tintenfassers なり。
- 3) **eins aus Nickel**— ein Tintenfaß なり、ein は單獨に用ゐらるる時 eins なる。
- 4) **jenes großen**— 一次に Tintenfassers を略せり。

- Der Gehilfe.*—Jenes ist 4 M. wert, aber es kostet nur 3. 手代、一向のは四馬克の品ですが、然し三馬克に致して置きます
- Herr A.*—Gut! Geben Sie mir auch Briefpapier und ein Dutzend Federn. 甲君、一よし! それから書簡箋とペン先を一打くれないか?
- Der Gehilfe.*—Sonst noch etwas?⁵⁾ 手代、一外に御用は?
- Herr A.*—Nein, sonst nichts. Wie viel bin ich Ihnen schuldig? 甲君、一いや、それ丈けど、で幾何拂へばいゝんだね?
- Der Gehilfe.*—Im Ganzen 3 M. 80 Pf. 手代、一すつかりで 三馬克八十ペソニヒになります
- (*Er gibt Herrn A. das Paketchen.*) (手代は甲君に紙包を渡す)
- Herr A.*—Danke sehr! 甲君、一有難う
- Der Gehilfe.*—Bitte, bitte! 手代、一何う致しまして
- Herr A.* bezahlt an der Kasse und geht hinaus. 甲君は帳場で拂らつて外へ出る

2. Im Handschuhladen.

手袋屋にて

- Der Commis.*—Womit kann ich den Herren dienen? 番頭、一いらつしやいませ
- A.*—Ich möchte ein Paar Handschuhe haben. 阿部、一手袋が一足要るんだが
- Der Commis.*—Wünschen Sie Glace-Handschuhe?¹⁾ 番頭、一艶革物で御座いますか?

- 5) **Sonst noch etwas?**—前に wünschen Sie を略せり。

2. 手袋屋

- 1) **Glace Handschuhe**— 山羊の仔の革の手袋、光澤ある上等品。

- A.—Ja, bitte, mir farbige³⁾ zu zeigen. 阿部、—さうだ、何卒色物を見せてくれ給へ
- Der Commis.—Hier, das ist die beste Sorte. 番頭、—御覽下さいまし、これが極く上等の品で御座います
- A.—Wieviel kosten diese Handschuhe? 阿部、—この手袋は幾等かれ?
- Der Commis.—Fünf Mark fünfzig. 番頭、—五馬克半で御座います
- A.—Das ist sehr teuer. 阿部、—こりや馬鹿に高い
- Der Commis.—Ich werde Ihnen eine billigere Sorte zeigen. 番頭、—もつみ お恰好な所をお目に掛けませう
- B.—Zu welchem Preis wünschen Sie dieselben?⁴⁾ 馬場、—幾等のを 君は欲しいんだい?
- A.—Ungefähr zu vier Mark.⁵⁾ 阿部、—まあ四馬克止り位の所だれ
- Der Commis.—Bitte, hier sind sehr schöne Handschuhe zu vier Mark das Paar.⁶⁾ Wir haben noch billigere Sorten, aber sie sind nicht so gut. 番頭、—はい、此處に一組四馬克で極く美しいのが御座います。もつみ お安い所も御座いますけれども、何うもあまりおよろしく御座いませんで

2) ja, bitte — ich bitte, mir.....zeigen (私に.....を示すべく願ふ)と續くものだが、譯文では「何卒.....を見せてくれ」とするがよい。

3) farbige — 次に Handschuhe を略せり。

4) wünschen Sie dieselben? — dieselben は Handschuhe を指す。

5) ungefähr zu vier Mark — 前に ich wünsche Handschuhe を補ふ (大凡四馬克位の手袋が欲しい)。

6) das Paar — 「一組につき」。

- A.—Ich werde diese nehmen. Bitte, wickeln Sie sie ein!⁷⁾ 阿部、—これを買はう、何うか包んでくれ給へ
- Der Commis.—Schön.⁸⁾ Hier sind sie. Bitte, bezahlen Sie an der Kasse. 番頭、—よろしう御座います、ではこれを。何卒帳場でお拂下さいまし
- Der Kassierer.—Danke verbindlichst. 帳場、—何うも有難う御座います

3. Beim Barbier.¹⁾

床屋にて

- A.—Ich möchte mir die Haare schneiden lassen.²⁾ 甲、—髪を刈つてもらひたいんだがね
- B.—Bitte, warten Sie gefälligst einen Augenblick. Es ist nur ein Herr vor Ihnen. Jetzt ist die Reihe an Ihnen. Wünschen Sie die Haare kurz geschnitten zu haben?³⁾ 乙、—何卒 恐れ入りますが暫らくお待ち下さいまし、今一人お先が御座いますから、さア貴君のお番で御座います、髪を短かくお刈りになるんですか?

7) wickeln Sie sie ein — 後の sie は「彼等」にて Handschuhe を指す。

8) Schön — 「美しい」ではなく「畏りました、承知しました、へい」に當る、mit Vergnügen と思へばよろしい。

3. 床屋

1) Barbier — 下等床屋なり、普通理髪店は Haarschneider といふ、因に女髪結は Damenfriseur といふ。

2) mir die Haare schneiden lassen — mir die Haare は meine Haare, 「私の髪を切らせる」で「髪を刈つて欲しい」。

3) geschnitten zu haben — 過去不定法ではない、即ち geschnitten は形容詞的に用ゐられて「刈られて持つべく」となる。

- A.—Nein, nur etwas abgestutzt.⁴⁾ 甲、—いや、只少し許り手を入れて欲しいんだ
- B.—Bitte, nehmen Sie hier Platz. Wünschen Sie auch Kopfwaschen? 乙、—何卒、此處へお掛け下さいまし。矢張りお頭もお洗ひになりますか?
- A.—Ja, bitte. 甲、—ええ、何卒
- B.—Wünschen Sie Öl? 乙、—油をおつけ致しますでしょうか?
- A.—Nein, ich danke sehr.⁵⁾ 甲、—いやいゝです
- B.—Darf ich Ihnen auch das Kinn ausrasieren? 乙、—それから お髭も剃つてよろしいんですか?
- A.—Nein, danke; ich will mir einen Vollbart stehen lassen; aber den Backenbart können Sie etwas stutzen und den Schnurrbart ausputzen. 甲、—いや、いゝです、僕は總鬚をのばさうと思ふんだから、然し頬鬚は少々手入してそれから口髭を挾んでくれ給へ

4. Beim Uhrhändler.

時計屋にて

- A.—Meine Taschenuhr ist stehen geblieben. Wollen Sie einmal nachsehen, wo es fehlt? 客、—時計が動かなくなつたんだが、何處に故障があるか一つ見てくださいませんか
- B.—Ich werde es sogleich tun. Sie haben sie wohl sehr lange nicht reinigen lassen? 時計屋、—早速拜見致します、こりや餘程長らくお掃除なさらぬいでせう

4) abgestutzt—これも次に zu haben を補ふ、abstutzen は理髪する、髪を手入する、「手入されて持つべく」である。

5) ich danke sehr—辭退する語、「いらぬ」

- A.—Seit einem Jahre nicht. Sollte sie schon wieder der Reinigung bedürfen?¹⁾ 客、—一年計りしないんだが、はやもう掃除せにやいけんかね
- B.—Ja, und zwar sehr dringend.²⁾ Hier entdecke ich eben noch einen Fehler. 時計屋、—えゝ、どうして至急なさらにやいけませぬ、それに此處にも一つ破損した所があります
- A.—Welchen? 客、—どうなつてゐるのかね?
- B.—Eine Spindel ist verbogen. Haben Sie die Uhr gedrückt oder fallen lassen? 時計屋、—心棒が一本曲つてゐます、もしや時計を抑へついたり落したりはなさいませんでしたかね
- A.—Ich erinnere mich nicht. Wie lange werden Sie die Uhr behalten müssen? 客、—そんな覺はないね、してその時計は直しに何日かゝるかね?
- B.—Acht Tage. 時計屋、—一週間かゝります
- A.—Das ist sehr lange. 客、—そりゃ馬鹿に長いぢやないか
- B.—Ich bin nicht im Stande,³⁾ sie Ihnen früher zu geben. Wenn sie repariert ist, muß ich sie einige Zeit beobachten. 時計屋、—それより早くはさても出来ません、直してからも二三日は試して見にやなりませんから

4. 時計屋

1) der Reinigung bedürfen—掃除(二格)を要す。sollte は sollen の過去可能法、自分の考と違ふ相手の意志を疑惑的に聞く形、「もう又掃除が必要だつて?(そうかは思はなかつたか)」。

2) und zwar sehr dringend—「而も大至急に、大に差迫つて」、dringend は dringen の現在分詞。

3) im Stand sein—im stande sein とも書く、können (能ふ、出来る)と同意味。

A.—Ich kann aber nicht so lange ohne Taschenuhr sein.
客、—けれども僕はさう長く時計なしにはゐられぬ

B.—Da werde ich Ihnen indeß eine andere geben. Nehmen Sie diese hier. Sie geht sehr richtig.
時計屋、—ちやその間のお間に合せに外の時計を差上げて置ませう、何卒これをお持ち下さい、これはよくあつてゐます

A.—Also in acht Tagen⁴⁾ erhalte ich die meinige?
客、—では一週間経つと僕のを取りに来てもらへんかね?

B.—Ja, ich werde Wort halten.⁵⁾ Sie können sich darauf verlassen.⁶⁾
時計屋、—へえよろしくございませう、確に致して置きます、お受合致します

5. Im Restaurant.

料理店にて

A.—Guten Tag!
甲、—今日は
B.—Ihr Diener, mein Herr!
乙、—いらつしやいませ! 何んぞ御用で?
Womit kann ich Ihnen dienen?

A.—Ich möchte etwas essen.
甲、—食事がしたいんだ
B.—Haben Sie die Güte, in das Speisezimmer einzutreten.
乙、—何卒食堂へお這入り下さいませ

A.—Was gibt's zu essen?
甲、—何か食ふ物は有かれ?
C.—Hier ist die Speisekarte. Was befehlen Sie?
丙、—此處に 獻立表が御座いますから。おあつらへは?

4) acht Tage—八日で「一週間」の意。

5) Worten halten—約束を守る。

6) Sie können sich darauf verlassen—「君はそれを依頼し得る」で「その事は受合ひます、確です」の意。

A.—Bringen Sie mir vor allen Dingen¹⁾ Suppe.—
甲、—兎も角一番にスープを持つて来てくれ給へ

* * * * *

A.—Bringen Sie mir eine Portion²⁾ gebratenes Rindfleisch mit Kartoffeln und etwas eingemachtes³⁾ Obst. Auch möchte ich ein Glas Wein trinken. Ist Ihr Würzburger⁴⁾ gut?
甲、—ビーフステーキに ジャガイモを附けたのを一人前、それから何か 砂糖漬にした 果實を少々持つて来てくれ給へ、それに葡萄酒を一杯欲しいね、此處の ヲニオンツププルゲルは飲めるかい?

C.—Er wird allgemein gelobt.
丙、—皆様お賞め下さいますので

A.—Nun, so bitte ich um eine halbe Flasche.
甲、—それちや、何んだ僕は半瓶貰はう

C.—Sogleich!
丙、—只今直ぐに

6. Beim Möbelhändler.

家具店にて

A.—Wollen Sie die Güte haben, mir eine Salonausstattung zu zeigen.
客、—御面倒ちやが 座敷道具を一つ見せて貰へぬかね

B.—Gern. Ich habe eine große
店員、—へい何卒。手前共には色

5. 料理店

1) vor allen Dingen—「何より先に、何は扱て置き第一に」の意。

2) eine Portion—一人前、一皿の食をいふ。

3) eingemachtes—砂糖漬又は鹽漬にせるをいふ。

4) Ihr Würzburger—酒の名、地名より出づ。「この家の ヲニオンツププルゲル酒はよいか」の意。

- Auswahl;¹⁾ zu welchem Preise wünschen Sie die Möbel?
- A.—Darüber kann ich nichts sagen, bis ich Ihr Warenlager²⁾ gesehen habe.
- B.—Was denken Sie von dieser Einrichtung im Stile Ludwigs XV.?³⁾
- A.—Sie gefällt mir ganz und gar nicht.
- B.—Und diese hier von schwarzem Holz⁴⁾ mit rotem Sammet überzogen?
- A.—Sammet is so gewöhnlich, ich ziehe diese Garnitur⁵⁾ vor. Aus wieviel Stücken besteht dieselbe?⁶⁾
- B.—Aus einem Sopha, zwei Lehn- und vier anderen Stühlen.
- 客、一それや一應品物を見た上でなければいへぬね?
- 客、一そりや僕には全然氣に喰はぬね
- 店員、一それぢやこの赤天鵞絨を張つた黒の木地の方は如何ですか?
- 客、一天鵞絨はあまり平凡だね。僕には此方の組の方がいゝね。こりや幾つで一組になつてゐるのかね?
- 店員、一長椅子が一脚に安樂椅子が二脚 それに他の椅子が四脚で御座います

6. 家具店

- 1) große Auswahl — Auswahl は撰擇の意なるが斯る場合は Vorrat の意で選藏した巨多の物品を意味するなり。
- 2) Warenlager — 貨物の貯藏にて店に貯へてある物品の意。
- 3) im Stile Ludwigs XV. — Ludwigs des fünfzehnten を讀む。
- 4) Und diese hier von..... — diese は diese Einrichtung なり。Einrichtung は家具調度をいふ。
- 5) Garnitur — 家具の一組をいふ。家具セット。
- 6) besteht dieselbe — dieselbe は Garnitur を指す。

- A.—Haben Sie nicht einen Tisch, der dazu paßt?
- B.—Doch,⁷⁾ dieser hier ist ganz in demselben Stil.
- A.—Ich weiß aber nicht, wie die Sitze gepolstert sind.
- B.—Setzen Sie sich nur einmal in diesen Lehnstuhl, so werden Sie sehen, wie weich er ist.
- A.—Das ist wahr, man sitzt sehr bequem darin. Wieviel beträgt der Preis der vollständigen Garnitur, aber inkl.⁸⁾ Tisch?
- B.—Für Sie nur 2000 Mark, denn Sie wollen noch andere Möbel kaufen, nicht wahr?
- 客、一これに釣り合ふテーブルはないかね?
- 店員、一え御座いますさも、此處にありますこれがもうすつかり同じ式(型)で御座ます
- 客、一然しこの褥椅の具合は何うかしらぬ
- 店員、一まあ一寸この安樂椅子にお掛け下さいましてその柔らかさを御覽下さいまし
- 客、一成程。こりや座り心地がいゝね。でこの一組のこらすで幾等になるかね、尤もこのテーブルも中に入れて?
- 店員、一旦那の事ですからほんの二千馬克でよろしう御座います、未だ外にもお買ひ下さるので御座いませうから?

⑦ Beim Arzt.

醫院にて

- Richter.—Guten Tag. Ist der Herr Doktor zu sprechen?
- Diener.—Ja, Sie kommen gerade recht; jetzt hat er
- リヒター、一今日は、先生にお目に掛れますか
- 書生、一はい、丁度いゝ時にゐらつてしまひました、今御診察時で御座います
- 7) doch — 打消を含む問に對して反對に肯定する場合の肯定詞なり。
- 8) inkl. — inklusive の略。

- Sprechstunde. Treten Sie ein. 座います、此方へお遣入り下さい
- R.—Guten Tag, Herr Doktor. リヒター、—先生、今日は
- Arzt.—Guten Tag, Herr Richter. Bitte, setzen Sie sich. Nun, wo fehlt's denn? 醫師、—これは、これは、リヒターさんですか、何卒お掛け下さい。そこで、一體何處がお悪いのですか?
- R.—Ach! Ich fühle mich seit einigen Tagen nicht recht wohl. リヒター、—何んで御座います、この二三日以來 何うも 具合がよろしく御座いませんで
- A.—Haben Sie Fieber? Lassen Sie mich Ihren Puls fühlen.....Er schlägt ziemlich schnell.....Zeigen Sie mir Ihre Zunge.....Sie ist sehr belegt.¹⁾ Haben Sie Appetit? 醫師、—お熱がありますか? お脈を拜見ませう。.....可なり速いですな.....お舌をお見せ下さい.....大層舌苔が出來て居りますな。食慾はおありですか?
- R.—Nein, das Essen schmeckt mir nicht. リヒター、—いゝえ、食べても味(味覺)がありません
- A.—Schlafen Sie gut? 醫師、—よく眠られますか?
- R.—Nein, vorige Nacht hab' ich kein Auge zugetan.²⁾ リヒター、—いゝえ、昨夜は一睡もしませんでした
- A.—Wo tut es Ihnen weh?³⁾ 醫師、—何處が苦しいですか?
- R.—Ich habe Kopfweh. リヒター、—頭痛がします
- A.—Das ist nicht bedenklich. 醫師、—太した事はありません

7. 醫 院

- 1) ist belegt—舌苔が覆はれてゐる。
- 2) das Auge zutun—眼を閉ぢる、眠る。
- 3) es tut weh—痛む、苦しい。

- Sie haben sich nur den Magen verdorben. 唯だ胃を害して居られるのです
- R.—Was verordnen Sie mir, Herr Doktor? リヒター、—で御處方の所は、先生?
- A.—Ich will Ihnen Pillen verschreiben. Hüten Sie einige Tage das Zimmer.⁴⁾ Uebermorgen geht es schon besser. 醫師、—丸薬を差上げるやうにして置ませう。二三日引籠つてゐて下さい、明後日にはもうおよろしいでせう
- R.—Danke sehr. Adieu, Herr Doktor. リヒター、—有難う御座います、では先生、失禮いたします
- A.—Adieu, Herr Richter. 醫師、—左様なら

8. Der Schuhmacher.

靴屋にて

- A.—Bringen Sie endlich meine Schuhe? Sie haben mich sehr lange warten lassen. 甲、—まあ漸く私の靴が出來て來たの? お前さん馬鹿に長らく待たしたのね?
- B.—Es ist mir beim besten Willen¹⁾ nicht möglich gewesen, sie eher zu fertigen. Vor den Feiertagen drängt die Arbeit so, daß ich Tag und Nacht beschäftigt ge- 乙、—いや、さういふわけでも御座いませんのですが、何うもこれより早くは出來ませなんだの、何にしるお祭り前の事で仕事馬鹿に込み合ひまして晝夜仕事を致したやうな次第で、

4) das Zimmer hüten—室内に引籠る、病室を出ない。

8. 靴 屋

1) beim besten Willen—善意なるものにも拘らず。何うにも(.....出來ぬ)。

wesen bin. Wollen Sie nicht die Güte haben und die Schuhe anversuchen?

A.—Sie scheinen sehr eng zu sein. Ich kann ja nicht hinein.

B.—Ziehen Sie nur kräftig; es geht schon. Sehen Sie! Wie schön sitzt²⁾ der Schuh, wie angegossen³⁾ Was bildet er für ein nettes Füßchen!

A.—Ja, Herr D., was hilft das alles!⁴⁾ Er ist doch zu eng; ich kann ja nicht darin gehen. O wie mich das Hühnerauge drückt!⁵⁾

B.—Der erste Mal drückt jeder neue Schuh. Versuchen Sie nur, einigemal auf-und abzugehen.

2) Wie schön sitzt —sitzen は「合ふ、適當する」。

3) wie angegossen —「鑄合されたるが如く」にて「しつくりさ合ふ」をいふ。

4) Was hilft das alles? —「それ凡てが何を助けるか」にて「そんな事いくらいつてもだめだ」の意。

5) das Hühnerauge drückt mich —Hühnerauge は「肉刺(まめ)」、drückt mich (私を壓する、苦しめる) は tut mir weh の意。

はい、恐れ入りますが一寸靴をお試し下さいませんか

甲、—こりや大層窮風のやうだね、足が這入らないぢやありませんか

乙、—何うか お力を入れてお引っぱり下さい、這入りますとも、そら御覽遊せ、何うです大層よく合ふぢや御座いませんか、まるで型に入れたやうですな、そのお靴を召すま大層可愛いおみ足に見えます

甲、—まあいやだね、靴屋さん、そんな事いつたつてだめよ、矢張小さ過ぎてよ、是ぢやまるで歩けぬぢやありませんか、まア是ぢや魚の目が痛んでよ

乙、—最初の中は新しい靴はどれでも親屈なもんですよ、まア二三回お歩きなさつて御覽下さいまし

A.—Nein, ich kann die Schuhe wirklich nicht brauchen; Sie müssen sie zurücknehmen. Ich glaube, Sie haben das Maß verwechselt. Messen Sie noch einmal!

甲、—いえ、私はさてもこの靴ははけない事よ、こりや取つて返つて下さい、お前さんきつこ寸法を取り違へたのよ、もう一度寸法を取つて貰ひませう

9. Beim Tuchhändler.

呉服店にて

A.—Ich möchte Tuch kaufen.

客、—布(羅紗)を下さいな

B.—Von welcher Farbe wünschen Sie es? Soll es zu einer Taille¹⁾ oder zu einem Rocke²⁾ kommen?

店員、—何ういふお色氣がよろしう御座いませう? お上衣で御座いますかそれさもお袴に遊ばすのですか?

A.—Ich will mir einen Rock fertigen lassen.

客、—私の袴を一つ造りたいと思ふの

B.—Sie nehmen doch braunes Tuch. Braun ist jetzt sehr beliebt.³⁾

店員、—それぢや樺茶色がおよろしう御座いませうな、只今大流行で御座いますから

A.—Nun so bringen Sie mir braunes. Wie viel kostet der Meter von diesem?

客、—では樺茶色を見せて下さいな、これは尺(一メートル)幾何程ですか?

B.—Soll ich Ihnen den äußersten Preis sagen? Wenn

店員、—もうお値段一ばいの處を申し上げれば、左様ですな、お

9. 呉服店

1) Taille —Taj と發音す、婦人の胸衣。

2) Rock —男子の場合は上衣だが、婦人の場合はスカート、洋袴。

3) beliebt sein —好まれてゐる、流行してゐる。

Sie nichts abziehen wollen,⁴⁾ 懸引のない處で尺(一メートル)
so lasse ich Ihnen den 七馬克半で御座いますな
Meter für sieben und eine
halbe Mark.

A.—Das ist sehr teuer. 客、—そりやあんまり高すぎてよ

B.—Das Tuch ist aber auch 店員、—でもこの布は極く上等の
von ausgezeichneter Quali- 品で御座いますからな、この地
tät.⁵⁾ Fühlen Sie die Dicht- の込んであります事一寸觸つて
heit.⁶⁾ Es ist mit der 御覽遊せ、こりや非常に念を入
größten Sorgfalt gefertigt, れて仕上げましたもので、手前
und ich habe es von einem 共では和蘭の最も堅い信用の
der solidesten niederländi- ある家から仕入て居りますの
schen Häuser bezogen. ではない

A.—Das ist möglich; aber 客、—そりやさうかも知れないが
es ist mir zu teuer. Auch 兎に角私には高過ぎてよ、それ
wäre es mir lieber, wenn に私はこの色氣が今少し濃か
die Farbe noch etwas つたらいゝと思ふがれ
dunkler wäre.⁷⁾

B.—Ich werde Ihnen einige 店員、—ちや二つ三つ變つた所を
andere Stücke vorlegen. お覽に入れませう、これは如何
Wie gefällt Ihnen dieses? でせうな?

A.—Das ist meine Farbe! 客、—これこれ、これが私の欲しい
Für dieses gebe ich aber と思つた色なの! これだつて

4) Wenn Sie nichts abziehen wollen — 貴女が何一つ差引く事を欲しないならば、割引しろと言はないならば。

5) von ausgezeichneter Qualität — 前に Tuch を入れれば解しやすい、「上等品質の布」である。

6) Dichtigkeit — 地質の稠密なるをいふ。

7) Farbe noch etwas dunkler — 色の場合には dunkel は濃きを意味す。

doch nicht sieben und eine やはり七馬克半は出せない事
halbe Mark? よ

B.—Dieses kann ich Ihnen 店員、—この方ですと幾等がお安
etwas billiger lassen.⁸⁾ Es くなりますで御座います。さ
kostet siebzig Pfennige うですな。七十ペニヒお安
weniger. くなります

A.—Haben Sie wirklich 客、—お前さん掛値をいふんぢや
nichts vorgeschlagen?⁹⁾ ないか?

B.—Nein; Sie haben es ja 店員、—いえ、決して、そりや始
so gewünscht.¹⁰⁾ めからのお約束で御座います
から

A.—Nun, so muß ich Ihnen 客、—では、お前さんの言ふ事を信
doch glauben. Schneiden 用してこれを二メートル丈け
Sie gefälligst zwei Meter 切つて下さいな
ab.

B.—Wollen Sie nicht einen 店員、—もう四つ割分丈けお取り
Viertelmeter¹¹⁾ mehr neh- になつては如何です、その方が
men? Ich glaube, Sie tun お爲めかま存じますがな、お袴
besser. Es würde Ihnen の幅が狭ま過ぎてはおよろし
nicht lieb sein, wenn der く御座いますまいから
Rock zu eng würde.

A.—Wenn Sie meinen, so 客、—お前さんがさういふのなら
geben Sie einen Viertel- それぢやもう四半メートル丈

8) Dieses kann ich Ihnen etwas billiger lassen — lassen は überlassen (手渡す) にて商業上「差上げる」意をなす。

9) vorschlagen — 掛値をいふ。

10) Sie haben ja so gewünscht — so は nicht vorgeschlagen なり、即ち「掛値なしといふ事を貴女は欲したから、掛値は言はぬ」の意。

11) ein Viertel Meter — メートルの四分の一。

- meter mehr. Wieviel be- け下さいな、で勘定は幾等にな
trägt me'ne Rechnung? るかね
- B.—Ich bitte um fünfzehn 店員、一十五馬克三十ペンニヒ頂
Mark und dreißig Pfennige. きますで御座います

10. In der Buchhand- lung.

書肆にて

- A.—Was zahle ich Ihnen 甲、—シルレルの全集は幾等か
für Schiller's sämtliche ね?
Werke?
- B.—Der Ladenpreis ist zwölf 乙、—賣價は十二馬克で御座いま
Mark. す
- A.—Wieviel können Sie mir 甲、—幾等引けるかね?
Rabatt geben?
- B.—Zehn Prozent. 乙、—割お引き致しませう
- A.—Könnten Sie mir nicht 甲、—本綴に出来たのが一冊なか
ein Exemplar gebunden らうかね?
verschaffen?¹⁾
- B.—Gebundene Exemplare 乙、—本綴になつたのは手前共に
führen wir nicht.²⁾ Wenn は御座いませんですが、然しこ
Sie indeß wünschen, daß れを御製本遊すのなれば手前
wir Ihnen das Werk binden 方で御心配致してもよろしう

10. 書 肆

1) **Könnten Sie.....gebunden verschaffen** — könnten を可能法を用ゐたるは、大抵不可能を承知しながら尋ねる故なり。gebunden は本綴になれるをいふ; verschaffen は「供給する、才覚する」意。

2) **Exemplare führen** — führen は取り扱ふの意、即ち「本綴の本は店に置かぬ」の意。

- lassen, so wollen wir es 御座います、何ういふ表紙(綴)
gern besorgen. Welchen がよろしう御座いますか?
Einband wünschen Sie?
- A.—Halbfranz mit Titel. 甲、—春皮にして 標題を入れて欲
しいんだ
- A.—Was für ein neues Werk 甲、—何んな新刊書があるかね?
haben Sie denn hier?
- B.—Wollen Sie sich's ge- 乙、—何卒御覽下さいまし、これは
fälligst ansehen? Es ist 通俗醫學顧問で御座いますが、
medizinischer Ratgeber für グライフスワルドの解剖學の
jedermann. Ein Greifs- 教授が著されましたもので大
walder Professor der Ana- 層よく賣れますで御座います、
tomie hat es herausgege- 忽ち再版が出ますやうなわけ
ben. Das Buch geht sehr で、はい
- gut. Es hat in der kür-
zesten Zeit die zweite Auf-
lage erlebt.³⁾

11. Der Schlosser.

錠 前 屋

- A.—Wohnt kein Schlosser in 甲、—この近くに錠前屋はないか
der Nähe? ね?
- B.—Kaum hundert Schritte 乙、—ええ、もう直ぐその市場の
von hier¹⁾ an der Ecke des 角にあります
Marktes.

3) **die zweite Auflage erleben** — 第二版になる、erleben に注意すべし。

11. 錠 前 屋

1) **Kaum hundert Schritte von hier** — 「こゝから辛じて百歩」で「こゝから百歩もあるかないかの所」。

A.—Gehen Sie doch zu ihm und bitten ihn, er möchte auf einige Minuten zu mir kommen.²⁾ Ich bringe das Schloß an meiner Reisetasche nicht auf.³⁾

甲、—すまないがね、一つ錠前屋へ行つて、一寸此處まで来てくれるやうに頼んで下さいな。靴の錠がどうしても開かんので困るんだ

C.—Was steht zu Ihrem Befehl?⁴⁾

丙、—へい、何んぞ御用で?

A.—Sehen Sie doch gefälligst nach, wo es diesem Schlosse fehlt. Ich kann drehen, so viel ich will,⁵⁾ der Schlüssel schließt nicht.

甲、—氣の毒だがねこの錠が何うなつてゐるのか一つ見て下さいな、いくら廻して見ても錠が下りないんだ

C.—Die Feder ist zerbrochen und zieht den Schließhaken nicht mehr zurück.

丙、—^{バネ}鎖彈機が折れてゐますのでそれで鈎釘がもう下りないので御座います

A.—Können Sie mir das Schloß bis zum Abend herstellen?

甲、—今晚までには直らんか?

C.—O ja; aber ich würde Ihnen raten,⁶⁾ lieber ein

丙、—えゝ直りますさも、然しお爲には新らしいのをお買ひに

2) **er möchte kommen** — möchte は間接命令 (傳言) を表はす助動詞 即ち „Bitte, kommen Sie.....“ なり、auf einige Minuten は「二三分を期して」で「ほんの二三分でいゝから.....」。

3) **aufbringen** = öffnen, 開ける。

4) **Was steht zu Ihrem Befehl?** — 「何が貴君の命令まで立つか」にて「御用は何か」の意。

5) **Ich kann drehen, so viel ich will** — 「私の欲するだけ廻し能ふ」にて「幾等廻して見ても」の意。

6) **aber ich würde Ihnen raten** — würde は möchte を云はんが如し。「おすすめ申したい」なり。

neues zu kaufen.⁷⁾ Derartige Schlösser sind sämtlich Fabriksschlösser,⁸⁾ und die Reparatur kann Ihnen leicht⁹⁾ so viel kosten als ein ganz neues Schloß.

なつた方がよろしう御座いますな、かういふ質の錠前はすっかり出来合で御座いますから修繕しましてもやはり新しいのをお買ひになる程かゝりまして御座います

A.—Wenn das der Fall ist,¹⁰⁾ so wollen wir ja von der Reparatur absehen. Können Sie mir ein Schloß besorgen?

甲、—さういふわけなら直しは見合はさう、一つ新しいのを心配してくれませんか?

C.—O ja, ich habe deren

丙、—へいよろしう御座います、店に持ち合せが御座いますから

A.—Dann holen Sie eins; vorher aber öffnen Sie dieses. Ich muß etwas aus meiner Reisetasche herausnehmen.

甲、—ちや一つ持つて来て下さい、然しその前にこれを開けて下さいな、中から出したいものがあるんだから

7) **ein neues zu kaufen** — ein neues Schloß なり。

8) **Fabriksschlösser** — 出来合の錠前をいふ。

9) **Ihnen leicht soviel** — leicht は「動もするさ、.....と勝ちだ」の意。

10) **wenn das der Fall ist** — 「それが場合であるならば」で「さういふ次第なら、そんなら」なる。

11) **deren vorrätig haben** — deren は die Schlösser の二格、「錠前の持合がある」。

12. Der Tischler.

指物師

- A.—Der Tischler ist draußen. Soll er hereinkommen,¹⁾ Vater?
- B.—Ja. Ich habe Sie gebeten, zu mir zu kommen, weil Sie mir einige Möbeln reparieren sollen.²⁾ Dieses Pfeilertischchen³⁾ möchte ich poliert haben.⁴⁾ Es wäre mir lieb, wenn die Farbe etwas dunkler würde. Hier sind zwei lahme Stühle. Sie werden sie leimen müssen. Können Sie diesen runden Tisch nicht etwas kleiner machen?
- C.—O ja; ich darf nur etwas von der Platte wegnehmen. Er muß dann freilich von
- 甲、—指物師が外にゐます、上がらせるんですかお父様?
- 乙、—ウンさうだ。少々道具を修繕して貰いたいと思つて呼んだんだがね、先づこの窓机を磨きをかけて欲しいんだ、この色が今少し濃くなつたらよからうと思ふんだがね、それから此處に片輪の椅子が二脚あるんだ、これを一つ膠着^{ニカワツケ}にして貰いたいし、それからこの圓テーブルは今少し小さく出来んか?
- 丙、—え、出来ませう、只少許かり板を取り切れれば宜しいです、然しさう致しますと勿論新

12. 指物師

1) Soll er hereinkommen?—soll は相手の意志命令を表す、譯文を味ふべし。

2) weil Sie mir.....reparieren sollen—この sollen は話手の意志を表す、「君に修繕して貰ひたい(頼みたい)から」。

3) Pfeilertischchen—Konsoltischchen ともいふ、窓と窓との間にある鏡附臺をいふ。

4) poliert haben—完了形ではない、現在なり poliert は形容詞的用法、「磨かれて持つ」なり。

- neuem poliert werden. 乙、—それから宅の戸をすつかり塗りがへにやいかんのだがね、一枚幾等で出来るかね?
- B.—Meine sämtlichen Türen müssen wieder angestrichen werden.⁵⁾ Was zahle ich Ihnen für eine?⁶⁾
- C.—Sie wünschen doch,⁷⁾ daß sie mit guter Oelfarbe überzogen werden. Wollen Sie nicht Ihre Türen ahorn-, oder eichen-, oder buchenfarbig anstreichen lassen? Das ist jetzt sehr beliebt und würde Ihren Möbeln mehr entsprechen.
- B.—Ist es teurer?
- C.—Nur wenig.
- B.—Ich will dies mit meiner Frau besprechen. Vorläufig bitte ich Sie, das Pfeilertischchen, den runden Tisch und die beiden Stühle mitzunehmen und sie recht bald herzustellen. Wann werden Sie die Möbeln wiederbringen?
- 丙、—油色の上等でお塗りになるんで御座いませうな? お戸は楓色か、榎色かそれとも山毛櫨色にお塗りになつちや如何ですか、只今大層流行致して居りますので、それにお道具さのうつりも一層よろしいかと思ひますが
- 乙、—高くつくだらう?
- 丙、—え、ほんの少し許り
- 乙、—その事は一つ妻さまも話して見るから、差當り今の處はこの窓机に圓テーブルにそれから椅子二脚を持つて行つて成丈け早く修繕して下さい、何時頃持つて来て下さるかね?
- 5) Türe anstreichen—戸を塗るをいふ。
- 6) für eine—eine Tür なり。
- 7) wünschen doch—doch は「屹度」、「それはそうさ屹度お望みでせうな」。

- C.—Spätestens zum Sonn- 丙、一遅くとも土曜日までに
abend.
B.—Kann ich mich darauf 乙、一そりやあてになるかしら?
verlassen?
C.—Sicher. 丙、一ええお受合致します
B.—Nun, halten Sie Wort! 乙、一ぢや間違ひなくね

13. Beim Schneider. 洋服店にて

- M.—Mein lieber Köhler, Sie 水谷、一河野君、今君の着てゐる服
tragen da einen Anzug, der はよく合つてゐるね? そりや
Ihnen sehr gut sitzt;¹⁾ ha- 出来合を買つたのかい、それを
ben Sie ihn fertig gekauft,²⁾ 造らしたのかい?
oder haben Sie ihn sich
anmessen lassen?³⁾
K.—Ich lasse alle meine Klei- 河野、一僕は服は皆誂へるんだ出
der nach Maß machen.⁴⁾ 來合で買つたのは僕には一度
Die fertig gekauften⁵⁾ pas- も合つた事がないんだから、上
sen mir niemals; wenn der 衣の丈は丁度合つても幅が狭
Rock lang genug ist, so ist ますぎたり或は袖が短かかつ

13. 洋服店

- 1) **Ihnen sehr gut sitzt**—「貴君によく座る」で「貴君に甚だよく似合ふ」さなる。
2) **ihn fertig gekauft**—「それを完成して買つた」で「出来合で買つた」さなる。
3) **sich anmessen lassen**—「寸法を取らせる」にて「誂へる」をいふ。
4) **nach Maß machen lassen**—「寸法に従つて造らせる」で「誂へて作らせる」。
5) **die fertig gekauften**—次に Kleider を略せり、「出来合で買つたものは」。

- er entweder zu eng, oder たりするもんだからね
er ist zu kurze Aermel.
M.—Bei wem lassen Sie Ihre 水谷、一君は何處で服を造らせる
Kleider machen? んだい?
K.—Bei Herrn Krause. 河野、一倉知さ
M.—Wollen Sie mich zu ihm 水谷、一君一つ彼處まで一緒に來
begleiten? Ich will mir してくれないか? 僕も一着そん
auch einen solchen Anzug なのを誂へたいんだ
bestellen.
K.—Mit Vergnügen. 河野、一よからう

* * * * *

- K.—Guten Tag, Herr Krause. 河野、一倉知さん、今日は、お客さ
Ich bringe Ihnen einen 人を一人連れて來たぜ
Kunden.
Der Schneider.—Sie sind sehr 洋服屋、一河野さんですか、何う
freundlich, Herr Köhler. もありがたう御座います、—
Womit kann ich Ihnen いらつじやいまし!
dienen, mein Herr?
M.—Können Sie mir einen 水谷、一僕の友人の 着てゐるやう
solchen Anzug machen, wie な、あゝいふ服を一着造つてく
mein Freund da hat? れませんか?
Sch.—Ich glaube wohl,⁶⁾ ich 洋服屋、一よろしう御座います、ま
habe gerade noch genug だあの服地が丁度一着分丈残
von dem Stoffe übrig. つて居りますから、恐れ入りま
Wenn Sie die Güte haben すが お外套をお脱ぎ下さいま
wollen, Ihren Oberrock せんか、御寸法をお取り致しま
auszuziehen, so will ich すから、それはさうさおチヨツ

- 6) **ich glaube wohl**—「出来るでせう」。

- Ihnen Maß nehmen. Sie wünschen auch Weste und Hose dazu?
- M.—Jawohl, machen Sie mir einen vollständigen Anzug.
- Sch.—Wie wünschen Sie den Rock, etwas lose oder fest anschließend?⁷⁾
- M.—Oh! ich überlasse das Ihnen. Sie wissen am besten, was man jetzt trägt.⁸⁾
- Sch.—Was für Futter wünschen Sie dazu?
- M.—Füttern Sie den Anzug mit Seide, wenn Sie eine Qualität haben, die dauerhaft genug ist.
- Sch.—Gut, ganz nach Ihrem Wunsch. So, ich bin fertig; Sie können Ihren Oberrock wieder anziehen. Bis wann wünschen Sie den Anzug?
- M.—Bis morgen in acht Tagen, wenn möglich.
- キヤおズボンも矢張御入用なんで御座いませうな?
- 水谷、—無論さ、一組すつかり造つて貰いたいんだ
- 洋服屋、—お上衣は何う致しませう、少し弛味に致して置きませうか それさも一ばいに致しませうか?
- 水谷、—まアそいつあ君に一任しやう、今の流行は君が一等よく知つてゐるわけだから
- 洋服屋、—それから裏は何に致しませう?
- 水谷、—絹裏にして貰うかね、若し長く持つやうな地合があつたら
- 洋服屋、—長りました、お好の通りに致して置きます、もう済みましたから お外套を召してもよろしう御座います、さきに何時までに仕上げたらよろしう御座いませう?
- 水谷、—出来るやうなら一週間後の明日までに

7) fest anschließend—身體一ばいに造る、きつちり合せる。

8) was man jetzt trägt—「今何が着られてゐるか」にて「今何ういふのが流行してゐるか」なり。

- Sch.—Sehr wohl, bis dahin wird er fertig sein; aber ich möchte Sie bitten, übermorgen einmal im Vorübergehen vorzusprechen, um ihn anzuprobieren.
- 洋服屋、—承知致しました、それまでに致して置きますで御座います、然し明後日に一寸お通り掛けにお立寄り下さいませんでせうか 假縫を着て見て頂きたいですが

14. Auf dem Zollamt.

税 關

- A.—Haben Sie etwas zu versteuern (verzollen)?
- B.—Ich habe nichts Zollpflichtiges bei mir.
- A.—Wollen Sie die Güte haben, Ihren Koffer zu öffnen? Was haben Sie in diesem Pakete?
- B.—Medizinische Schriften.
- A.—Darf ich bitten, sie mir zu zeigen?
- B.—Hier sind sie!
- A.—Ich danke Ihnen. Sie haben hier ein Kästchen. Was ist darin?
- B.—Es sind Seemuscheln darin, die ich von Helgoland bringe. Sind sie zollfrei?
- A.—Ja wohl.
- 甲、—可か 税のかゝる品はありませぬか?
- 乙、—課税品は何もありません
- 甲、—失禮ですが 行李をお開け下さい、この包の中には何が通入つてゐるのですか?
- 乙、—醫學上の書類です
- 甲、—一寸拜見したいですが?
- 乙、—さアどうぞ! (さアこれです)
- 甲、—いやありがたう、それから此處にも小さな箱がありますね、中に何かあるのですか?
- 乙、—中に通入つてゐるのは海貝です、ヘルゴランドから取つて来たものです、税はかゝりませんですか?
- 甲、—かゝりませぬ

15. Die Bankanweisung, 小切手

- A.—Ich habe eine Anweisung auf die Deutsche Bank, die möchte ich mir auszahlen lassen.¹⁾ 甲、—私は獨逸銀行に宛てた小切手を一枚持てゐるんで、それを現金にしたいと思ふんだがね
- B.—Die Londoner Filiale²⁾ der Berliner Deutschen Bank befindet sich in der L.-Straße, gar nicht weit von der Englischen Bank. 乙、—伯林の獨逸銀行の倫敦支店はL町にあります、英吉利銀行の附近です
- A.—Darf ich Sie bitten, mir den Betrag dieser Anweisung auszuzahlen? 甲、—御面倒ですがこの小切手の金額を拂つて下さいませんか?
- C.—Was für Münzsorten darf ich Ihnen geben? 丙、—何ういふ貨幣がよろしいですか
- A.—Ich bitte zwanzig Pfund in Fünfpfundnoten, vier Pfund in Gold und ein Pfund in Silber. 甲、—二十磅は五磅紙幣で四磅は金貨でそれから一磅は銀貨で願ひます
- C.—Haben Sie die Güte,³⁾ Ihren Namen auf die 丙、—失禮ですがお名前をこの裏にお書き下さい、小切手の支拂

15. 小切手

1) die möchte.....lassen—die は Anweisung の指示代名詞、「それを私は私に支拂せしめたい」で「それを支拂つて欲しいのだ」。

2) die Londoner Filiale—倫敦支店 Londoner, Berliner 等は變化せず。

3) Haben Sie die Güte—「.....の親切を持って」命令形、「御面倒ですが.....してくれ」の意。

Rückseite zu schreiben. Die Anweisung bedarf, um ausgezahlt zu werden, der Namensunterschrift auf der Rückseite. には裏面に署名が要るんですから

16. Stellengesuch, 就職口探し

- A.—Kann ich die Ehre haben, den Herrn Baron von S. auf einige Augenblicke zu sprechen? 甲、—一寸男爵閣下に御面會致したいのですが願はれませうか?
- B.—Darf ich Sie um Ihren Namen bitten? Ich werde Sie sogleich anmelden. Der gnädige Herr ist noch bei Tische.¹⁾ In einem Viertelstündchen wird die Tafel aufgehoben sein; gedulden Sie sich bis dahin. Wollen Sie sich nicht einstweilen in dieses Zimmer verfügen?²⁾ 乙、—失禮ですが、お名前は何んにおつしやいますか、只今直ぐに申し上げますから、お殿様は未だお食事中であらつしやいます。もう十五分も経つたらお済みになるで御座いませう、それまでお待ち下さいまし、暫時の間この室へお通り下さいませんか?
- A.—Ich habe die Ehre, mich Ihnen untertänig³⁾ zu empfehlen.⁴⁾ 甲、—突然に出まして誠に恐れ入りますで御座います

16. 就職口探し

- 1) bei Tisch sein—食事中
- 2) sich in dieses Zimmer verfügen—sich verfügen は sich begeben に等し、「這入る」なり。

C.—Womit kann ich Ihnen dienen?
丙、—何んの御用ですか?

A.—Ich habe im Anzeiger⁵⁾ gelesen, daß Eure Gnaden⁶⁾ einen Oekonomieverwalter brauchen. Ich wage es,⁷⁾ Ihnen meine Dienste anzubieten und bin so frei,⁸⁾ Ihnen meine Zeugnisse zu überreichen.
甲、—私は新聞でお屋敷に農場支配人が御入用の由を拜見致しましたので卒爾ながら私をお使ひ下さるやうお願いに出ましたので御座います、甚だ恐れ入りますがこれが私の証明書で御座います

C.—Setzen Sie sich! Wo haben Sie die Landwirtschaft erlernt?
丙、—まあお掛けなさい? で君は何處で農業を學びましたね?

A.—Auf dem Rittergute⁹⁾. B. 甲、—B 莊園で御座います

C.—Getrauen Sie sich,¹⁰⁾ meine Wirtschaft zu leiten? So viel ich weiß, hat das Rittergut B. bloß eine
丙、—吾輩の農場を支配し得る自信が君にあるか? 吾輩の知る所では B 莊園では單に耕作と牧畜としかないやうぢやが

3) **untertänig** —「臣下の如くに」で「恭しく」「恐れながら」。
4) **mich zu empfehlen** —これは通常「暇を乞ふ」時の挨拶として用ゐられ「お暇致します」の意をなすものだが茲は初對面の挨拶に用ゐられてある「恐れながら自分を推擧すべき光榮を有す」で「恐れながらお初にお目通いたします」位の所。

5) **Anzeiger** — Zeitung 新聞の意。

6) **Eure Gnaden** —閣下、殿様、御前様。

7) **ich wage es** —「私はそれを敢てする」で「甚だ厚かましい事ですが、勝手ながら」の意。

8) **ich bin so frei**..... —「私は左様に自由である」で「失禮ですが、厚顔ましいですが」の意。

9) **Rittergut** — 諸侯の田地、「莊園」に當る。

10) **Getrauen Sie sich**..... —「.....するの勇氣ありや」の意、**sich getrauen** は **wagen** に均し。

Feldwirtschaft mit Viehzucht; auf meinem Gute ist aber eine Ziegelei, eine Brauerei und eine bedeutende Branntweinbrennerei. Ich erwarte von meinem Verwalter, daß er in diesen Dingen ebenso erfahren ist als im Feldbau. Und da ich ihm soviel unter die Hände geben¹¹⁾ muß, so fordere ich von ihm, daß er eine Kautions von fünfhundert Mark stellt.¹²⁾

A.—Wenn der Herr Baron so gnädig sein und meine Zeugnisse durchsehen wollten, so würden Sie über alles Auskunft erhalten.
甲、—殿様誠に恐れ入りますが何卒一應私の履歷書を御覽下さいまして使はれるものか何かお勘考下さるやう願申します

然し吾輩の農場では煉瓦製造所から、醸造所それに宏大な火酒醸造所があるので吾が農場の支配人には願はくば農業ばかりでなくこの方面にも経験のある人が欲しいと思つてゐるのぢや、それに吾輩は支配人に非常な重大任務を預けるのだから支配人からは五百馬克の保證金を要求する事にして居るのぢや

11) **unter die Hände geben** —「手に委ねる」。

12) **Caution stellen** — 擔保を提供する、保證する。

第四編 會話の實際

1. In der Kranken- stube.¹⁾

病室

- „Mutterl,²⁾ sind wir beide 『お母様、あなたと私と二人きり
allein?!³⁾』
„Wir sind unter uns,⁴⁾ mein 『お前とわたしと二人切りだよ』
Sohn.“
„Es ist sonst niemand im 『外には誰もゐますまいね、室内
Zimmer?⁵⁾』
„Niemand.“ 『誰もゐませぬ』
„Wirklich keiner?“ 『本当に誰れも?』
„Keiner.“⁶⁾ 『誰れもゐないよ』
„Mutter!“ 『おかあさま!』
„Was willst Du, mein Sohn?“ 『何んだえ、お前?』

1. 病室

これは病人とその看護してゐる母との對話の斷片である、病人の妻が秘かに病室に這入つた時に病人がそれを感じてか突然上記の如き對話を交したのである。

- 1) **Krankenstube**—Krankenzimmer ともいふ、「病室」。
- 2) **Mutterl**—Mutter に 1 の語尾の附いたのはあまへた言い方で「おかあちゃん」に當る、l は縮小詞で Mütterlein の lein と同一物である。
- 3) **beide allein**—allein は「單獨」と譯されるが一人に限るにあらず、何人でもそこにある人切りで外に人のゐない事を示すにも用ゐらる、即ち「二人切り」となる。

- „Mutter, betrügt man⁷⁾ mich 『お母様、私を騙すやうな人は此
hier nicht?“ 『處にゐますまいね?』
„Was sagst Du, mein Sohn?“ 『何んさお言ひだい、お前は?』
„Ich frage, ob man mich hier 『私は、私を誰れも騙しはしない
nicht betrügt?“ 『かき聞くのです』
„Ja, wer sollte Dich denn 『まあ誰れがお前を騙したりする
betrügen,⁸⁾ mein teures もんかね、お前』
Kind!“
* * * * *
„Mutterl!“ 『おかあさま!』
„Was soll's, mein süßes 『何んぢやいの、坊や?』
Kind?⁹⁾』
„Mutterl.....hast Du mich 『おかあさま.....おかあさまは私
lieb?“ 『が可愛い?』
„Ich habe Dich sehr lieb, 『可愛くなくつて何うしやいの、
mein teurer Sohn. お前』
„Du liebst mich sehr?“ 『おかあさまは私を可愛がつて下
さるのれ?』
„Ich habe Dich so lieb wie 『可愛いとも、私の身體と同じだ
mein Leben, Du bist mir もの、私にはお前の身體の方が
viel, viel teurer als mein この老えた役に立たぬ生命

4) **unter uns**—英語の between us, among us に當る、in unserem Kreise にて、此處は二人切りの意。

5) **Es ist sonst.....?**—この疑問文は半信半疑の中に相手の言葉を確めんとするもの。

6) **keiner**—kein の變化したもの einer (或人) の打消形、niemand と同意；niemand と問へば niemand と答へ、keiner と問へば keiner と答へたる所に注意すべし。

7) **betrügt man**—betrügst du といふ所だが、誰れがと指さずに一般的に聞く形。

- eigenes altes, unnützes よりも餘つほど大切ぢやわいの
Leben.“ の]
- „Warum liebst Du mich so sehr, Mutter!“ 『何故おかあさまは私がそんなに可愛いんですか、おかあさま?』
- „Warum, mein Sohn?!¹⁰⁾ Ja, was soll ich Dir denn darauf antworten? Weil du eben mein Sohn bist. Du bist ja doch¹¹⁾ mein Sohn!“ 『何故つて、お前? さうさのう、そりやア、ごういふていゝかのう? そりやア—矢張お前が私の生だ息子だからぢやわいの、お前はなんさいつても私の子だからのう』
- „Weil ich Dein Sohn bin!“ 『私がおかあさまの子だからさおいひですか』

2. Geburt.

出 産

- „Ein Töchterchen¹⁾ ist da!“ 『むすめだ、むすめだ!』
- „Wirklich?“²⁾ 『實際?』
- „Wahrhaftig.“ 『本當ださも』
- „Fehlt ihr nicht?“³⁾ 『何も變りはありませんか?』

8) **ja, wer sollte**—ja は「然り」にあらず、唯だ相手の言葉を受けてそれに對する答をいふ場合に發する聲である、sollte は würde の意味を表し「……するものか」の語氣。

9) **Was soll's**—was soll es sein の略、「何んでそれがあらねばならぬか」即ち「お前は何を欲するのか、御用は何んぢやいの」の意。

10) **Warum, mein Sohn?!**—これはあまりの間に驚いて鸚鵡返しにいひしもの。

11) **Du bist ja doch**—ja doch は「どこまでも、なんさいつても」。

2. 出 産

- 1) **Ein Töchterchen ist da**—「娘が生れた」の意。
- 2) **Wirklich**—實際; wahrhaftig—本當。

- „Nichts.“⁴⁾ 『ないよ』
- „Edith fühlt sich wohl?“ 『お英も機嫌がいゝですか?』
- „Ausgezeichnet.“⁵⁾ 『至極いゝよ』
- „Kann ich zu ihr hinein?“ 『這入つてあれに會つてもいゝですか?』
- „Du mußt Dich noch ein Weilchen gedulden.“⁶⁾ 『そりやあ今暫らく待たにやいかぬ』
- * * * * *
- „Edith, fühlst Du Dich wohl?“ 『お英、具合はいゝかい?』
- „Ja, mein Herz.“⁷⁾ 『はい、貴耶』

3. Ihre Nationalität?

貴女の國籍は?

- „Wie heißen Sie?“ 『名前は何さ申すか?』
- „Mary Coogan.“¹⁾ 『久我まり子と申します』
- „Ihre Nationalität?“²⁾ 『國は何處だ?』
- „Ich bin Amerikanerin.“ 『妾は亞米利加人で御座ります』
- „Sie haben lange in Frankreich gelebt?“³⁾ 『長らく佛蘭西に居るのか?』

- 3) **Fehlt ihr nichts?**—「身體に異状はないか」の意。
- 4) **Nichts**—ihr fehlt nichts の略、nothing fails her.
- 5) **ausgezeichnet**—fühlt sich ausgezeichnet wohl (至極よい) なり。
- 6) **sich gedulden**—「忍耐して待つ」の意。
- 7) **mein Herz**—心臓より心、心より戀人を意味するに至つた、mein Herz は dear heart, my dear に當る。

3. 貴女の國籍は

- 1) **Mary Coogan**—ich heiße Marie C. なり。
- 2) **Nationalität**—國籍。

- „Ja, ich kam als kleines Kind nach Frankreich.“ 『はい、妾は小兒の時に佛蘭西へ参りました』
- „Wie kam das?“⁴⁾ 『そりや如何してか?』
- „Mein Vater starb und— meine Mutter heiratete zum zweiten Male.“ 『父がなくなりまして……それから母が再婚致しましたので……』
- „Sie heiratete einen Franzosen?“⁵⁾ 『ぢや何か、おかあさんは佛蘭西人に再婚いたのか?』
- „Ja.“ 『はい』
- „Wie heißt dieser Franzose, den Ihre Mutter in zweiter Ehe⁶⁾ heiratete?“ 『それぢやあその方のお母様が再婚した佛蘭西人の姓名は何ぞ申すか?』

4. Der Nebenbuhler.

戀 敵

- „Kennst Du den Mann da?“ 『其方はそこに居る男を知つるか?』
- „Er hat vorgestern mit mir getanzt.“ 『此方は一昨日妾と舞蹈された方です』
- „Hast Du den Mann gekannt, den er erstochen hat?“¹⁾ 『してこの男に刺し殺された男も知つるか?』

3) **Sie haben lange**—普通文體の形で疑問標を附したのは多分斯うと察しながら特に念を押して訊く事を意味す、「お前はこれまで長らく佛蘭西に居つたんだね、そうだらう?」位の語氣あり。

4) **Wie kam das?**—この場合の kam は geschehen の意味で事の生じた理由を訊くなり、「どういふわけで佛蘭西へ来たのか」の意。

5) **Sie heiratete**.....?—これも念を押す形。

6) **In zweiter Ehe**—再婚。

4. 戀 敵

1) **erstochen**—erstechen (刺殺す) の過去分詞。

- „Auch er hat vorgestern mit mir getanzt.“ 『はい、あの方も矢張一昨日妾と舞蹈されました』
- „Welchen von den beiden hast Du früher gekannt?“ 『二人の中何方を前から知つたのか?』
- „Keinen. Ich habe beide vorgestern zum ersten Male gesehen.“ 『どちらも存じませぬ、二方共一昨日始めてお目に掛つたのです』
- „Wer hat Dich gehabt, als der Streit begann?“ 『二人が喧嘩を始めた時に、其方は何方について居つたか?』
- „Keiner. Aber sie haben mich beide haben wollen²⁾ zur gleichen Zeit; da hab ich ihm die Hand gegeben.“ 『何方へもついて居りませぬ、然しお二方が同時に妾の手を取らうとされましたから妾はあの方につきました』
- „Wem?“ 『あの方は誰れだ?』

5. Mordversuch.

刃 傷

- „Wer ist denn der Verwundete?“¹⁾ 『まあ被害者は誰れです?』
- „Du kennst ihn nicht. Heinde heißt er. Er ist unlängst²⁾ hergekommen.“ 『そりやお前の知らない男だ、半藏さかいつて、つい近頃此處へ来た許りだから』

2) **Aber sie haben**.....**haben wollen**—最初の haben は助動詞、後の haben は「持つ」といふ意味の動詞、wollen は gewollt の意を表はす不定法、即ち gewollt haben (.....せんさ欲した) といふ、Perfekt の形をなしてあるものに haben といふ動詞が結び附いたために gewollt が不定法の wollen となりしなり。

5. 刃 傷

1) **der Verwundete**—verwunden (傷ける) の過去分詞 verwundet の形容詞形 der verwundete Mann の Mann が略され形容詞が名詞の代表をするもので「負傷者」の意。

- „Ist er schwer verletzt?“ 『傷は重くつて?』
 „Schwer—ja,²⁾ aber nicht 『重い?……まあさうだね、然し生
 lebensgefährlich.“⁵⁾ 命には別條なからう』
 „Weiß man,⁶⁾ wer ihn so 『して、その加害者は知れていま
 zurichtete?“⁷⁾ すの?』
 „Es waren ihrer drei.⁸⁾ Na- 『ウン、そりやお三人だがね、な
 türlich ist es wieder in der 矢張り酒の上の事さ』
 Trunkenheit geschehen.
 „Wer sind denn die drei 『その三人てはッ? もう憲兵が連
 Schuldigen?⁹⁾ Hat der 来ていつたのですか』
 Gendarm¹⁰⁾ sie mitgenom-
 men?“
 „Ja, sie sind bereits ver- 『ウン、皆縛られたがね、あの禮
 haftet. Der Leef ist wieder 助の野郎が仲間入してゐるん
 dabei.“¹¹⁾ だ』
 „Dieser widerwärtige Men- 『まあ呆れた人!』
 sch!“

2) **unlängst**—「久しからず」即ち「近頃」の意。

3) **hergekommen**—他より此處へ渡り來りしの意あり。

4) **schwer**—**ja**……—**schwer** は相手の言葉をそのまま受けて
 いつたので **ja** は氣の乗らぬ肯定を示すもの、即ち「重傷?……
 まあ重傷さいへば重傷だが」の意。

5) **lebensgefährlich**—生命危篤(覺束なし)。

6) **Weiß man** …?—**wissen Sie?** さ單刀直入に聞かずして一
 般に知れて居るかさ穩に訊れる言葉。

7) **so zurichten**—そんな目に合せる。

8) **ihrer drei**—**ihrer** は **sie** (彼等) の二格、**zwei**, **drei** 等の
 數字と結合する時は「彼等の中の幾人」の意味になる即ち「彼等の
 三人」「加害者は三人」なり。

9) **Schuldige**—犯人。

10) **Gendarm**—**shangdarm** さ發音す、佛蘭西語。

11) **dabei sein**—**mitmachen**, 人の事に關係する、助力する意。

6. Geburtstags- geschenk.

誕生日の贈物

- „Ich weiß wirklich nicht, 『妾、宿の誕生日にどんな贈物を
 was ich meinem Manne したらいいかと思つて本當に
 zum Geburtstage schenken 困つてゐるのよ』
 soll.“
 „Vielleicht Krawatten?“ 『そりやネクタイなぞではいけな
 くつて?』
 „Er hat so viele davon,¹⁾ daß 『でもネクタイはあまる程あつて
 er damit Handel treiben 一商賣も出来る位だから』
 könnte.
 „Wie wäre es mit Zigarren?“ 『ぢや葉巻になさつたら?』
 „Sie schmecken ihm ja doch 『葉巻もだめよ、宿はちつともそ
 nicht,²⁾ und er schenkt sie れをすかないの、皆んな執事な
 dem Hausmeister. どにやつてしまうのだから』
 „Hosenträger?“ 『ではズボン釣り?』
 „Er trägt einen Gurt.—Jetzt 『それもいけないわ、宿は帶革し
 hab ich's;³⁾ ich kaufe ihm⁴⁾ か締めないんだから……あゝ

6. 誕生日の贈物

1) **Er hat viele davon……damit……**—**davon** も **damit** も
Krawatten を指す; **Handel treiben** は「商賣する」事; **mit
 etwas Handel treiben** は **to deal in s. t.** に當る。

2) **Sie schmecken ihm nicht**—**sie** は **Cigarren** を指す、「彼
 等が彼に味はぬ」即ち「葉巻は彼の口にあはぬ、彼は葉巻を好かぬ」
 の意。

3) **Jetzt habe ich's**—「今私がそれを持つ」即ち「あゝわか
 た、今氣がついた」の意。

4) **Ich kaufe ihm**—「彼に……を買ふ」即ち「彼に……を買
 つてやる」の意; 凡て人に物を買つてやるさいふ場合には **ich kaufe
 ihm etwas** 又は **ich kaufe etwas für ihn** の形を取る。

einen neuen Läufer für den Korridor und neue Gardinen für das Schlafzimmer.“
さうさう妾あの人に廊下へ敷く絨氈と寢室用の窓掛けを
買つて上げる事よ」

7. Zwei Schwestern.

姉と妹

Luise, Clara.

律子と吳葉

Clara.—Hör' Luise,¹⁾ ich muß dir etwas erzählen.
吳葉、—あのね、お姉様、私貴女に話す事があつてよ

Luise.—Nun?²⁾ 律子、—何にね? さあお話しよ

Clara.—O..... ich kann's auch lassen.³⁾ 吳葉、—あの..... もう言はなくつてもいい事よ

Luise.—Nachdem du mich neugierig gemacht hast?⁴⁾ 律子、—あら厭だ、人におもはせぶりなんかさせてからに..... さあお話しつてばよい狗兒さん
Erzähl nur,⁵⁾ mein Lämmchen,⁶⁾ wie Julius⁷⁾ dich nennt. さう良人がいつてゐるわれ、貴女を!

Clara.—Ich wollte dir nur erzählen, daß ich Cousin Adolf kenne.
吳葉、—私お姉様に話さうと思つてゐたのはね、唯だ、私が従兄弟の荒雄さんを知つてゐるさ
いふ事だけよ

7. 姉と妹

- 1) Hör'—Höre の略、「聞けよ」にて「あのね」に當る。
- 2) Nun?—さアと促す語。
- 3) ich kann's auch lassen—「それを言はずに置いてもいい」の意。
- 4) Nachdem.....—「汝が私を聞たがらせるやうにした後でやめるのか?」なり。
- 5) Erzähl' nur—nur は強め語、「まあ.....よ」
- 6) Lämmchen—羊仔、こゝは Clara をさう呼びしなり。
- 7) Julius—Luise の良人の名。

Luise.—Wirklich? Woher?⁸⁾ 律子、—本當? 何うして?
Clara.—Ja, eigentlich kenn' ich ihn nicht. Das heißt,⁹⁾ ich kenne ihn, aber er kennt mich nicht. Du weißt,¹⁰⁾ ich war im vorigen Jahre kurze Zeit bei meiner Freundin Waleska zu Besuch.¹¹⁾ Eines Tags war dort große Herren- und Damengesellschaft, und darunter¹²⁾ befand sich auch Adolf. Er hielt sich damals auf einem Gute in der Nähe auf.¹³⁾ 吳葉、—ええ、でもね、私あの方をお知合さいふわけではないの、それさいふのはね、私はあの方を知つてゐるのだけれどあの方は私を知らないの、そら、去年だつたわれ、私暫らくお友達
の綿子様の所に行つてゐた事があるでせう? あの時、いつだつたか一度彼方でね、大勢の男の方や婦人方を招いて宴會があつたのよ、その中に荒雄様もゐらつたの。荒雄様はねその時分近くの別荘に宿てゐらしたのだつていふ事よ

8. Lange Hosen.

長ズボン

Dialog¹⁾ in der „Elektrischen.“²⁾ 電車内的一幕

- 8) Wirklich? Woher?—共に kennen Sie? を略せり。
- 9) das heißt—eigentlich.....の文を説明せる語。「即ち」。
- 10) Du weißt—御存じの通り。
- 11) bei jemandem zu Besuch sein—或る人の宅へお客に行つてゐる; 訪れてゐつてゐる。
- 12) darunter—Gesellschaft を指す。
- 13) sich aufhalten—滞在する; Gute—Landgut にて別荘をいふ。

8. 長ズボン

- 1) Dialog—對話、Monolog (獨白) に對す。
- 2) in der Elektrischen—in der elektrischen Tramway 又は Straßenbahn にて電車をいふ。

Personen: eine Soubrette³⁾ 登場人物、一劇場舞踏婦、子供、洗
des Raimund-Theaters, ein 濯屋の主婦、車掌
Kind, eine Wäscherin, der
Kondukteur.

Soubrette.—„Geben Sie mir 劇場舞踏婦、—『^{わたい}私に乗
eine Umsteigkarte für mich 換切符さ、この子に半額切符を
und eine Kinderkarte⁴⁾ für 下さいな』
meinen Buben.“

Kondukteur.—„Aber das ist 車掌、—『しかしこの方はもう子
ja kein Kind mehr, der 供ぢやありませんね、長ズボンを
Bub'⁵⁾ hat ja lange Hosen はいてゐるぢやありませんか』
an.“⁶⁾

Soubrette.—(energisch) 劇場舞踏婦、—(むきになつて)。
„Bitte sehr,⁷⁾ wenn ich 大きなお世話ですよ、私が子供
sage, es ist ein Kind, ist ださいつたらどこまでも子供
es ein Kind. Ich will die なんです、私は二錢や三錢位
Tramway⁸⁾ nicht um ein の事に電車をごまかしたりは
paar Heller⁹⁾ betrügen.¹⁰⁾ しない事よ、さア乗換切符を二

3) *Soubrette*—Bubrett' さ發音する、侍女、腰元(喜劇の)。

4) *Kinderkarte*—Karte は Fahrkarte 切符; 「小兒切符」即ち半額切符をいふ。

5) *Bub'*—Bube にて Knabe に同じ、主として南獨逸に用ゐらる。

6) *hat ja lange Hosen an*—ja は強め語、「……ぢやないか」の語氣を添へる、hat……an は「著てある」の意; 帽子ならば hat……auf さいふ。

7) *Bitte sehr*—これは色々の場合に用ゐらる、「お言葉ですが」さ反對する語、此處では「大なお世話だ」位の意。

8) *Tramway*—Straßenbahn に同じ、「市街鐵道」即ち「電車」をいふ。英語から來た語、tramueh さ發音する。

9) *Heller*—小銅錢の名、鏰錢。

Also geben Sie mir zwei 枚下さい、私は大人の賃金を拂
Umsteigkarten her, ich ぶから、でも私はこれまで電車
bezahle den Preis für Er- でズボンの長さを見て客の賃
wachsene.¹¹⁾ Ich habe nicht 金を定めやうさば知らなかつ
gewußt, daß man bei der てよ、(無遠慮に)それぢや私
Tramway die Passagiere なぞは(につこりして)半額切
nach der Länge der Hosen 符でなくぢやならぬわけだわ
taxiert.¹²⁾ (Schnippisch :) れ』
Dann müßt ich (mit feinem Dann müßt ich (mit feinem
Lächeln) eine — Kinder- Lächeln) eine — Kinder-
karte haben.“ karte haben.“

Wäscherin.—(die aufmerk- 洗濯屋の主婦、—(その話を聞いて居つて)『全くですれえ—あ
sam dem Gespräche なた。(特に言葉に力を入れて)
folgte)¹³⁾ „Recht hat die 手前共なぞは本當にしたらち
Gnädige.¹⁴⁾ (Mit scharfer つさも電車賃を拂はんでいふ
Betonung :) Ich müßt' わけなんですよ、だつて私しや
eigentlich gar nix¹⁵⁾ zahlen 今日 はてんで下げきをばいて
……denn i hab' heut' gar ぬれえんだから』
kane Hosen an.“¹⁶⁾

10) *um etwas betrügen*—何々を瞞着する、ごまかす、um さいふ前置詞に注意すべし。

11) *Erwachsene*—大人。

12) *nach der Länge……taxiert*—ズボンの長さに従つて賃金を取る。

13) *dem Gespräche folgt*—話を聞いてゐた。

14) *die Gnädige*—die gnädige Frau 「奥様」「全く奥様のおつしやる通りです」。

15) *nix*—nichts に同じ。

16) *i hab'...*—i は ich, hab' は habe, heut' は heute, kane は keine の訛り、最後の Hosen は普通のズボンをいふにあらず、パンツ、下品な語なり。

9. Russische Geheim-
polizei.

露國の秘密警察

Ort: Ein Zimmer im
Polizeipräsidium.

場所: 警視廳の一室

Der Polizeipraesident.— 警視總監、—『君が若し警察側の
„Wenn Sie in unseren 人さなつて革命黨員から刑事
Dienst treten²⁾ und aus になり變つてくれるなら、この
einem Revolutionär ein まゝ放免する若し然らざる場
Geheimpolizist³⁾ werden, so 合に於ては君は今日にも刑の
sind Sie frei! Andern- 執行を受けるのだ』
falls⁴⁾ werden Sie noch
heute⁵⁾ gehängt!⁶⁾

Der Revolutionaer. — „Es sei!⁷⁾ 革命黨員、—『成程!』
sei!⁷⁾

Der Polizeileutnant—(denkt 警視(獨白)、—『こりや至急革命
sich). „Das muß ich gleich 黨の幹部に通知せにやならぬ、
dem Revolutionskomitee⁸⁾ 裏切するきは怪しからぬ奴ぢ
melden! Der schändliche や』
Verräter!⁹⁾

9. 露國秘密警察

- 1) *Geheimpolizei*—detective police 秘密探偵を司る警察をいふ。
- 2) *in unseren Dienst treten*—吾々の用を務める、即ち警察に勤務するをいふ。
- 3) *Geheimpolizist*—探偵、刑事巡査。
- 4) *andernfalls*—然らざる場合には。
- 5) *noch heute*—今日にも、this very day に當る。
- 6) *gehängt*—hängen (絞殺する) の過去分詞。

Der Polizeipraesident.—„Wir 警視總監、—『君が若し目下計畫
bieten Ihnen 1000 Rubel, されつゝある暗殺案を密告し
wenn Sie uns verraten,¹⁰⁾ てくれるなら吾輩は君に一千
welche Attentate¹¹⁾ zur 留を提供するがれ』
Zeit¹²⁾ geplant werden!¹³⁾

Der Polizeiwachtmeister — 警部(獨白)、—『南無三! まさか
(denkt sich). „O Gott, ich 吾輩の事が密告されはしま
werde doch nicht verraten い!?!』
werden!¹³⁾

Der Revolutionaer.—„Es wird 革命黨員、—『目下の處は大僧正
ein Attentat auf den Popen 暗殺の件が進行してゐます』
geplant.¹⁴⁾

Der Polizeisergeant—(denkt 巡査部長(獨白)、—『まア有難い
sich). „Gott sei Dank!¹⁵⁾ 事には吾輩の暗殺計畫につい
von meinem Attentatsplan ては奴は少しも知らぬぞ見へ
weiß er nichts.¹⁶⁾ る』

Der Revolutionaer.—„Dimitri 革命黨、—『デイミトリニコラエ
Nicolajewitsch soll es aus- ウイツチがそれを執行する管
führen.¹⁷⁾ です』

7) *es sei*—be it so!8) *Revolutionskomitee*—革命黨委員會; 即ち革命黨幹部。
denkt sich—獨白をいふ。9) *schändlicher Verräter*—見下げ果てたる内通者。10) *verraten*—裏切する、密告する。11) *Attentat*—暗殺。12) *zur Zeit*—at present 目下。13) *O, Gott*—南無三! に當る、間投詞; *doch nicht*—まさか(よもや)……せられまいの意。 *verraten werden werde*—verraten は verraten の過去分詞、同形なれば注意すべし、最後の werden は受動形の助動詞、werde は未來の助動詞、區別すべし。

- Der Schutzmann an der Tuere* 戸口に居る巡査(獨白)、一奴は有
(denkt sich). — „Er nennt den richtigen Namen!“ の儘をいふぞ』
- Der Revolutionaer.* — „Morgen Abend 8 Uhr soll das Attentat stattfinden!“ 革命黨員、—『明晩の八時に該暗殺が行はれる事になつてゐます』
- Der Protokollschreiber* — 警察書記(獨白)、—『昨日の會議
(denkt sich). „In der gestrigen Sitzung¹⁸⁾ haben wir es auf übermorgen verlegt.“¹⁹⁾ で吾々はそれを明後日に延期したよ』
- Der Polizeipraesident zum Revolutionaer.* — „Ha, Schändlicher! So verrätst Du unsere Verschwörung?²⁰⁾ Fahre zur Hölle!“²¹⁾ 警視總監(革命黨員に向つて)、—『この義理知らずめ! よくも貴様は吾黨の裏切をしたな、さア地獄へでも行け!』

14) **es wird ein Attentat**—es は Attentat を指す文法上の主語、意味の上では Attentat が主語なり。

15) **Gott sei Dank**—有難い事には。

16) **weiß er nichts**—er は Revolutionär を指す。

17) **soll es ausführen**—soll は「……の筈」の意、es は Attentat を指す、ausführen は實行する、遂行する。

18) **Sitzung**—meeting 會合、會議をいふ。gestrig—gestern の形容詞形。

19) **verlegen**—延期する。

20) **So verrätst Du……?**—「よくも……したな」に當る; こゝに注意すべきは Polizeipraesident がこゝまでは Revolutionär に對して Sie, Ihnen さいふ丁寧な語を用ゐながらこゝに至つて Du と賤んだ代名詞を用ゐた事である、いふまでもなく始の中は對等の待遇をしてゐたのがその裏切したのに怒つて Du と輕蔑したのである。**Verschwörung**—結社、徒黨をいふ。

- (Er schießt auf ihn,²²⁾ ohne zu treffen.) (彼は革命黨員に向つて發砲する、然し當らない)
- Der Revolutionaer.* — „Verhaftet ihn!! Ich bin der Polizeiminister!“²⁴⁾ 革命黨員、—『彼れを捕縛せよ!! 吾輩は警察大臣だぞ!』
- Der Aufwaschfrau.*²⁵⁾ — „Dann stirb!“²⁶⁾ 炊事場の女、—『ぢや命を貰ふた!』
- (Sie stürzt mit einem Dolch auf ihn.) (女は懐劍を以て彼に打つてかゝる)
- Der Schutzmann an der Tuere* 戸口の巡査、—(女の腕を捕へながら) 南無三、貴様は何をする— „Nikolaus,²⁸⁾ was tust Du!“ んだ!』
- (Das Haus fliegt in die Luft, da der eben in das Portal tretende Briefträger über eine Bombe gestolpert²⁹⁾ ist.) (丁度その時玄關へ這入つて來た郵便脚夫が一つの爆裂彈の上へ躓いたので警視廳の建物は空中へ飛んだ)

21) **Fahre zur Hölle!**—地獄へ行け、覺悟をしろの意。

22) **auf ihn schießen**—彼を目掛けて發射する。

23) **verhaftet ihn**—ihn は Polizeipraesident を指す。**verhaften**—は逮捕する、引致する。

24) **Polizeiminister**—警察大臣又警保局長の意味にも譯せらる。

25) **Aufwaschfrau**—Aufwäscherin 食器洗の女、おさんごんをいふ。

26) **Dann stirb!**—「然らば死れ」さは「覺悟しろ、命を貰つた」に當る。

27) **ihr in den Arm fallen**—人を打たんさする女の手を捕へる。

28) **Nikolaus**—神の名、O, Gott; に等し。

29) **stolpern**—躓く。

10. Einquartierung.

舍 營

Adolf. Clara.

荒雄。 吳葉

Adolf.—Hat eine Mutter nicht zuweilen von mir gesprochen?

荒雄、—お母様は時には僕の事をお話なさつたですかね?

Clara.—Ja, sehr oft.

吳葉、—ええ、もうしょつちゆうなんですのよ

Adolf.—So? Und wie sprach sie von mir? Sie hielt mich gewiß für einen Wildfang,¹⁾ für einen unbesonnenen, leichtsinnigen Burschen?²⁾

荒雄、—さうですかい? そして僕の事を何と言つておられましたか? 屹度腕白者であさき見すのふかふかした軽忽な男と思つておられたでせうな?

Clara.—Nein, sie hat ganz gewiß nur gut von dir geredet.³⁾

吳葉、—いゝえ、母はいゝ方ださしか申してゐませんでしたわ、全くなんですよ

Adolf.—Wirklich? Nun, das freut mich!⁴⁾ Ja, Tante ist eine prächtige Frau.⁵⁾ Du mußt ihr sehr gleichen.⁶⁾

荒雄、—實際ですかい? ウンそりやありがたい! 實に伯母さんはよくできた婦人ですな、吳葉さんも屹度伯母さんによく似てゐらつしやるに違ひない

10. 舍 營

1) jemanden für etwas halten—或人を何々と思ふ、halten は to suppose に當る。Wildfang は腕白者。

2) unbesonnenen, leichtsinnigen Burschen—思慮なき、軽忽な青年と思つてあたらう。

3) von dir reden—von dir sprechen に同じ。

4) das freut mich—嬉しい。

5) prächtige Frau—立派な婦人。

「なし」の意。

6) ihr gleichen—彼女に似てゐるに違ひない、mußt は「相違

Clara.—Wenigstens wird das oft behauptet.⁷⁾ Aber ich bin nicht so groß wie sie.

吳葉、—えゝ、少くともその事だけは始終人様がおつしやいますのよ、でも私は母のやうに大な體ではありませんわ

Adolf.—Ich meine nicht die äußere Aehnlichkeit;⁸⁾ was die betrifft,⁹⁾ so seh ich ja selbst, daß du ihr gleicht. Ich dachte an die innere Aehnlichkeit.

荒雄、—いゝや、僕は外的類似はいふのぢやないです、その點なら僕でもお二人が似てゐらつしやる事は直ぐわかりますよ。然し僕のいふのは内的類似の點なのです。

* * * * *

Adolf.—Sag' mal,¹⁰⁾ Clara... hattest du dir mich so gedacht, wie ich aussehe?¹¹⁾

荒雄、—ね、吳葉さん.....僕をお覽の通りの男と是迄も思つてゐらしたですかい?

Clara.—Ja—aber ich habe Sie—habe dich¹²⁾ schon einmal gesehn.

吳葉、—えゝ—でも私は貴君にあのう荒雄さんにお目に掛つた事があつてよ

7) Wenigstens wird das.....—wenigstens は「少なくとも」、das は ihr gleichen する事を指す。wird behauptet—主張される。

8) Ich meine.....—I do not mean..... なり、äußere Aehnlichkeit—外部の類似; meine は「云ふのぢやない」を譯すべし。

9) was die betrifft—die は die äußere Aehnlichkeit を指す。「その點に關しては」なり。

10) Sag mal—「一寸言へ」にて「ね」に當る。

11) Wie ich aussehe—「僕が見える通り」即ち「御覽の通りの」。

12) Ich habe Sie—habe dich—Sie は du を使ふ心持に注意すべし; 初めて會つた人に du を呼びかけにくい所からつい Sie といつたのだが Sie では疎々しいから又 du といひなほしたのである。

Adolf.—So? Aber wo denn?¹³⁾ 荒雄、—さうですか? 然しそりや一體何處で?

Clara.—Zu Mülseborn—in einer großen Gesellschaft— voriges Jahr. (Bei Seite).¹⁴⁾ Das hätt' ich gewiß nicht sagen sollen!¹⁵⁾ 吳葉、—ミュルセボルンで—あの 大宴會の時に—昨年でしたわ。(よこを向いて)こんな事を私や乾度いつてはいけなかつたのかも知れないわ

Adolf.—Du warst da und ich wußte das nicht?¹⁶⁾ Wie ist das zugegangen?¹⁷⁾ 荒雄、—吳葉さんがあの時あそこ にゐらして、そして僕がそれを知らなかつたさいふんですか? まゝそりやどうしたわけです

Clara.—Ich weiß nicht—es waren so viele Fremde da, und du bliebst nur bis Mittag. 吳葉、—私や知りませんわ—兎に 角あの時は知らない方が大勢 ゐらしたし、それに荒雄さんは 晝までしか おゐでなさらなかつたんですもの

Adolf.—Aber das ist ja ein wahres Unglück! Bedenke, hätte ich damals deine Bekanntschaft gemacht,¹⁸⁾ so wärest du jetzt vielleicht 荒雄、—然しそりや實に不幸中の不幸でしたな、若しあの時吳葉さんにお目に掛つてさへ居れば、吳葉さんだつてまさか今... さうすれば—いや、さう

13) Aber wo denn?—wo hast du mich denn gesehen? なり。「一體何處で」。

14) bei Seite—傍白。

15) Das hätt' ich gewiß—「それを私は乾度言つてはならなかつたのであらう」。

16) Du warst.....—das nicht?—相手の言葉に念を押せる形。

17) zugehen—geschehen に同じ、「生ずる、起る」。

18) Bedenke, hätte ich—bedenke は「思へ、假定せよ」なり、hätte 以下は wenn を略せり、即ち wenn ich.....hätte, so wärest..... となる、vielleicht nicht の次は verheiratet mit さい

nicht..... dann—ja dann ständen wir uns jetzt nicht so fremd gegenüber. すればお互に今斯う他人然さはなつてゐないでせうに.....

Clara.—Das ist wahr. Das hab' ich heute auch schon gedacht. 吳葉、—そりや全くですわ、今日も今日で私さう思つてよ

Adolf.—Wirklich? O es ist doch jammerschade, daß wir uns nicht schon als Kinder kennen lernten. 荒雄、—實際ですかい? あゝ、遂に流星光底長蛇を逸す、お互に小兒時代からお交際する事が出来なかつたのは僕實に千古の恨事と思ふです

ふ所をさういつてはいけないので dann—ja dann さごまかしたるなり。即ち「もし當時知合であつたなら今日貴女は多分(人妻になつては)いながつた、その時は—いやさうすれば今日お互に他人然さはなつてゐないであらう」の意。

メンハルト作喜劇

11. Die Patientin. 女患者

第一場

Falk im Reiseanzug, Irene zu seiner Linken, hatten sich inmitten des Zimmers umarmt. Toni, das Dienstmädchen.

旅装の福太郎、その左に郁子、室の真中に抱合つてゐる、下女のさみ

Toni—(durch die Mitte).¹⁾ Der Kutscher wartet!

さみ、—(中の戸口から) お馬車が待てゐます

Irene.—(wendet sich unwillig um) Laß ihn warten und erinnere uns nicht, daß wir uns, wenn auch nur kurze Zeit, trennen müssen!²⁾ (Sie schmiegt sich zärtlich an den Gatten).

郁子、—(いやいや振りむいて) 待たして置けばいゝよ、それにさう急ぎたてるもんぢやないよ、いくら暫らくの事でも別れは痛いんだからね、(女は良人にしなだれつく)

Falk.—Na, na, na—wer weiß,³⁾ liebes Weibchen, ob dir die Trennung gar so großen Schmerz verursacht!

福太郎、—ままア、さういふな郁さん、お前に別れかそんなにつらいさは人は誰も知らんぢやないか

11. 女患者

- 1) durch die Mitte—舞臺の正面奥の戸口をいふ。
 2) erinnere uns nicht—直譯:「吾々をして思ひ出させるな、吾々がたさひほんの暫らくの事でも、別ればならぬさういふ事を」。
 3) wer weiß—「誰か知らん」で「.....たさひ人にはわからんか」(神こそ知らぬ人にはわからん)。

Irene.—Wie? Schon wieder dieser häßliche Argwohn?⁴⁾ (Sie entschlüpft unwillig seinen Armen; rasch zu Toni, auf den Koffer u. s. w. an der Mittelthür zeigend.) Toni, trag die Sachen schnell in den Wagen. Der Herr kommt gleich nach. (Sie geht schmolend an Falk vorüber nach rechts.)

郁子、—なんですつて? まア直ぐさう水臭い事を? (女は不機嫌さうに男の腕から滑りぬけて、急にさみに向ひ、中の戸口に置いてある行李を指しながら。) おさみや、その荷物を早く車へ運んでおくれ、旦那様は直ぐ後からあらつしやるから、(女は面をふくらしながら男の側を通り抜けて右手へ行く)

Toni.—(bleibt kopfschüttelnd und beobachtend auf der Linken; für sich.)⁵⁾ Aber sind das zwei Narren! Mein Lebtag hab ich keine solche Ehe gesehn. Jetzt schnäbeln⁶⁾ sie sich wie zwei Turteltauben und einpaar Minuten nachher hacken sie aufeinander los wie zwei Hähne! Na, so was!⁷⁾ (Sie nimmt kopf-

さみ、—(左手に立ち止まつたまま頭を振りながら二人を眺めてゐる、獨白)、どう見てもこの二人は馬鹿に違ひねえ! 己らア生れてからまだこんな夫婦は見た事あれえだ、今二人が斑鳩のやうに乳縋り合つてゐるかと思へばまだ二分経たぬ中にもう喧嘩をおつじめてゐる、まるで雄鶏が二羽でつゝきあつてゐるやうだ、まアこう妙な夫婦てば! (さみは首を振り

4) Argwohn—疑、疑心。

5) für sich—sprechen を補ふ、獨白。

6) sich schnäbeln—元來「鳩が嘴でつつき合ふ」事を表す語だが、やがて愛人同志がキスし合ふ事を意味す。

7) Na, sowas!—sowas は so etwas にて、so etwas habe ich nie gesehen (こんな妙なものは未だ見た事がない) 又は so etwas ist mir noch nie vorgekommen (私は未だ斯る事に遭遇した事がない) の略である。

schüttelnd den Koffer 振り行李 其他の荷物を持って
u. s. w. und geht durch die 中央の戸口から退場)
Mitte ab.)

* * * * *

第二場

Irene. Falk.

郁子、福太郎

Irene.—(sich tief verbeugend). Nun, Herr Gemahl,⁸⁾ wollen Sie sich nicht beeilen? Es ist die höchste Zeit⁹⁾—wenn Sie den Zug nicht versäumen¹⁰⁾ wollen! Also bitte! (sie zeigt nach der Mittelthür.)

郁子、(甚だしく平身低頭しながら)、さア旦那さまお急ぎ遊しませ、もはや時間で御座ります、一汽車に後れ遊す御心でなくば、いざ此方へ! (女は中央の戸口の方へ指さす)

Falk.—(der sie erst betroffen,¹¹⁾ dann lächelnd beobachtet hatte, tritt näher und erfaßt rasch ihre

福太郎、(最初は一寸面喰つたがやがて微笑しながら女を眺め、それから側へ寄つて突然女の手を執る、熱心に)、己れが悪

8) **Nun, Herr Gemahl.....**(第二場)—Also bitte までは特別に Herr Gemahl (良人の君) さか Sie (貴君) さいふ語を用ゐてよそよそしくいつてゐる、これは良人が水臭い事をいつた復讐である。他の部分にある Irene の言葉と比較して言葉の使ひ分けを味ふべし。因にこの Irene は元女優であつたさいふ經歷から斯う直ぐ芝居の眞似をするのである。

9) **Es ist die höchste Zeit**—「最高の時である」さは「危急存亡の時である」「今は一刻も猶豫しがたい」の意。

10) **den Zug versäumen**—汽車に遅れる、versäumen は「外す、逸する」。

11) **betroffen**—面喰つて、呆氣に取られて。

Hand; mit Wärme). Verzeih, Weibchen!

るかつた、謝るよ郁さん

Irene.—(vorwurfsvoll). Also deshalb, weil ich Schauspielerin gewesen, mußt du alles, was ich spreche und tue, für Lüge und Verstellung halten?

郁子、(小言をいふやうに)、ええようござんす、ちやアんさ知つてゐます、私が女優だつたもんだから、それで私の言ふ事爲す事を皆虚言や造り事と思つてあらしゃるに違ひないんです

Falk.—(beschwichtigend). Aber Kind,¹²⁾ das war doch bloß im Scherz—nichts als purer Scherz.¹³⁾

福太郎、(宥めるやうに)、然し、郁さん、ありや、唯だじやうだんにいつたんだよ、—ほんの冗談に過ぎんのだよ

Irene.—(noch immer schmolend). Ja, das sagst du immer. Wenigstens vor dem Stubenmädchen solltest du dich aller beleidigenden Bemerkungen enthalten.¹⁴⁾ (Sie wendet sich von ihm ab.)

郁子、(尙怒りが解けず)、へん、そりやあなたのおほこよ、少なくとも下の者の前では人を侮辱するやうな事はすつかりよして頂きたい事よ、(女は男に背を向ける)

Falk.—(schmeichelnd). Nu, nu,¹⁵⁾ sei nicht mehr böse, liebste Weibchen—sei nicht böse! (Er küßt sie und streichelt ihr die

福太郎、—まア、まア、まア—もう怒るのはお止しよ、郁さん—怒つちやいかんよ、(男は女に接吻してその頬を撫でる、然し女は顔を背向けてゐる)、さア此

12) **Aber Kind**—Kind は Irene を指す、親愛の語なり。

13) **pur**—pur は rein (純粹の)、本當の冗談。

14) **sich aller beleidigenden Bemerkungen enthalten**—あらゆる侮辱的言辭をつゝしむ。

15) **nu, nu, nu**—まアまアまアさなだめる言葉。

Wange, ohne daß sie ihn anblickt.) Nun, so sieh mich doch an —

Irene.—(völlig versöhnt, lächelnd). Du—du—garstiger Mensch! (Sie giebt ihm einen leichten Backenstreich.)

Falk.—(freudig). So! Ach, wie bin ich glücklich, daß du mir nicht mehr zürnst! (Er umarmt sie und sieht dann rasch nach der Uhr.) Aber ich vergesse ganz und gar — die Zeit verrinnt und auf den Bahnhof.¹⁶ ist's so weit. Also lebewohl, Weibchen. (Er umarmt sie.)

Irene.—Warte — du fährst per Eisenbahn.¹⁷ (sie macht ihm drei Kreuze auf Stirn, Mund und Brust.) So. Kehre gesund zurück, du—du—Brausekopf! (Sie giebt ihm einen leichten Backenstreich.)

16) auf den Bahnhof—「停車場迄は」の意、「停車場に於て」にあらず、四格に注意。

17) per Eisenbahn—per は ラテン語 mit (又は in) の意、

方お向きよ、ね、たのむから—
郁子、—(すつかり打解けて、微笑しながら)、こッこの嫌な人!
(女は男の頬を軽く打つ)

福太郎、—(嬉しさうに)、ああ、ありがたい! 郁さんの御機嫌が直つて何より安心! (男は女をだき締める、それから突然時計を見遣つて)、然し己れはすつかり忘れてゐた—時間の経つのも、それに停車場までは随分あるし、ちや、行つてくるよ、郁さん(男は女を抱き締める)

郁子、—ちよいと— 貴郎は汽車でゐらつしやるのね、(女は男の額と口と胸の三ヶ所へ十字架を造へてやる)、これでいゝのよ、達者で歸つて頂戴、こッこのお性急さん! (女は男の頬を軽く打つ)

Falk.—(entzückt). Mein liebes, teures, goldenes Kätzchen! Ade! Leb wohl! (Er umarmt und küßt sie stürmisch.)

福太郎、—(溶けるやうになつて)。いさし、なつかし、戀しき郁さん! それではいつてくるよ!
(男は女を抱き締めて猛烈に接吻する)

* * * * *

第三場

Die Vorigen. Helene. 郁子。福太郎。花枝
Helene.—(rasch durch die Mitte, bleibt überrascht auf der Schwelle stehen.) Ach — Entschuldigung¹⁸ — aber ich habe geklopft, zweimal geklopft.

Irene.—(freudig). Was seh ich?¹⁹ Helene! (Sie eilt ihr entgegen und umarmt sie.) Stündlich erwartete ich Antwort auf mein Schreiben —

Helene. (die Mitte nehmend, scherzhaft.) Und bedauerst vielleicht, daß ich statt

郁子。福太郎。花枝
花枝、—(突然中の戸口から入らうさして奥驚して敷居の上に立ち留る)、あらッ!—御免遊ばせ、—でも私案内を乞ふたのよ、二度案内を乞ふたのよ

郁子、—(嬉しさうに)、オヤ、誰れかと思つたら、花枝さん! (郁子は走り寄つて花枝を抱く)、私毎時間のやうに私のあげたお手紙の御返事を待つてゐたのよ—

花枝、—(二人の間に這入つて、じやうだんに)、それでは何さも御返事をしないで私自身でや

18) Ach—Entschuldigung—aber ich habe geklopft—これは突然室に這入るさそこに夫婦が抱合つてゐたので驚いて言ひ譯ける言葉である、即ち「黙つて這入つたのではない二度も戸を敲いたのだ」の意。

19) Was seh ich?—これはしたり。

jeder Antwort selber 一つ来て、さぞお氣の毒様なん
komme? でせう?

Irene.—O—ich bin freudig 郁子、—あらそんな事—ごんなに
überrascht! (Vorstellend.) 嬉しいか知りやしないわ、でも
Mein böser Mann—meine 私喫驚してよ、(二人を引合せ
Freundin Helene—ながら、) 私の嫌な良人—私の
お友達の花枝さん—

(Verbeugungen)

(互に敬禮)

Falk.—Ach—die ich aus 福太郎、—あゝ—お前が始終話し
deinen Mitteilungen てるあのお方か? (花枝に向
kenne?²⁰⁾ (zu Helene.) Es つて) これは奥様始めまして—
freut mich,²¹⁾ gnädige Frau!

Irene.—(rasch zu Helene.) 郁子、—(突然花枝に向つて) それ
Wann bist du denn ange- はさうさあなた何時此方へお
kommen? らして?

Helene.—Bereits vor einer 花枝、—もう一週間前よ—良人
Woche—samt Gemahl— (やど)と一緒に—

Irene.—(überrascht.) Vor 郁子、—(喫驚して)、一週間前だ
einer Woche? (Mitleichem 一つ?! (少しくむつまして。)
Vorwurf.) Und erst jetzt それなのに私の方へは漸く今
beliebte sich die Frau 日風が向いたさいふわけ—
Doktor meiner zu erin- それで先生の奥様がわざわざ
nern?²²⁾ お出掛なんでせう?

20) Ach die ich aus deinen.....—die は直ぐ前の Helene に
續けた關係代名詞を見ればよい、即ち「あゝ、お前の話で知つてあ
るあのお方か」の意。

21) Es freut mich—次に Sie zu sehen 又は Ihre Bekannt-
schaft zu machen を略せり。

22) erst jetzt beliebt sicherinnern—「やつと今になつて
博士夫人は私の事を想起すべく思召す」これははからかつて丁寧と言
つたもの。

Helene.—Verzeih, teure 花枝、—あら、堪忍して頂戴、郁子
Freundin, aber ich war さん、でも私少し加減がわるか
etwas unpäplich; und dann ったのよ、それに—あなただつ
—du begreifst doch—das てわかつてあるわ—又新たに
Einrichten des neuen 家を持つんですもの—
Hausstandes—

Irene.—(befremdet und ver- 郁子、—(不審さうに) 何んですつ
wundert.) Wie—neuen て?—新たに家を? いゝえ、
Hausstandes? Nein, ich 私ちつともそんな事知らない
begreife nicht im min- わ—
desten—

Helene.—Ach so, du weißt ja 花枝、—あらさうなの、あなた未
noch nicht—Mein Mann だ御存じがないのね—じゃお話
hat sich nämlich urplötzlich してよ、實は良人(やど)がこん
entschlossen, Waldstätten ど急にワルドステッテンを引拂
zu verlassen, wo der ge- つて此方の首府(みやこ)へ引越
sunden Luft wegen die すこまにしたの—あちらはあ
Patienten so selten sind, まり空氣が良いので患者が白
und sich in der Residenz 鶴のやうにすくないもんだか
anzusiedeln—ら

Irene.—Wo er bald reich zu 郁子、—それでは此方で暫らくの
zu werden hofft?²³⁾ まにウンと金でも儲けなさる
お希望でせう?

Helene.—So ist's. 花枝、—まあ、さうなの

Falk.—Nun, die großstädt- 福太郎、—さうだ、大都會の空氣
tische Luft ist den Aerzten はお醫者方を取つてはよほど
sehr zuträglich. 効能があるだらうよ

23) Wo er bald.....—この文は直ぐ前の in der Residenz an-
zusiedeln の副文章にした形で wo は Residenz を指す。

第四場

- Die Vorigen. Toni. 郁子。福太郎。花枝。さみ
- Toni.—(rasch durch die Mitte.) Der Kutscher will nicht länger warten!²⁴⁾ さみ、—(中の戸口から急に) 車屋がこれ以上もう待てぬと申しますが!—
- Falk.—Gleich, gleich—ich komme schon! (zu Helene.) Entschuldigen, gnädige Frau! Ich bedaure tief, daß ich, kaum mit Ihnen bekannt geworden, verreisen muß. 福太郎、一直ぐだ、今行くよ! (花枝に向つて) 奥様、失禮します—お初にお目に掛るか早々出立せればならぬので誠に恐縮ですが—
- Irene.—(erklärend) In An gelegenheit des Verkaufes unseres Gutes Rosenau. 郁子、—(言譯して) あのローゼナウにある宅の地所を賣り拂ふ事にしたので、それで—
- Falk.—(zu Helene erklärend) Mein Weibchen will nämlich, daß wir uns dauernd in der Residenz niederlassen.²⁵⁾ 福太郎、—(花枝に向つて、説明的に)、實は家内がこのまゝずっと此方に永住したいと申すものですから
- Irene.—Ach ja! Ich liebe das großstädtische Leben! 郁子、—え、さうよ、私大都會の生活がすきよ
- Helene.—Ei, das trifft sich herrlich! (Freudig zu 花枝、—あらそう、そりや本當に好都合だわ、(嬉しそうに) 郁子に

24) Der Kutscher will nicht länger warten.....—この種の場合の will は sagen の意に譯すをよしとす、即ち「車屋はもうこれ以上待てぬと申しますが」となる。

25) niederlassen—ansiedeln に同じ。

- Irene.) So sind wir nun wieder beisammen! 向つて)では今から又御一緒にゐられるわれ!
- Falk.—(die Mitte nehmend, zu Irene.) Also leb wohl, liebste Weibchen! (Er umarmt sie; mit einer Verbeugung zu Helene.) Gnädige Frau! Ich freue mich auf ein baldiges Wiedersehen! (An der Mittelthür zurücksprechend.) Ich komme bestimmt morgen früh! Adieu! (Ab durch die Mitte.²⁶⁾ 福太郎、—(二人の間に入りながら、郁子に向つて)、ちや行つてくるよ、郁さん! (男は女を抱へる、それから花枝に向つて一寸腰を屈めて) それでは奥様、その中又 お目に掛るのを楽しみにしてゐます! (戸口の處で言葉を残して) 明日の朝屹度歸つて来るから、ちや行つてくるよ! (中の戸口から退場)
- Toni.—(ihm nach.) さみ、—(彼の後について退場)

* * * * *

第五場

- Irene. Helene. 郁子。花枝
- Irene.—Gott sei Dank, daß der Tyrann aus dem Hause ist! Jetzt hab' ich wieder ein paar Tage Ruh. 郁子、—まア有難い、宅のやかましやが 出て行つたから! これで又二三日骨休めが出来る事よ
- Helene.—Aber er sagte doch, daß er bestimmt morgen früh zurückkäme? 花枝、—でも明日の朝 屹度歸るか らつて おつしやつたぢやありませんか?

26) Ab durch die Mitte—ab は abgehen, 「正面奥の戸口から退場」。

- Irene.*—Das ist eine Finte²⁷⁾ 郁子、—ありや虚言よ—虚言許つ
—nichts als eine Finte. かりよ、いつでも時日が長くか
Das sagt er regelmäßig, かる旅行になるさすぐあれが
sobald er eine mehrtägige 出るのよ、ありや良人のおはこ
Reise vorhat.—Doch nimm よ—それはさうさお掛けなさ
Platz und erzähle, wie es いよ、そしてあなたのお宅の模
dir im „Eheparadiese“²⁸⁾ 様も聞かして頂戴、(郁子は長
geht. (Sie zeigt nach dem 椅子を指して座れさいふ)
Sofa, Platz zu nehmen.)
- Beide.*—(setzen sich; Helene 二人共、—腰を掛ける、—花枝は右
rechte Ecke.) の隅の方に)
- Helene.*—(tief aufseufzend.) 花枝、—(深い吐息をついて)、あゝ
Ach! あゝ!
- Irene.*—Ei—du seufzest? 郁子、—おや—あなた歎息なさる
のね?
- Helene.*—(weinerlich.) Ich 花枝、—(泣きさうになつて)、私は
bin unglücklich—er liebt 不仕合よ—良人が私を可愛が
mich nicht. ってくれないんですもの
- Irene.*—(verwundert.) Nicht 郁子、—(怪んで)、そんな事アある
möglich! わけないわ!
- Helene.*—Die ersten vier 花枝、—尤も初めの四週間はれそ
Wochen liebte er mich so— れでも—可愛がつくれたん
aber so—(sich vertraulich ですよ—(睦みさうに郁子にし
zu ihr hinneigend) da liebte なだれかゝつて)その間だけは
er mich als sein Weib; ね家内らしくしてくれたんで
die fünfte Woche verehrte すよ、それが第五週間目になる
er mich wie seine Geliebte, さ今度は情婦扱ひよ、そして第
die sechste Woche schätzte 六週間目には友達かなんかの

27) **Finte**—口實、虚言。28) **Eheparadiese**—夫婦の樂園、新家庭。

er mich wie eine Freundin,
die siebente wie eine
Cousine, die achte Woche
behandelte er mich sogar
schon wie seine Schwester;
und die übrige Zeit verhält
er sich so kühl und abge-
messen gegen mich, (sch-
luchzend) als ob ich seine
Tante wäre! (Sie weint.)

Irene. (mitleidig.) Du
Aermste!—Ach ja, wir
Frauen haben unsere Not
mit diesen Männern! Vor
de: Hochzeit, da sind sie
honigsüß, so butterweich,
nennen sich unsere „Skla-
ven“ und würden sogar die
Stufen der Haustreppe
küssen, die unser Fuß
berührt; doch sobald sie
uns mit den Banden der
Ehe an sich gekettet haben,
werfen sie die Maske ab²⁹⁾
und wir erkennen sie in
ihrer wahren Gestalt.³⁰⁾

やうに、それから第七週間目
なるさ此度は従妹のやうに、そ
して、第八週間目にはもう妹扱
らいよ、それはまだしもその後
さいふものは全く冷淡で私に
對して四角四面で、(啜泣しつ
つ)、丸で私を叔母かなんかの
やうにするんですもの!(花枝
は泣く)

郁子、—(同情して)、まアそれは
お可憐さうにね!—本當にさう
よ、婦人さいふものはこの男子
に就て幾程苦勞するか知やし
ないわれ! 結婚するまでは男
子は蜜のやうに甘つたれて、パ
タのやうに柔らかくなつてあ
てそして私共の奴隷だなんて
いひながら—おまけに私共の
足が觸れた所なら入口の階段
にでも接吻する勢なんでしや
う、それが夫婦さいふ紐で私共
を自分に結び付けてしまふさ
すぐもうその猫の皮を脱ぐん
ぢやありませんか、その時にな
つて始めて私共は男子の腹が
わかるんですかられ—

29) **die Maske abwerfen**—假面を捨てる。30) **in ihrer wahren Gestalt**—彼等の本當の姿に於て。

- Irene.*—(prüfend). Hm!— 郁子,—(心を引て見る積りで) フ
Meinst du vielleicht, er ム—ちや、先生が何處か外にお
suche und finde sein Ver- 樂み筋でも捜してあつしや
gnügen—anderwärts? るさか、又はもう出來てあるさ
か—さでもあなた思つてあら
つしやるんでしやう?
- Helene.*—Ja, ja, so ist's—du 花枝,—え、え、さうなのよ—貴女
hast's erraten. のお察し通りよ
- Irene.*—Nun, an passender 郁子,—さういへば、先生には幾
Gelegenheit mangelt es 等でもいゝ機會があるわね、た
ihm nicht. Wenn er zu さへば何處か若い美しい患者
einer jungen, hübschen の所へ招聘でもされるさすれ
Patientin gerufen wird— ば—
- Helene.*—(rasch einfallend.) 花枝,—(急に口を挿んで)、れ、さ
Nicht wahr, daß er sich da うでしやう、さうすりや直ぐ女
leicht verlieben kann? ても出來兼ねぬぢやありませ
んか?
- Irene.*—Na und ob!³¹⁾ Er 郁子,—そりや全くよ! 先づ第一
nimmt ihre Hand in die 番に女の手を取つて脈を見る、
seinge, fühlt ihr den Puls, それから心臓の鼓動を検査す
prüft das Pochen ihres るさいふ順序で以てね—オヤ、
Herzens, und so weiter. O オヤ、まア危険だ事
das ist gefährlich.
- Helene.*—(eifrig). Nicht 花枝,—(乗り氣になつて)れ、さ
wahr? Deshalb hab'ich うでしやう、だから私一度良人
mir auch vorgenommen,³²⁾ を試験してみたいと思つてゐ

31) Na und ob—selbständig, 勿論さ、全くよ。

32) sich (三格) etwas vornehmen—或事をなさんさ欲す。
=es zu tun beschließen. この文では「……して見やうさいふ氣になつたのよ」

- ihn einmal einer kleinen かのよ
Probe zu unterwerfen.³³⁾
- Irene.*—Kein übler Einfall. 郁子,—それもいゝ思ひ附れ
- Helene.*—(zögernd, sich nicht 花枝,—躊躇して、言ひ兼ねるや
getraugend) Sieh, Irene— うに)、それでね、郁子さん—
(näher rückend und sich (膝を進めて他人が立ち聞きし
umsehend, ob niemand てゐないか邊りを見廻しなが
horche) du könntest das ら)その試験にはあなたが最も
am besten durchführen. 適任かと思ふだけだぞ—
- Irene.*—(überrascht). Wie— 郁子,—(驚いて)、えつ私が? ど
ich? Wieso? うして?
- Helene.*—Wenn du einmal in 花枝,—たさへば御主人の留守の
Abwesenheit deines Mannes 間にでも一度患者の役を演て
die Rolle einer Patientin 下さるさして—
spielen würdest.
- Irene.*—Ah—ich verstehe: 郁子,—あア—わかつてよ、戀の
einer verliebten Patientin? 患者さいふ所でしやう?
- Helene.*—Das heißt—nun ja. 花枝,—先づいへば—さうさう、
Zum Beispiel eine Witwe. 例へば未亡人さいふ所で以て
- Irene.*—(sich erhebend). Ein 郁子,—(身を起しながら)、そりや
prächtiger Einfall! 本當にいゝ思ひ附れ! (急に)そ
(Rasch.) Und wir könnten れさ事が定まれば今から直ぐ
ihn sofort durchführen. に始めてもいゝわ、こんないゝ
Die Gelegenheit kann nicht 機會は又さないから、宅のやか
günstiger sein; mein まとやさんは留守だし、あなた
Tyrann ist verweist. Bist いゝのね!
du einverstanden?

33) ihn einer kleinen Probe unterwerfen—彼を小試験にかける、彼を一寸験す。

Helene.—(die sich mit Irene erhoben, freudig). Wenn du meinst, allerdings.

Irene.—Wohlan denn—ans Werk! Gieb mir die Adresse deines Mannes.

Helene.—(reicht ihr ein Billet, das sie aus der Tasche gezogen). Hier!

Irene.—Ich schreibe ihm einige Zeilen. (Sie geht an Helene vorüber, setzt sich an den Tisch rechts und schreibt; dann klingelt sie.)

Toni! (zu Helene, nach rechts hinten zeigend.)

Tritt hinter jenen Schirm, damit dich niemand vorher sieht.

Helene.—(tritt hinter den Schirm rechts hinten).

花枝,—(郁子と同時に立ち上りながら嬉しそうに)、あなたさへよければ、いつでも

郁子,—それではよしさ—ちや取り掛りませう! さころで先生の宛名は?

花枝,—(ポケットから取り出した名刺を一枚郁子に渡して) これよ!

郁子,—それでは私一寸手紙を書くわ (郁子は花枝の側を通つて右手の机に座つて手紙を書く、それから呼鈴を鳴す) おさみ (花枝に右手の奥を指さしながら)、あの屏風の後にお遣入りよ、初に他人に見られては面白くないから

花枝,—(右手の奥の屏風の後に隠れる)

* * * * *

第六場

Die Vorigen. Toni. 郁子。花枝。さみ

Toni.—(durch die Mitte). Ich bin schon da!

Irene.—(hält den Kopf mit beiden Händen umfaßt;

さみ,—(中の戸口から)、お呼びでゐらつしやいますか?

郁子,—(両手で頭を抱へながら、苦しうに)、あゝいた、いた、

wehklagend). O weh! o weh! o weh! Diese Schmerzen! Die—se—Schmer—zen! (zu Toni.)

Hole mir schnell einen Arzt!

Toni.—(überrascht). Aber—was ist denn der gnädigen Frau geschehen?

Irene.—Frag nicht und geh! Hier die Adresse. (Sie giebt ihr das Billet; sich am Kopf fassend und wehklagend.) Ach, dieser Schmerz!

Toni.—(Ab durch die Mitte.)

いた! あゝ痛たい! こ—の痛—たい—こさ! (さみに向つて)、早くお醫者さんと呼んで来ておくれ!

さみ,—(喫驚して)、だつてまア、奥様、どうなさつたんです?

郁子,—そんな事訊かなくつてもいゝよ、早くお行きよ! さア所書はこゝにあるから! (さみに名刺を渡す、また頭を抑へながら泣くやうに) あゝ、この痛い事!

さみ,—(中の戸口から退場)



發行所

振替東京六三三八番
電話小石川四七五七番
東京市本郷區龍岡町三十二番地

南山堂書店



東京市小石川區指ヶ谷町四番地
參成堂印刷所

東京市小石川區指ヶ谷町四番地
大門甚吉

東京市本郷區龍岡町三十六番地
鈴木幹太

著者 柏谷眞洋

複製
不許

印刷所
印刷者
發行者
著者

趣味ノ獨逸語會話

正價金壹圓五拾錢

大正十五年十二月十日發行

大正十五年十二月五日印刷

◇新刊獨和對譯及參考書◇

リー原 作 文學博士 藤代 輔 文學士 杉山 茂 獨和對譯 沈黙議員 Der Stumme Ratsherr 正價金九拾錢 郵税金六錢	ハウプトマン原 作 文學士 杉山 茂 獨和對譯 線路番チール Bahnwärter Thiel 正價金九拾錢 郵税金六錢
---	---

ゲーテ原 作 文學士 林久雄 譯註 獨和對譯 美しき魂の告白 Bekenntnisse einer Schönen Seele 正價金壹圓參拾錢 郵税金六錢	ラーベ原 作 文學士 辻 善定 譯註 獨和對譯 黒船 Die schwarze Galeere 正價金壹圓參拾錢 郵税金六錢
--	---

シヤミッソー原 作 文學士 杉山 茂 譯註 獨和對譯 ペーター・シュレミール Peter Schlemihl. 正價金壹圓參拾錢 郵税金六錢	フライタッハ原 作 文學士 莊 直一 譯註 獨和對譯 新聞記者 Die Journalisten 正價金壹圓四拾錢 郵税金八錢
---	--

<p>■新撰 獨逸習字帖 南山堂編輯部編 一二郵 卷卷稅 金金各 三三金 十十四 錢錢錢</p>	<p>■詳解獨逸文法要點 南山堂編輯部編 正郵稅 價金二 圓一十 五拾錢</p>	<p>■暗誦和文獨譯練習書 二高教授文學士小池堅治編 正郵稅 價金一 圓五十 錢錢</p>	<p>■實用獨逸語初步 六高教授文學士椎名十三編 正郵稅 價金五 十錢錢</p>
--	--	---	--

323

735

終